

**ウズベキスタン共和国
看護教育改善プロジェクト
終了時評価調査報告書**

平成 21 年 4 月
(2009 年)

独立行政法人国際協力機構
ウズベキスタン事務所

ウズ事
JR
09-01

**ウズベキスタン共和国
看護教育改善プロジェクト
終了時評価調査報告書**

平成 21 年 4 月
(2009 年)

独立行政法人国際協力機構
ウズベキスタン事務所

目 次

序 文

地 図

写 真

略語表

評価調査結果要約表（和文・英文）

第 1 章 終了時評価調査の概要	1
1 - 1 調査団派遣の目的	1
1 - 2 調査団の構成	1
1 - 3 調査日程	2
1 - 4 主要面談者	3
1 - 5 評価手法	5
第 2 章 終了時評価の方法	8
2 - 1 主な調査項目と情報・データ収集方法	8
2 - 2 評価 5 項目について	9
第 3 章 終了時評価の結果	11
3 - 1 プロジェクトの実績	11
3 - 2 プロジェクトの実施体制	18
3 - 3 プロジェクトの実施プロセス	20
3 - 4 評価 5 項目からの評価結果	23
第 4 章 総 括	36
第 5 章 技術的観点からの総括	39
5 - 1 現在までの活動について	39
5 - 2 今後の活動について	40
5 - 3 ウズベキスタンにおける看護教育について	42
5 - 4 中央アジア地域の看護教育について	42
第 6 章 提言および今後の計画	43
6 - 1 提 言	43
6 - 2 今後の計画	44
6 - 3 教 訓	44
6 - 4 結 論	45

付属資料

1 . ミニッツ・合同評価レポート (英文・露文)	49
2 . 評価グリッド	149
3 . 質問票 (雛形)	157
3 - 1 日本人関係者	157
3 - 2 日本人専門家	159
3 - 3 看護教育センター	163
3 - 4 カリキュラム委員会	166
3 - 5 ワーキング・グループ	168
3 - 6 保健省	170
3 - 7 高等中等専門教育省	174
3 - 8 第一医療専門高校	175
3 - 9 救急医療センター	177
3 - 10 再教育教員	178
3 - 11 JOCV	179
3 - 12 JICAウズベキスタン事務所	180
4 . 大統領令 No.3923 「ヘルスケア開発国家プログラムの実行と 更なる改革の方向性に関して」	183
5 . 参考文献	199

序 文

ウズベキスタン共和国では、1998年から保健制度改革が行われており、その中で、国民への医療サービスの向上のためには医療従事者教育の高度化が主要な課題の一つであると認識されています。また、2007年に発布された大統領令でも保健制度改革の継続が確認されています。同国では1999年から看護教育制度改革が開始されており、その推進のために同国政府は、我が国に対し、看護教育に係る支援を要請してきました。

これを受けてJICAは、2004年7月より、医療専門高校において「利用者に寄り添う看護」の概念に基づいた看護教育を導入することを目的とした技術協力プロジェクト「看護教育改善プロジェクト」を実施してきており、同プロジェクトは、両国関係者の協力により、おおむね順調に進捗してきました。

今般、同プロジェクトの終了時評価を行うことを目的として、2008年12月に調査団を派遣し、ウズベキスタン共和国政府および関係機関との間で、プロジェクトの進捗の確認と今後の方向性に係る協議を行いました。

本報告書は、同調査結果を取りまとめたものであり、今後のプロジェクトの展開に、更には類似のプロジェクトに活用されることを願うものです。

ここに、本調査にご協力をいただいた内外の関係者の方々に深い謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第です。

平成21年4月

独立行政法人国際協力機構
ウズベキスタン事務所長 江尻 幸彦

プロジェクト対象地域地図



タシケント市

Base: 892202 (R43141) 8-04



モデル病院での協議



ジアエバのモデル校校長兼看護教育センター長との協議



モデル校の視察



実習病院（TAPOICH）での協議



保健省・高等中等専門教育省との合同協議



看護教員資格向上センター視察



ミニッツ（M/M）署名・交換



対外経済関係貿易投資省での協議

略 語 表

略語	英 語	日本語
CC	Curriculum Committee	カリキュラム委員会
CON	Client-Oriented Nursing	利用者に寄り添う看護
C/P	Counterpart	カウンターパート
EOJ	Embassy of Japan	日本国大使館
EQ	Evaluation Question	評価設問
FAP	Feldsher-Midwife Post (Feldshersko-Accouchersky Punkt : 露)	准医師・助産師ポスト
FRMC	First Republican Medical College	第一医療専門高校
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteers	青年海外協力隊
M/M	Minutes of Meetings	協議議事録
MOH	Ministry of Health	保健省
MOHSSE	Ministry of Higher, Secondary and Specialized Education	高等中等専門教育省
NEC	Nursing Education Center	看護教育センター
PO	Plan of Operation	活動計画表
PCM	Project Cycle Management	プロジェクト・サイクル・マネジメント
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PHC	Primary Health Care	プライマリーヘルスケア
RCEM	Peublican Research Center of Emergency Medicia Care	救急医療センター
R/D	Record of Discussions	討議議事録
SVA	Rural Outpatient Polyclinics (Selskaya Vrachebnaya Ambulatoriya : 露)	農村外来診療所
SVP	Primary Health Care Facility (Selsky Vrachebny Punkt : 露)	農村診療所
WG	Working Group	ワーキング・グループ

評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ウズベキスタン共和国	案件名：看護教育改善プロジェクト
分野：保健医療	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：ウズベキスタン事務所	協力金額（総額）：約6億4,000万円
協力期間	2004年7月1日～
	2009年6月30日（5年間）
先方関係機関：保健省、高等中等専門教育省	
日本側協力機関：大分県立看護科学大学	
<p>1 - 1 協力の背景と概要</p> <p>ウズベキスタン共和国（以下、「ウ」国と記す）においては、1998年11月に出された大統領令により、保健医療システムの改善の中で、医療従事者教育の高度化が重要な課題の一つであった。「ウ」国が先進国の保健医療システムを分析した結果、専門的訓練を受けた看護師が国民の医療に重要な役割を果たしていること、医療サービスの向上のためには、国際的水準の看護の導入を通して、看護教育システムの改善が必要であることが明らかになった。看護教育改革の一環として、「ウ」国保健省は、一般教育後の看護学校を3年制に統一、その後の専門教育機関として3年制の看護学科を医科大学に併設、また2005年までに国内の看護学校のすべてをカレッジ（職業高校）へ昇格させている。</p> <p>このような改革過程の中で、これまで看護分野において短期専門家派遣にて協力を実施してきた我が国に対し、「ウ」国から看護教育および看護管理に関する協力が要請された。それに対し、日本政府は、ウズベキスタン保健省および高等中等専門教育省をカウンターパート（C/P）機関として、2004年7月より5年間の予定で、「看護教育改善プロジェクト」を開始することとなった。</p>	
<p>1 - 2 協力内容</p> <p>(1) 上位目標 全国の医療専門高校で「Client-Oriented Nursing ; CON」に基づいた看護教育が行われる。</p> <p>(2) プロジェクト目標 「Client-Oriented Nursing」の原則に基づいた看護教育（学内教育 / 学外臨床教育）のモデルが確立される。 CONとは、「利用者に寄り添う看護」のこと。すべての対象者（Client）にそれぞれのライフサイクルステージ（小児期、思春期、成人期、高齢期等）の健康ニーズに沿った看護・生活支援を提供すること。</p> <p>(3) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果1：学内教育に「Client-Oriented Nursing」のコンセプトが導入される。 <ul style="list-style-type: none"> 成果1-1 「Client-Oriented Nursing」に基づいたカリキュラム案が作成される。 成果1-2 「Client-Oriented Nursing」に基づいた教材が作成される。 成果1-3 「Client-Oriented Nursing」に基づいた看護教育方法が教員に理解される。 ・成果2：モデル病院及びモデル校の主要実習病院・保健医療施設¹で「Client-Oriented 	

¹ モデル病院は「救急医療センター」、モデル校は「第一医療専門高校」、モデル校の基礎看護・成人看護実習は救急医療センターを含めて12施設で行われた。

Nursing」に基づいた実習が導入される。

- ・成果3：看護教育の基準（時間割及び教案プログラム）について提言する。また「Client-Oriented Nursing」を全国の看護教育に導入するための基盤が整えられる。

(4) 投入（評価時点）

<日本側>

- ・長期専門家 5名
- ・短期専門家 103名
- ・研修員受入れ 39名
- ・機材供与 305,541US\$（約27,504.801千円）
- ・ローカルコスト負担 641,803US\$（約57,775.106千円）

<「ウ」国側>

- ・カウンターパート（C/P）配置6名
- ・土地・施設提供ローカルコスト負担（看護教育センター改修費）
40,000US\$（約3,600千円）（2008年12月時点：1US\$ = 90.02円）
- ・看護教育センター運営費 14,836US\$（2008年度）
（20,213,000スム）（2008年12月時点：1US\$ = 1,362.43スム）

2. 評価調査団の概要

調査者	日本側		
	総括	竹本 啓一	独立行政法人国際協力機構（JICA） 人間開発部保健人材・感染症グループ保健人材課 課長
	特別顧問	草間 朋子	公立大学法人大分県立看護科学大学 学長
	看護教育	田村 やよひ	国立看護大学校 校長
	協力計画	神藤 はるか	独立行政法人国際協力機構（JICA） 人間開発部保健人材・感染症グループ保健人材課 職員
	事業監理	山崎 潤	独立行政法人国際協力機構（JICA） ウズベキスタン事務所 所員
	評価分析	鈴木 修一	株式会社フジタプランニング
	通訳	黒田 有里佳	財団法人国際協力センター（JICE）
調査期間	2008年12月3日～12月24日	評価種類：終了時評価	

3. 調査結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 上位目標

- ・指標：100%の医療専門高校で「Client-Oriented Nursing」に基づいた看護教育が2012年までに開始される。
- ・保健省は改善カリキュラムを2012年までに段階的に全国に導入することをめざしており、既に保健省は2009年からの改善カリキュラムの全国展開のための準備を開始しているが、2012年までに実質的な全国展開を達成するには、保健省が指導者育成の確保や研修等の相当な準備をする必要がある。

(2) プロジェクト目標

- ・指標：2009年に第一医療専門高校を卒業する学生の70%が「Client-Oriented Nursing」の理解度テストに合格する。
- ・学生への理解度テストの実施は2009年6月に実施予定であり、終了時評価時点で各成果が予定どおり実施され、教員の理解、実習施設の整備が順調に進んでいることから、プロジェクト目標は達成される見込みである。

(3) 成果

< 成果1 >

学内教育に「Client-Oriented Nursing」のコンセプトが導入される。

- ・指標1-1：2006年9月までに、保健省及び高等中等専門教育省の代表者が時間割(案)を承認する。2008年9月までに、保健省の代表者が、第一医療専門高校を対象に作成された「Client-Oriented Nursing」に基づいた教案プログラム(案)を承認する。
- ・指標1-2：2009年3月までに、第三者によって指導要領が承認される。
- ・指標1-3：カウンターパート、実習担当教師、再教育メンバーの教師の8割が2009年3月までに「Client-Oriented Nursing」理解度テストに合格する。
- ・「Teaching Plan(時間割)」は2006年7月に、「Teaching Program(教案プログラム)」は2007年12月までに「ウ」国政府に承認された。また、「指導要領」も「基礎看護」に関しては教案プログラムと同時期に、「成人看護」は2008年2月に、その他5看護領域(老年・小児・母性・地域・精神)は2008年10月にすべての指導要領が完成した。今後、指導要領の客観的評価を保健省の医学教育開発センターに依頼する予定である。また、2008年12月に実施した教員に対する理解度アンケートによると、半分以上の教師が目標の理解力に達しており、成果1は達成する見込みである。

< 成果2 >

モデル病院及びモデル校の主要実習病院・保健医療施設で「Client-Oriented Nursing」に基づいた実習が導入される。

- ・指標：2009年6月までに、モデル病院及び実習病院で、臨床実習において、「Client-Oriented Nursing」に基づいた実習の以下の最低必要条件が満たされる。(1)実習開始前に、実習生の8割に専任の指導者が配置される。(2)受持ち実習開始前に、実習生の8割に受持ち患者が選択される。(3)実習生の8割が実習開始2日以内にカルテから情報を入手することができる。(4)看護師長のいるカンファレンス実施率が8割である。
- ・実習担当者が用いる「実習要綱」は全領域が終了時評価までに承認され、基礎看護実習と成人看護実習は同年に実施されている。実習施設の準備状況は実習記録、担当教員へのインタビュー、プロジェクト関係者によるモニタリングから検証した結果、ほぼ適切であることが確認されたため、達成する見込みである。

< 成果3 >

看護教育の基準(時間割及び教案プログラム)について提言する。

- ・指標：保健省が、2009年6月までにプロジェクトが準備する提言を受け入れる。
- ・成果3は成果1および2の結果から導き出されるもので、終了時評価の段階では未着手であるが、モデル導入学年での講義・演習・実習を通じてのフィードバックを反映し、改定された基準をプロジェクト終了までにプロジェクトがまとめ、保健省側に提出する予定である。

3 - 2 評価結果の要約

(1) 妥当性

本プロジェクトは、「ウ」国の「保健制度改革についての大統領令」に基づく看護教育制度改革の一環として開始され、2007年に発布された大統領令にて保健制度改革の継続が確認されている。「ウ」国の看護の課題として、患者の全体性に配慮した看護教育が求められており、看護教育の現場、病院の現場、学生の興味としてCONへの関心も高いことが確認された。また、日本にとっても保健医療分野のシステム改善として「ウ」国に対する援助重点分野に含まれており、これに看護教育は当てはまる。したがって妥当性は高い。

(2) 有効性

本プロジェクトは順調に進捗しており、終了時評価の時点でCONのコンセプトに基づく看護教育が適切に実施されていることが確認されたことから学生の卒業時点である2009年6月にプロジェクト目標の学生の理解度は目標を達成することが見込まれるため有効性は高い。

また外部条件として中等教育の義務教育化に伴う学生数の大幅増加が発生し、教育の質が下がることが懸念されていることは中間評価時にも指摘され、保健省、第一医療専門高校ならびにプロジェクトに影響が出ないように努力した。

(3) 効率性

このプロジェクトは、多数の専門家（5名の長期および103名の短期専門家、および「ウ」国側関係者）の参加、CONという新しい概念の導入のために翻訳・通訳業務に多大な投入が必要であったが、プロジェクト自体が翻訳・通訳者を育成し、効率的な技術移転（よりの確な翻訳・通訳）を可能にした。

一方、数カ月単位で「ウ」国に派遣されるタイプの「中期派遣専門家」が4名派遣されることとなり、長期派遣専門家の負担の軽減、短期派遣専門家では対応しきれなかった指導などプロジェクトの業務を円滑に実施することが可能となった。

(4) インパクト

1) 上位目標の達成見込み

保健省は改善カリキュラムを2012年までに段階的に全国に導入することをめざしており、既に保健省は2009年からの改善カリキュラムの全国展開のための準備を開始しているが、2012年までに実質的な全国展開を達成するには、保健省が指導者育成の確保や研修等の相当な準備をする必要がある。

またプロジェクトが作成した改善カリキュラムを承認された1カ月後（2006年8月）に、保健省は改善カリキュラムとほぼ同じ内容のカリキュラム（適応カリキュラム）を承認、導入している。本適応カリキュラムは改善カリキュラムを導入しやすいよう、保健省が作成したものである。

2) 正のインパクト

セミナー等を通じて全国の病院の看護師、医療専門高校の教員の間でCONの関心が高まった。ただし全国の病院、医療専門高校でのCONの実践は今後行われる予定である。

3) 負のインパクト

モデル校の生徒数が急増したため、保健省の指導で優先的に実習施設に受け入れてもらうこととなり、実習病院にとって他の医療専門高校と実習生徒の調整が負担となった。

(5) 自立発展性

本プロジェクトの便益を自立的に発展させて行く上で、看護教育センターの機能を維持するための方策をとる必要性は中間評価でも指摘され、終了時評価時点で、保健省は看護教育センターを「看護教員資格向上(再教育)センター」として第一医療専門高校内に存続させる意向が示された。しかし現段階では改善カリキュラムを実施するための医療専門高校の資機材整備は新設校においては十分とはいえない。

3 - 3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

1) セミナーの参加者が多数にのぼり、本来のターゲットグループを超えた活動という側面がある一方、コンセプトがより多くの関係者によって認知されるという観点では、初期のセミナー開催は重要な役割を果たしていた。

(2) 実施プロセスに関すること

1) 大半のカウンターパートは第一医療専門高校での教員時代に比べて給与が下がったにもかかわらず、高いモチベーションを維持してプロジェクト活動に参加していた。また日本人専門家もカウンターパートの能力向上のために土日も費やして指導に当たった。
2) テレビ会議の活用が多数の関係者の関与を促進し、遠隔地の連絡を容易にした。

3 - 4 問題点および問題を惹き起した要因

(1) 計画内容に関すること

1) 事前評価時は長期専門家3名で計画されていた作業は、実際はワーキング・グループの膨大な活動が必要であり、初期の人選の遅れによるチーフ・アドバイザー不在が、業務の進行を遅らせた。また計画時よりも日本側関係者の関与が大きくなったことから翻訳業務が増大した。
2) 専門用語に関して、日本側・「ウ」国側の認識の違いがあった。また専門用語を通訳・翻訳できる人材が「ウ」国にいなかったことからプロジェクトが養成しなければならなかった。

(2) 実施プロセスに関すること

1) 多数の関係者が関与することにより、意思決定および報告・連絡・相談の煩雑さなどの短所が見られた。
2) モデル校の学生数の予想を超えた増加により、当初予定していたモデル病院以外にも実習施設を準備する必要があった。

3 - 5 結論

本プロジェクトは「利用者に寄り添う看護：CON」のコンセプト普及を医療専門高校の看護教育課程の改善を通じてめざしたが、専門領域に細分化された作業や翻訳・通訳コストは、活動開始当初に予想されたよりも多く、期間を重ねるごとに投入量が増加した。また開始当初のチーフ・アドバイザーの不在により、日本国内の支援組織に多大な協力を得る必要があった。

その後中間評価を経て、「中期派遣専門家」が派遣されるなどにより、JICAの技術協力の特徴である「顔の見える協力(現地に派遣された専門家が直接かつ継続的に指導すること)」が強化され、「ウ」国側のCONに対する理解、本プロジェクトの実施プロセスの理解も深まった。

今後、改善カリキュラムの全国展開は、「ウ」国の自主的な活動により段階的に実施される道程が示され、看護教育センターの機能存続も決定しており、プロジェクトが終了してもプロジェクトが生み出した成果・便益は、継続して活用・展開すると考えられる。

3 - 6 提 言（当該プロジェクトに関する具体的な措置・提案・助言）

プロジェクト目標が予定どおり達成されることが見込まれること、上位目標達成への道筋が明確であること、看護教育センターの今後の在り方が示されたことから、プロジェクトは予定どおり2009年6月に終了することが望ましい。

- (1) プロジェクトは教員、学生ならびに実習施設の指導者のCONに関する理解度アンケートを継続的に実施し、看護教育センターの機能を拡大し、全国展開に資するよう、「ウ」国関係者との連携の強化を図ることが望ましい。
- (2) 「ウ」国に対しては、看護教育センターが自主的な機能強化を継続的に図るよう、既存の看護教員資格向上センターとの業務連携やプロジェクトからの技術移転を促進する必要がある。また 看護教育センターの現在の機能だけでは必ずしも十分とはいえないので、人的および財政的強化を図る必要がある。
- (3) JICAウズベキスタン事務所は保健省と共同し、看護教育センターの運営状況を継続的にモニターするとともに、「ウ」国の教員の資格向上、再教育ならびに高等教育に対する協力の在り方を検討することが望まれる。

3 - 7 教 訓（当該プロジェクトから導き出された他の類似プロジェクトの発掘・形成、実施、運営管理に参考となる事柄）

(1) 事前評価時における計画

本案件では、CONというコンセプトを移転することを目的としており、それは言語による伝達しか手段がなく、言語的解釈の正確性が重要であるにもかかわらず、その伝達手段に関する検討、通訳や翻訳の重要性が検討されていなかった。また国家の制度改革を3名の長期専門家を中心に達成することは困難な計画であった。よって事前評価時に詳細な現状分析と目標到達プロセスの共有を図り、より適切な投入、活動計画を概算する必要がある。

(2) チーフ・アドバイザーの役割

チーフ・アドバイザーはJICAの技術協力プロジェクトの現場責任者であり、先方への日本の技術協力形態の理解促進、良好な人間関係の構築など日本側と先方を結ぶ重要な役割を担っている。よってチーフ・アドバイザーの派遣後、プロジェクトが実施されることが望ましい。

Summary

1. Outline of the Project		
Country : Republic of Uzbekistan		Project title : Nursing Education Improvement Project
Issue/Sector : Health / Medical care		Issue/Sector : Technical Cooperation
Division in charge : Uzbekistan Office		Total cost : 640 million yen
Period of Cooperation	1/ July/ 2004 - 30/ June/ 2009 (5 years)	Partner Country's Implementing Organization : Ministry of Health (MOH) Ministry of Higher and Secondary Specialized Education (MOHSSE)
		Supporting Organization in Japan : Oita University of Nursing and Health Sciences
1-1. Background of the Project		
<p>In the Republic of Uzbekistan (hereinafter referred to as “Uzbekistan”), higher education for medical personnel was one of the important issues in improvement of health system by decree of the President at November 1998. Through the analysis of health system in developed countries, the Government of Uzbekistan recognized that technical trained nurses have important roles for national health and improvement of nursing education system is necessary to enhance the medical services through the innovation of international standard nursing. The Ministry of Health of Uzbekistan (hereinafter referred to as “MOH”) has been introducing an improvement of nursing education system. As a part of the improvement, all medical institutions changed into three-year medical colleges by 2005 and also a faculty of nursing (three years) was established as an annex of a faculty of medicine of an university as advanced training after medical college.</p> <p>In these circumstances, Uzbekistan requested technical cooperation on nursing education and nursing management to the Government of Japan, which had conducted technical assistance by dispatching short-term experts in the nursing fields. The Government of Japan commenced “Nursing Education Improvement Project” (hereinafter referred to as “the Project”) for five years from July 2004 with MOH and Ministry of Higher and Secondary Specialized Education in Uzbekistan (hereinafter referred to as “MOHSSE”) as counterpart organizations.</p>		
1-2. Project Overview		
(1) Overall Goal		
Nursing education, based on “Client-Oriented Nursing (hereinafter referred to as CON)”, is innovated in medical colleges throughout the country.		
(2) Project Purpose		
An educational model based on “Client-Oriented Nursing” is established.		

(3) Outputs

- Output 1 Concept of “Client-Oriented Nursing” is introduced into in-school education at First Republic Medical College (hereinafter referred to as FRMC).
- Output 1-1 Teaching Plan and Teaching Program based on “Client-Oriented Nursing” for FRMC are approved by ministries of health and higher and secondary specialized education.
- Output 1-2 Teaching guidelines for seven subjects are prepared based on “Client-Oriented Nursing”.
- Output 1-3 Teaching method of “Client-Oriented Nursing” is understood by the nursing teachers.
- Output 2 CON practice teaching is introduced in the model hospital.
- Output 3 Standard of nursing education (Teaching Plan and Teaching Program) is proposed.

(4) Inputs (At the timing of Terminal Evaluation)**Japanese Side**

Long-term Expert: 5 persons, Short-term Expert: 103 persons, Training in Japan: 39 persons, Equipment: US\$305,541 (27.5 million yen, Local Cost: US\$641,803 (57.8 million yen)

Uzbekistan Side

Counterpart: 6 persons, Land and Facility, Local Cost (Renovation of NEC) : 40,000US\$ (3.6 million yen) , Operation Cost of NEC: US\$14,836 (20,213,000 sum)

(According to the JICA official rate, December 2008: US\$=90.02 yen=1,362.43sum)

2. Evaluation Team

Members of Evaluation Team	<p>Japanese Side</p> <p>Mr. Keiichi TAKEMOTO, Leader, Director, Health Human Resources Division, Health Human Resources and Infectious Disease Control Group, Human Development Department, JICA</p> <p>Dr. Tomoko KUSAMA, Special Advisor, President, Oita University of Nursing and Health Sciences</p> <p>Dr. Yayoi TAMURA, Nursing Education, President, National College of Nursing, Japan</p> <p>Ms. Haruka SHINDO, Cooperation Planning, Health Human Resources Division, Health Human Resources and Infectious Disease Control Group, Human Development Department, JICA</p> <p>Mr. Jun YAMAZAKI, Operation Management, Representative, JICA Uzbekistan Office</p> <p>Mr. Shuichi SUZUKI, Evaluation, Fujita Planning Co.,Ltd</p> <p>Ms. Yurika KURODA, Interpreter, Japan International Cooperation Center</p> <p>Uzbekistan Side</p> <p>Ms. Alimova Matlyuba, Head of education department, MOH</p> <p>Ms. Nazarova Salima, Department of Human Resource, Medical Educational Facilities and Science, MOH</p> <p>Ms. Salikhodjaeva Rikhsi, Chief Specialist on Nursing Education, MOH</p>	
Period of Evaluation	3/ Dec./ 2008 – 24/ Dec. 2008	Type of Evaluation : Terminal Evaluation

3 . RESULTS OF EVALUATION7

3-1. Achievements

(1) Outputs

Output 1 Concept of “Client-Oriented Nursing” is introduced into in-school education at FRMC.

- Objective Verifiable Indicators: 1-1-1. Authorized persons of MOH and MOHSSE sign to approve the draft Teaching Plan by September 2006. 1-1-2. Authorized persons of MOH sign to approve the draft Teaching Program based on “client-oriented nursing” for the FRMC by September 2008. 1-2. Teaching guidelines are accredited through the third party by March 2009. 1-3. 80% of C/P staff, teachers of nursing practice teaching and re-training members of FRMC pass the comprehension test on client-oriented nursing based on the teaching guideline by March 2009.
- Achievements: Teaching Plan was approved by MOHSSE in July 2006. Teaching Programs of the all seven subjects were approved by December 2007. Teaching Guidelines of “Fundamental Nursing” was completed at same time with Teaching Program, and the one of “Adult Health Nursing” was completed in February 2008, and the other 5 subjects (Gerontological Nursing, Child Health Nursing, Maternal Health Nursing, Community Health Nursing, Psychiatric Nursing) were completed in October 2008. The guidelines are going to be evaluated by the Center of Medical Education Development under MOH. According the questionnaire survey to the teachers which was carried out in December 2008, over the half of the teachers reached expected level of CON knowledge and the indicator of the output 1-3 will be attained as planned.

Output 2 CON practice teaching is introduced in the model hospital.

- Objective Verifiable Indicators: The following minimum requirements of CON practice are fulfilled in the clinical practices at model hospital and FRMC’s practice hospitals by June 2009. (1)The health facilities assign suitable nurses for 80% of students in clinical practice by beginning of practicing. (2)To prepare patients who will be attached to 80% of students by beginning of practicing. (3)80% of students can obtain information from patient’s record and also during nursing process within first 2 days of practice period. (4)80% of conference with head nurse is conducted.
- Achievements: Practice Programs of the all 7 subjects were approved before the terminal evaluation. After the guidelines were completed, seminars for person in-charge of clinical practice at the hospital were conducted. Then, the clinical practice of “Fundamental Nursing” and “Adult Health Nursing” have been implemented in 2008. The readiness of the hospitals for clinical practice was confirmed appropriate based on four view points such as assignment of suitable nurses, preparation of Attending Nursing System, information from patient’s record and conference with head nurse through review of clinical practice record of students, interviews to clinical practice teachers and monitoring by the Project. The result of the survey described that all hospitals were almost appropriate.

Output 3 Standard of nursing education (Teaching Plan and Teaching Program) is proposed.

- Objective Verifiable Indicators: MOH accepts the proposal prepared by the project by June 2009.
- Achievements: It has not been started yet at the timing of terminal evaluation but it will be submitted to MOH by the Project before June 2009. The contents of the proposal will be compiled to reflect the

feedback from the lecture, nursing practice in school and clinical practice in FRMC and Model Hospitals.

(2) Project Purpose

An educational model based on “Client-Oriented Nursing” is established.

- Objective Verifiable Indicators: 70 % of graduates of FRMC in 2009 pass a comprehension test on client-oriented nursing.
- Achievements: The comprehension test about CON for the students will be implemented in June 2009 as planned. Since the progress of each output such as the comprehension of the teachers and establishment of the facilities for clinical practices is on the schedule, project purpose will be attained successfully.

(3) Overall Goal

Nursing education, based on “Client-Oriented Nursing (hereinafter referred to as CON)”, is innovated in medical colleges throughout the country.

- Objective Verifiable Indicators: 100 % of medical colleges starts the education based on “client-oriented nursing” by 2012.
- Achievements: It was confirmed that MOH intends to disseminate CON education step by step from 2009 to 2012. Since there are not enough skilled trainers for the upgrading of nursing teachers, MOH has to take a lot of effort to secure the number of skilled trainers to attain the substantial dissemination of CON education.

3-2. Summary of Evaluation Results

(1) Relevance

The Project started as a part of “nursing education reform” under “Presidential Decree about National Program of Reforming the Health Care System of the Republic of Uzbekistan”. Afterwards, the continuation of health sector reform was confirmed by a new decree issued in 2007.

In the Country Strategy of JICA, since health sector is one of the most important sectors in the important supporting field of “Social Sector Restructuring” that the Project and health reform program are implemented under the same strategy as of the commencement of the Project.

As issues of nursing in Uzbekistan, to have the patients in mind is not considered as priority for nurses in the conventional nursing education.. Therefore, nursing education, which is oriented to totality of a patient, is required. Medical colleges, hospitals and students show great interest on CON. Therefore, the relevance of the Project is high.

(2) Effectiveness

The Project is progressing as scheduled and the nursing education based on CON has been implemented appropriately. Therefore, project purpose of which the comprehension of the students in the indicator is expected to be attained. It can be said that the effectiveness is high. It was mentioned as an important assumption at the mid-term evaluation that the number of students in FRMC was unexpectedly increased as secondary education has become compulsory and that its increment might be one of the causes to worsen the quality of education. MOH ,FRMC and the Project took much effort to minimize the influence from the

issue.

(3) Efficiency

Since the Project introduces new concept such as CON, the Project required the involvement of a large number of personnel, both Uzbekistan side and Japanese side (e.g. 5 long-term and 103 short-term experts) and enormous inputs for interpretation and translation. Through fostering interpreters and translators in the Project itself, effective technical transfer became possible by more accurate translation and interpretation. On the other hands, the Japanese experts dispatched for several months at one time (Mid-term experts), have made possible smooth implementation of the Project, especially by reducing the burden of long-term experts and doing follow-up of the work of short-term experts.

(4) Impact

1) Prospect of achievement of the Overall Goal

MOH intends to disseminate CON education step by step from 2009 to 2012. Since there are not enough skilled trainers for the upgrading of nursing teachers, MOH has to take a lot of effort to secure the number of skilled trainers to attain the substantial dissemination of CON education.

One month after the improved Teaching Plan developed by the Project was approved (August 2006), MOH submitted the adopted Teaching Plan, which might have been developed based on the improved Teaching Plan. The adopted Teaching Plan was developed by MOH to facilitate smooth installation of the improved Teaching Plan.

2) Positive impacts

Nurses in hospitals and teachers in medical colleges through out the country have become interested in the concept of CON through the seminars and the other Project activities. Even though nursing education in Uzbekistan is directed to install CON concept, practice of CON in the hospitals and medical colleges nationwide will be implemented from now on.

3) Negative impacts

Because of the increasing number of students of the FRMC, MOH ordered that clinical practice of the students of FRMC should be prioritized. Therefore, coordination between students from FRMC and other medical colleges was burden of the hospitals for clinical practice.

(5) Sustainability

It was recommended at the mid-term evaluation that in order to develop the Project achievements after the termination of the Project, necessary measures to sustain the function of Nursing Education Center (hereinafter referred to as NEC) should be taken. At the timing of terminal evaluation, MOH intends to maintain NEC in FRMC as an independent organization named “Nursing Teachers Upgrading (Re-training) Center”.

However, the equipment for CON education in newly established medical colleges is not sufficient to implement the improved Teaching Plan.

3-3. Factors that have promoted project

(1) Regarding Planning

- 1) As the participants were exposed to CON concept, the seminars in early stage of the Project had one of the important roles, although huge number of participants joined the seminar and even those who were not supposed to be among the target group also participated.

(2) Regarding Implementation process

- 1) The Project C/Ps maintained high motivation to improve nursing education in Uzbekistan even though the salary for their work in NEC is less than the salary they received when working in FRMC. Japanese experts are also working hard also on weekends to develop C/P and teachers' capacity.
- 2) Video conference promoted involvement of the numerous participants makes communication easier for people concerned who are in remote areas.

3-4. Factors that have inhibited project

(1) Regarding Planning

- 1) Though in preparatory study, it was considered that three long-term experts were enough inputs to revise the curriculum, a huge amount of work for WG members to revise the curriculum was necessary in fact. And absence of Chief Advisor at early stage is one of the causes of the delays of various activities. Moreover, burden of the interpretations and translation to Russian and Uzbek Languages became heavier than planned because participation of Japanese side has been increased comparing to planned participation.
- 2) It was confirmed in the mid-term evaluation that some technical terms were understood differently between both sides. Since there was no interpreter or translator between Japanese and Russian Languages in Uzbekistan, who well understand technical terms in medical and nursing fields, the Project itself had to train the interpreters and translators.

(2) Regarding Implementation process

- 1) Involvement of numerous participants complicated the process of decision-makings, reporting, communication and consulting.
- 2) Unexpected increase of students in the FRMC required the Project to prepare additional hospitals for clinical practice other than planned model hospital.

3-5. Conclusions

The Project intended to attain the dissemination of CON concept through improvement of Teaching Plan, Teaching Program, Teaching Guideline and Practice Program of nursing education course in medical college. Since the workload of the Project was underestimated in the initial plan and the input for the Project has been increased gradually. By the absence of Chief Advisor at early stage, the Project needed to increase assistances from the supporting organization in Japan for the Project implementation. After the mid-term evaluation, and especially by dispatching "mid-term experts" the Project strengthened the process of technical cooperation with more direct and continuous cooperation in the field by the expert; This is a

characteristic of JICA's technical cooperation. Then Uzbekistan side deepened the understanding, of the CON and Project implementation process.

Since the roadmap to disseminate improved curriculum through the activities of Uzbekistan side have been clarified and continuation of NEC is already decided, the benefits and outcome produced by the Project will be utilized and developed continuously even after the completion of the Project.

3-6. Recommendations

It is recommended that the Project will be completed in June 2009 as planned. The reason of the recommendation is followings; Project Purpose will be attained as planned, the roadmap to attain overall goal was shown clearly and sustainability of NEC has been also clarified.

- (1) The Project is recommended to continue comprehensive questionnaire of CON to teachers, students, and in-charge of clinical practice in the medical facilities. It is also recommended that the Project shall implement technical transfers to Uzbekistan side to strengthen the function of NEC for the nationwide dissemination with the reinforcement of relationship with Uzbekistan side.
- (2) It is recommended that NEC shall promote technical transfer from the Project for the continuous self-enhancement of its function with good collaboration with other nursing teacher upgrading centers. The present capacity of NEC is not so strong as MOH and MOHSSE could implement the dissemination of the integrated curriculum autonomously. Therefore, the human resource management and financial capacity of NEC should be enhanced.
- (3) It is preferable that JICA Uzbekistan Office shall monitor the administration of NEC continuously in collaboration with MOH after the completion of the Project. Moreover, it is also preferable to consider a possibility of the cooperation regarding the upgrading or re-training of nursing teachers, and the higher nursing education.

3-7. Lessons Learned

(1) Planning at preparatory study

The project objective is to innovate of the concept of CON. Though there is no measure to innovate except language and language interpretation should be accurate, it is not concerned how to transfer and importance of the interpreters and translators. And the plan to renovate the national policy for nursing education by three long-term experts has been too difficult. Therefore, in the preparatory stage, appropriate inputs and action plan shall be estimated based on the detail analysis of the present situations and share of the road map to the goal.

(2) Role of chief advisor

Chief advisor is a responsible person in the field of technical cooperation by JICA and has important roles to coordinate between Jana side and recipient side such as promoting the technical cooperation scheme by JICA into people concerned of recipient side, building good relationship with them and so on. Therefore, the chief advisor shall dispatch before the commencement of the project.

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 調査団派遣の目的

ウズベキスタン共和国（以下、「ウ」国と記す）においては、1998年11月に出された大統領令により、保健医療システムの改善の中で、医療従事者教育の高度化が重要な課題の一つであった。「ウ」国が先進国の保健医療システムを分析した結果、専門的訓練を受けた看護師が国民の医療に重要な役割を果たしていること、医療サービスの向上のためには、国際的水準の看護の導入を通して、看護教育システムの改善が必要であることが明らかになった。看護教育改革の一環として、「ウ」国保健省は、一般教育後の看護学校を3年制に統一、その後の専門教育機関として3年制の看護学科を医科大学に併設、また2005年までに国内の看護学校のすべてをカレッジ（職業高校）へ昇格させている。

このような改革過程の中で、これまで看護分野において短期専門家派遣にて協力を実施してきた我が国に対し、「ウ」国から看護教育および看護管理に関する協力が要請された。それに対し、日本政府は、ウズベキスタン保健省および高等中等専門教育省をカウンターパート（Counterpart：C/P）機関として、2004年7月より5年間の予定で、「看護教育改善プロジェクト」を開始することとなった。

2009年6月30日の本プロジェクトの終了に先立ち、プロジェクトの活動の実績、成果を評価し、今後の類似事業の実施に当たっての教訓を導くことを目的として、本終了時評価調査団を派遣した。

1-2 調査団の構成

担当	氏名	所属
総括	竹本 啓一	独立行政法人国際協力機構（JICA） 人間開発部保健人材・感染症グループ保健人材課 課長
特別顧問	草間 朋子	公立大学法人大分県立看護科学大学 学長
看護教育	田村 やよひ	国立看護大学校 校長
協力計画	神藤 はるか	独立行政法人国際協力機構（JICA） 人間開発部保健人材・感染症グループ保健人材課 職員
事業監理	山崎 潤	独立行政法人国際協力機構（JICA） ウズベキスタン事務所 所員
評価分析	鈴木 修一	株式会社フジタプランニング
通訳	黒田 有里佳	財団法人国際協力センター（JICE）

1 - 3 調査日程

2008年12月3日（水）より24日（水）までであり、詳細は以下のとおりである。

日順	月日	曜日	時間	日程
1	12月3日	水		評価分析および通訳団員：成田発14:15（JL953）
2	12月4日	木		タシケント着01:55（ソウル発HY514）
			09:30	JICAウズベキスタン事務所打ち合わせ
			11:00	保健省（保健省看護管理局、人材・科学・教育局への評価概要説明・聞き取り）
	16:00	第一医療専門高校 / 看護教育センターにてC/Pへの聞き取り		
3	12月5日	金	終日	第一医療専門高校 / 看護教育センターにてC/P、WGメンバー、再教育教員への聞き取り
4	12月6日	土		質問票の翻訳・分析
5	12月7日	日		質問票の翻訳・分析
6	12月8日	月	09:00	プロジェクト専門家への聞き取り
7	12月9日	火	10:00	高等中等専門教育省表敬・聞き取り
			11:40	第一医療専門高校 / 看護教育センターにてモデル校校長・C/P、WGメンバー、再教育教員への聞き取り
			18:00	青年海外協力隊への聞き取り
8	12月10日	水	11:00	救急医療センターWGメンバーへの聞き取り
			12:20	保健省看護専門官への聞き取り
			14:00	WGメンバーへの聞き取り（ポロウスキ医療専門高校 / ツルスホジャエワ医療専門高校）
9	12月11日	木	11:30	カリキュラム委員への聞き取り（タシケント医科アカデミー）
			14:00	WGへの聞き取り（タシケント市第2周産センター）
			15:40	再教育教員への聞き取り（第一医療専門高校）
10	12月12日	金	11:00	JICAウズベキスタン事務所への聞き取り
			15:00	救急医療センター副院長への聞き取り
11	12月13日	土		調査結果の取りまとめ（中間）
12	12月14日	日		調査結果の取りまとめ（中間）
				総括団員・協力計画団員到着：成田発12:55（KE702） タシケント着20:20（ソウル発KE941）
13	12月15日	月	終日	JICAウズベキスタン事務所にて中間結果団内協議、プロジェクト専門家との協議
14	12月16日	火	10:00	救急医療センター院長との協議
			12:00	看護教育センター・第一医療専門高校 校長との協議
			17:00	在ウズベキスタン日本国大使館表敬
				特別顧問団員到着：福岡発11:50（OZ131） タシケント着21:10（ソウル発OZ573）

				看護教育団員到着：成田発13:30 (OZ101) タシケント着21:10 (ソウル発OZ573)
15	12月17日	水	09:00	JICAウズベキスタン事務所にて団内協議
			15:00	保健省表敬・協議
			17:00	高等中等専門教育省表敬・協議
16	12月18日	木	11:00	保健省・高等中等専門教育省との合同協議 (評価レポート案、M/M案の説明・協議)
			16:00	実習病院 (TAPOICH) 視察
17	12月19日	金	10:30	看護教員資格向上センター視察
			PM	JICAウズベキスタン事務所にて取りまとめ作業 (評価レポート、M/M案)
18	12月20日	土		取りまとめ作業 (評価レポート、M/M案)
19	12月21日	日		取りまとめ作業 (評価レポート、M/M案)
20	12月22日	月	12:30	保健省にてM/M署名
			16:00	JICAウズベキスタン事務所報告
			17:30	在ウズベキスタン日本国大使館報告
21	12月23日	火	15:30	対外経済関係投資貿易省表敬
				タシケント発22:30 (OZ574)
22	12月24日	水		成田着13:40 (特別顧問団員は福岡着14:30)

1 - 4 主要面談者

<「ウ」国側>

(1) 保健省 (Ministry of Health : MOH)

Feruz G. Nazirov	大臣
Nodir Utkurovich Sharapov	副大臣 / プロジェクト・ダイレクター
Shukhrat E. Atakhanov	人材・科学・教育局 局長 / プロジェクト・マネージャー
Matlyuba Kh. Alimova	人材・科学・教育局 課長
Salima K. Nazarova	人材・科学・教育局 主任
Rihsi K. Salihodjaeva	主任看護専門官, 看護協会 会長
Abdunamon E. Sidikov	対外経済協力局 局長

(2) 高等中等専門教育省 (Ministry of Higher, Secondary and Specialized Education : MOHSSE)

Sattarov Zafar Murodovich	第一副大臣 / 中等専門教育センター 所長
Galina F. Goleva	中等専門教育センター 上級専門官

(3) 対外経済関係投資貿易省 (Ministry of Foreign Economic Relations, Investments and Trade)

Shokhrukh Y. Sulaymanov	情報分析総局アジア太平洋課長
-------------------------	----------------

(4) 共和国第一医療専門高校 (First Republican Medical College : FRMC)

Mavluda F. Ziyaeva	校長 / 看護教育センター センター長
Kamola Zokirova	副校長 (教育担当)

Saodat A. Mirzaeva	副校長（実習担当）
Feruza Suvankulova	教官
Feruza Sharifkhodjaeva	教官
Nigora Ergasheva	教官
Feruza Aikhodjaeva	教官
Umida Ergasheva	教官
Shokhida Pulatova	教官

（ 5 ）看護教育センター（Nursing Education Center : NEC）

Shoira Iskhakova	母性看護担当
Sabohat Zuparova	基礎看護担当
Zaripa Mirzayusupova	地域看護担当
Zakhida Yunusdjonova	精神看護・老年看護担当

（ 6 ）セルゲリ医療専門高校（Sergeli Medical College）

Sevar Khudayberganova	小児看護担当
-----------------------	--------

（ 7 ）ツルスンホジャエバ医療専門高校（Tursunkhodjaeva Medical College）

Dildar Kasimova	教官
-----------------	----

（ 8 ）バロスキ医療専門高校（Barovskii Medical College）

Lutofi Yusupova	校長
Khayot Samykhamedova	副校長
Olga Tokacheva	教官
Ulmas Mamadalieva	教官

（ 9 ）タシケント医学アカデミー（Tashkent Medical Institute）

Shoira Babajanova	教授（血液学）
-------------------	---------

（ 10 ）看護教員資格向上センター（The Center of Qualification Improvement）

Ravshan Johongirovich Usmanov	センター長
-------------------------------	-------

（ 11 ）共和国救急医療センター（Republican Research Center of Emergency Medical Care : RCEM）

Abdukhakim Muminovich Khajibaev	院長
Elena Mikhailovna Borisova	副院長（医療担当）
Turakul Sadikovich Arzikulov	副院長（広報担当）
Ele Grachevna Khachaturian	副院長（看護担当）
Anjelika Tuxvatulina	看護副部長

(12) 市立第二周産期センター

Vera Karaulova 上級助産師

(13) タシケント市第4エルガシェフ病院 (TAPOICHI)

Husniddin Nasriddinov 院長
Shoira Alimova 看護部長

<日本側>

(1) 在ウズベキスタン日本国大使館 (Embassy of Japan)

平岡 邁 特命全権大使
茶山 比呂司 一等書記官
外山 光弘 一等書記官

(2) JICAウズベキスタン事務所 (JICA Uzbekistan Office)

江尻 幸彦 所長
山崎 潤 所員
園山 由香 所員
Bakhodir Rakhimov 在外専門調整員

(3) 看護教育改善プロジェクト (Nursing Education Improvement Project)

菊池 志津子 チーフア・ドバイザー
稲荷 陽子 看護教育
飯塚 昌 業務調整
松永 匡恵 実習環境整備・指導

1 - 5 評価手法

1 - 5 - 1 合同評価

本プロジェクトの評価は日本側、「ウ」国側の評価メンバー10名が合同で実施した。具体的には調査そのものは日本側調査団主導で実施し、両者が調査結果を検討し、最終的な評価報告とした。

1 - 5 - 2 評価手順

(1) 評価設問を設定する。評価設問は評価5項目(後述)を基にして検討された評価のための要確認事項であり、評価グリッドに示されている。(評価設問は評価中でも改訂、増減された)

(2) 必要な情報・データや収集手段を検討した。これらも評価グリッドに示されている。(同様に評価中でも改訂、増減された)

(3) 評価グリッドに基づき、必要な情報・データを収集する。

(4) 評価5項目(後述)の視点から、プロジェクトの実績と計画を比較する。

(5) 評価5項目の各視点に基づく評価結果を検討する。

- (6) 評価の目的に照らし合わせて、評価結果をまとめる。
- (7) 提言および教訓をまとめる。

1 - 5 - 3 プロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix : PDM) の修正について

本プロジェクトはPDM Ver.1に基づき、2004年7月より5年間の予定で実施されている。PDMは、中間評価の時点で、PDM Ver.2として改訂された。その後、いくつかの指標については、PDM Ver.3として追加された。

期待される上位目標、プロジェクト目標、成果は以下のとおり。

(1) 上位目標 (協力終了後に達成が期待される目標):

全国の医療専門高校で「Client-Oriented Nursing ; CON¹」に基づいた看護教育が行われる。

(2) プロジェクト目標 :

「Client-Oriented Nursing」の原則に基づいた看護教育 (学内教育 / 学外臨床教育) のモデルが確立される。

(3) 成果

1) 成果 1 : 学内教育に「Client-Oriented Nursing」のコンセプトが導入される。

- ・成果 1 - 1 「Client-Oriented Nursing」に基づいたカリキュラム案が作成される。
- ・成果 1 - 2 「Client-Oriented Nursing」に基づいた教材が作成される。
- ・成果 1 - 3 「Client-Oriented Nursing」に基づいた看護教育方法が教員に理解される。

2) 成果 2 : モデル病院及びモデル校の主要実習病院・保健医療施設で「Client-Oriented Nursing」に基づいた実習が導入される。

3) 成果 3 : 看護教育の基準 (時間割及び教案プログラム) について提言する。また「Client-Oriented Nursing」を全国の看護教育に導入するための基盤が整えられる。

1 - 5 - 4 プロジェクトで使用されている用語について

(1) カリキュラム

「ウ」国におけるカリキュラムに相当するものは、「Teaching Plan(時間割)」および「Teaching Program (教案プログラム)」であることが確認された。前者は卒業に必要な科目とその時間数を示す時間割であり、高等中等専門教育省の承認事項である。後者はシラバスを更に詳細にしたもので保健省の承認事項である。「Teaching Program」は通常、専門コースごと毎 (看護師コース、歯科技工士コースなど) に定められるが、本プロジェクトでは看護領域毎に定め、承認を受ける。また「ウ」国では両者とも法律 (大臣令) により全国一律に

¹ CONとは、「利用者に寄り添う看護」のこと。すべての対象者 (Client) にそれぞれのライフサイクルステージ (小児期、思春期、成人期、高齢期等) の健康ニーズに沿った看護・生活支援を提供すること。

定められる。本プロジェクトで作成されたモデルカリキュラムは「改善カリキュラム」と呼ばれ、第一医療専門高校(First Republican Medical College : FRMC)にて試行されている。また2006年8月に保健省が「改善カリキュラム」を参考にして「適応カリキュラム」を作成している。さらに「改善カリキュラム」の施行後、CON (Client-Oriented Nursing : 利用者に寄り添う看護) に基づく全国展開のためのカリキュラムは「統合カリキュラム」と称されている。

(2) 看護教育モデル

プロジェクトでは全国に導入可能なレベルの中等看護教育の体系で、CONに基づく、国際的な看護標準に則った看護の理念や実技を包含した看護教育モデルの構築をめざしている。

(3) 教材

本プロジェクトでは「指導要領」および「実習要領」であり、教師もしくは看護教育指導者が教えるべき項目を列挙している。

(4) 「再教育」と「資格向上」

「ウ」国において「再教育」とは既に資格等の教育を受けた人物が、所有する資格とは異なる資格の教育を受け、新たな資格を得る(産科看護師が教育を受け手術室看護師の資格を得る場合など) ことであり、日本語の「再教育」と意味が異なる。現在のスキルをブラッシュアップするという意の「再教育」は「ウ」国では「資格向上」と呼ばれている。ただし本報告書では「再教育」を現在のスキルをブラッシュアップするという意で用い、固有名詞等、必要に応じて「資格向上」と明記した。

第2章 終了時評価の方法

2-1 主な調査項目と情報・データ収集方法

主な調査項目は、評価5項目（後述）を基にして検討され評価設問としては評価グリッドに示されている。評価設問は評価5項目に関する事項のみならず、プロジェクトの計画、実施プロセスに関する評価設問も設定した。主な調査項目は表2-1のとおりである。

表2-1 計画・実施プロセスに関する主な調査項目

評価項目	評価設問（主な設問）
事前評価のレビュー	モデル校の選定方法
	投入計画の妥当性
	有効性の検証
	効率性の検証
	インパクトの検証
	自立発展性の検証
計画	設定されたターゲットグループは明確か？
	各レベルの外部条件は適切に設定されているか？
実績	投入は計画どおりに実施されているか？
	アウトプットは計画どおりに達成されているか
	プロジェクト目標は達成される見込みか？
実施プロセス	モニタリングシステムは機能しているか？
	ワーキング・グループの運営は適切か？
	意思決定システムは機能しているか？
	その他の関連機関とのかかわりは適切であったか？
	円滑なコミュニケーションが図られたか？
	適切なカウンターパート（カウンター・パート）が割り当てられたか？
	プロジェクトは、実施機関およびカウンターパート（実施者）の中でよく理解され、受け入れられているか？
	ターゲットグループはプロジェクトをよく理解し、受け入れているか？

評価5項目の評価設問は「2-2 評価5項目」にて例示

表2 - 1の調査項目の情報・データ収集は主に、プロジェクト資料のレビューを関係者からの聞き取りによる。本調査にて収集された資料は表2 - 2のとおりである。

表2 - 2 収集データ一覧

調査手法	対象者	配布数	回収数	回収率
調査票調査	日本人関係者	6	4	66%
	カリキュラム委員	4	4	100%
	JOCV（看護師隊員）	3	3	100%
インタビュー （事前に質問票を配布）	カウンターパート	6	6	100%
	ワーキング・グループ	6	6	100%
	再教育教員	6	6	100%
	プロジェクト専門家（日本人）	4	4	100%
インタビュー	保健省			
	第一医療専門高校			
	実習病院			
	高等中等専門教育省			
文献調査	（参考文献は付属資料参照のこと）			

2 - 2 評価5項目について

（1）妥当性

妥当性とは、評価時点においてプロジェクト目標と上位目標が示すプロジェクトの方向性には、「ウ」国の当該分野の開発政策および日本の援助政策と整合性があるか、ターゲットグループや関係者のニーズと合致しているかを、確認する視点である。

終了時評価調査では、

「保健制度改革（1998-2005）についての大統領令No.2107」以降の「ウ」国の看護教育政策との整合性

日本の「ウ」国への援助方針との整合性

受益者（患者、学生、看護師、医療専門高校）のニーズとCONに基づく看護教育の整合性

などを確認した。

（2）有効性

有効性とは、プロジェクト目標の達成可能性およびプロジェクト目標がプロジェクトの活動によって達成されたか（他の要因によって達成されていないか）を確認する視点である。またプロジェクトの成果（アウトプット）がプロジェクト目標の達成に貢献したかも（外部条件の状況も含め）確認する。

終了時評価ではプロジェクト終了時にプロジェクト目標の達成可能性を検証した。具体的には、

終了時評価時のプロジェクト目標の指標の達成状況
各アウトプットのプロジェクト目標への貢献度
外部条件のプロジェクト目標への影響
などを確認した。

(3) 効率性

効率性とは、プロジェクトの投入がどの程度、成果（アウトプット）の達成に貢献したかを確認する視点であり、プロジェクトの生産性を問う視点である。量のみならず、質やタイミングの観点からも確認する。

終了時評価では、
各アウトプットの達成状況
各アウトプットに対応する活動の貢献
各アウトプットへの投入の適切性
などを確認した。

(4) インパクト

インパクトはプロジェクトの直接的・間接的および正負の波及効果である。上位目標は意図された直接的な正のインパクトなので、その達成可能性も確認する。

終了時評価では上位目標の達成見込み以外に、
病院へCONが普及する可能性
学生数増加による影響
なども確認した。

(5) 自立発展性

自立発展性とは、プロジェクトにてもたらされた便益が、その終了後も継続するかを確認する視点である。（プロジェクトの継続性を確認する視点ではない。）将来を予測する視点なので、組織や財政、人材および政策的なバックアップなどを基に、継続するための要素が十分かを検討する。

本プロジェクトの場合、プロジェクト実施機関である「看護教育センター」が、本プロジェクトにより開発された改善カリキュラムの普及およびそのカリキュラムに則った教員の育成を担うことから、同センターの機能強化が重要であることが中間評価時点で確認されている。

よって、終了時評価では、プロジェクト終了後の、
開発されたカリキュラムの継続的な使用
開発されたカリキュラムの継続的な改訂
看護教育センターの機能
保健省の政策的バックアップ
などの可能性を終了時評価時点の取り組みを基に確認した。

第3章 終了時評価の結果

3-1 プロジェクトの実績

終了時評価実施時点（2008年12月）のプロジェクトの実績は以下のとおりである。詳細は付属資料の投入実績表に示されている。

3-1-1 投入

(1) 日本側

1) 長期専門家

・チーフ・アドバイザー	24カ月（1名）
	7カ月（1名）
・看護教育	25カ月（1名）
	33カ月（1名）
・業務調整	52カ月（1名）

・本邦研修	39名
-------	-----

（うち）

- 看護教育者向け研修 （2カ月程度）	25名
- 行政官向け研修 （3週間程度）	14名

2) 短期専門家（延べ人数）

・プロジェクト運営	3名
・研修統括	7名
・基礎看護	24名
・成人・老年看護	29名
・母性・小児看護	6名
・母性看護	8名
・小児看護	8名
・精神看護	7名
・地域看護	13名
・看護管理	1名
（中期派遣専門家）	
・看護実習指導	3名
・小児・地域看護	1名

		2004			2005			2006			2007			2008			2009	
		7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7
長期専門家の派遣 (→一名)	チーフ・アドバイザー																	
	看護教育																	
	業務調整																	
短期専門家の派遣 (☆一名、→一名)		☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆
本邦研修 (☆一名、→一名)	看護教育者 向け研修	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	行政官向け 研修		☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆

図3 - 1 専門家派遣と本邦研修の時期

3) 資機材 (供与機材、携行機材など)

2004年度	43,987US\$		
2005年度	54,000US\$		
2006年度	85,091US\$		
2007年度	36,293US\$		
2008年度	60,263US\$	小計	279,634US\$
その他	25,907US\$	総計	305,541US\$

4) 現地活動費

2004年度	125,506US\$		
2005年度	129,198US\$		
2006年度	125,894US\$		
2007年度	144,828US\$		
2008年度	116,377US\$	計	641,803US\$

(2) 「ウ」国側

- 1) プロジェクトスタッフ (C/P) 6名
- 2) 看護教育センター改修費 40,000US\$
- 3) 看護教育センター運営費 14,836US\$ (2008年度)
(20,213,000スム; 1 US\$=1,362.43スム²)

² 2008年12月JICA統制レートによる。

3 - 1 - 2 活動の実績

個別の活動結果は活動実績表（付属資料）のとおりである。本プログラムの特徴として以下のような活動が実施された。

（１）合同調整員委員会（Joint Coordinating Committee：JCC）の開催

合同調整員委員会は毎年３月頃開催されており、終了時評価までに計４回開催されている。

第１回プロジェクト合同調整会議	2005年３月23日
第２回プロジェクト合同調整会議	2006年３月23日
第３回プロジェクト合同調整会議	2007年２月９日
第４回プロジェクト合同調整会議	2008年３月27日

出所：プロジェクト提供資料より抜粋

（２）カリキュラム委員会の開催

プロジェクトの方向性等を検討・協議する委員会であり、プロジェクトにとって重要な委員会として位置づけられ、定期的に年２回開催されている。

第１回 カリキュラム委員会	2004年８月13日
第２回 カリキュラム委員会	2004年11月11日
第３回 カリキュラム委員会	2005年３月24,25日
第４回 カリキュラム委員会	2005年11月25日
第５回 カリキュラム委員会	2006年３月24日
第６回 カリキュラム委員会	2006年11月17日
第７回 カリキュラム委員会	2007年２月８日
第８回 カリキュラム委員会	2007年11月23日
第９回 カリキュラム委員会	2008年２月15日
第10回 カリキュラム委員会	2008年６月16日

出所：プロジェクト提供資料より抜粋

(3) ワーキング・グループ (Working Group : WG) の会合

2005年より活発に会合が開催され、TV会議等を利用して各領域とも100回以上の会合数を重ねている。特に2008年度は各領域とも50回以上の会合を実施している。

All WGs

Field	2004	2005	2006	2007	2008	計
基礎看護 Fundamental	1	29	39	2	71	142
地域看護 Community	1	19	29	41	90	180
精神看護 Psychiatric		10	22	28	60	120
小児看護 Child health	1	17	35	31	84	168
母性看護 Maternal health		17	27	24	68	136
成人看護 Adult health		18	34	30	82	164
老年看護 Gerontological		10	24	17	51	102

TV WGs, Cur Com Meetings and Monthly Meetings at MOH

Field	2004	2005	2006	2007	2008	計
基礎看護 Fundamental	0	2	4	0	0	6
地域看護 Community	0	0	1	0	0	1
精神看護 Psychiatric	0	0	4	4	5	13
小児看護 Child health	0	0	5	5	0	10
母性看護 Maternal health	0	0	2	3	0	5
成人看護 Adult health	0	0	0	0	0	0
老年看護 Gerontological	0	0	0	0	0	0
カリキュラム委員会 Curri. Mtg	3	4	7	2	2	18
保健省との月例会議 Monthly Mtg at MOH	2	11	10	11	6	40

出所：プロジェクト提供資料より抜粋

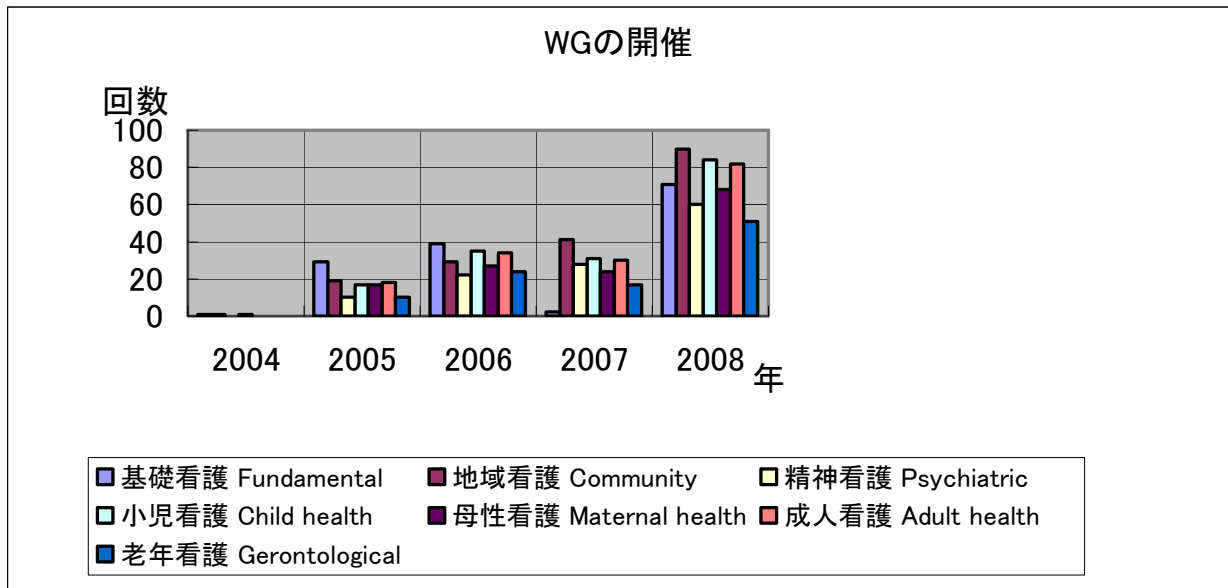


図 3 - 2 WGの開催の推移

(4) セミナー等の開催数

本プロジェクトでは本邦研修参加者の帰国時セミナーを含め、計18回のセミナーが開催されている。

年	期間	セミナー名	内容	参加者
2004	8月16-27日	第一回看護セミナー (タシケント)	新しい看護のコンセプト(CON)	134名
2004	8月23日	看護セミナー (サマルカンド)	看護教育改革の関係者への新しい看護のコンセプトの紹介	51名
2005	2月24日	2004年度本邦研修参加者 プレゼンテーション	研修者による研修成果の発表	60名
2005	3月28日- 4月1日	第二回看護セミナー (タシケント)	新らしい看護のコンセプト (CON) II	155名
2005	8月18日	精神看護公開講座	精神看護のコンセプト	100名
2005	9月26日	臨床実習における看護 教育セミナー	基礎看護の実習法に関して	120名
2006	6月24日	2005年度本邦研修参加者 プレゼンテーション	研修者による研修成果の発表	84名
2006	3月27日- 4月1日	第三回看護セミナー (タシケント)	改善された基礎看護の紹介	176名
2006	4月3-4日	臨床実習セミナー (タシケント)	改善された基礎看護実習の紹介	149名
2006	10月28日	改善カリキュラム 紹介セミナー	改善カリキュラムの紹介	80名
2007	6月23日	2006年度本邦研修参加者 プレゼンテーション	研修者による研修成果の発表	82名
2007	3月22-24日	老年看護セミナー	改善された老年看護の紹介	87名 69observers
2007	3月26-29日	成人看護セミナー	改善された成人看護の紹介	76名 78observers
2007	8月20-22日	母性看護セミナー	改善された母性看護の紹介	91名
2007	8月23-25日	小児看護セミナー	改善された小児看護の紹介	88名
2007	9月24-26日	地域看護セミナー	改善された地域看護の紹介	120名
2007	9月27-29日	精神看護セミナー	改善された精神看護の紹介	120名
2008	1月29日	2007年度本邦研修参加者 プレゼンテーション	研修者による研修成果の発表	74名

出所：プロジェクト提供資料より抜粋

また実習指導者に対する研修が、計14回開催されている。

年	期間	研修名	参加者
2007	10月16日	第一回実習施設責任者会議	52名
2008	1月22日	第二回実習施設責任者会議	39名
2008	2月20日	第三回実習施設責任者会議	47名
2008	3月14日	第四回実習施設責任者会議	49名
2008	4月3日	第二回実習施設長会議	52名
2008	4月16日	第五回実習施設責任者会議	47名
2008	4月18日	第一回臨床実習セミナー：基礎看護	57名
2008	4月28日	第二回臨床実習セミナー：基礎看護	60名
2008	6月6日	基礎看護教員会議（第一グループ）	21名
2008	6月21日	基礎看護教員会議（第二グループ）	28名
2008	9月11日	基礎看護教員会議（全グループ）	60名
2008	9月16日	第一回臨床実習セミナー：成人看護	44名
2008	9月23日	第二回臨床実習セミナー：成人看護	57名
2008	11月3日	成人看護教員会議（第一グループ）	24名

出所：プロジェクト提供資料より抜粋

（５） 供与機材の使用ビデオの作成

JOCV看護師隊員とともに、プロジェクトが供与した看護教育機材の使用方法をウズベク語で解説したビデオを作成するとともに講習を実施した。

第一回JOCV、プロジェクト合同看護教育機材トレーニングコース	2008年3月4日	13名参加
第二回JOCV、プロジェクト合同看護教育機材トレーニングコース	2008年3月28日	13名参加
第三回JOCV、プロジェクト合同看護教育機材トレーニングコース	2008年5月2日	14名参加

出所：プロジェクト提供資料より抜粋

（６） ニーズアセスメント調査

2003年に無償資金協力「看護教育改善計画」で供与された機材の活用状況確認のための調査が、2005年5月～2006年9月にかけて実施された。

3 - 1 - 3 成果

（１） 成果１：学内教育に「Client-Oriented Nursing」のコンセプトが導入される。

1) 成果1-1 「Client-Oriented Nursing」に基づいたカリキュラム案が作成される。

- ・ 指標：2006年9月までに、保健省及び高等中等専門教育省の代表者が時間割（案）を承認する。2008年9月までに、保健省の代表者が、第一医療専門高校を対象に作成された「Client-Oriented Nursing」に基づいた教案プログラム（案）を承認する。

カリキュラムには「Teaching Plan（時間割）」と「Teaching Program（教案プログラム）」が含まれる。「Teaching Plan」は2006年7月に高等中等専門教育省に承認された。

「Teaching Program」は7領域ごとに作成され、「基礎看護」は2006年11月、「成人看護」は2007年7月、それ以外の5領域は2007年12月に保健省に承認された。

2) 成果1-2 「Client-Oriented Nursing」に基づいた教材が作成される。

- ・指標：2009年3月までに、第三者によって指導要領が承認される。

中間評価時に「教材」とは「指導要領」であることが確認された。「基礎看護」に関しては教案プログラムと同時期に完成し、基礎看護担当教員に配布されている。またウズベク語翻訳はモデル校の基礎看護担当教員が行った。

「成人看護」に関しては第一部（大項目1-3）が授業開始直前（2007年8月）に完成、成人看護担当教員に配布できた。第二部（大項目4-8）第三部（大項目9-13：最終）が完成したのは2008年2月下旬である。その後、日本側関係者による確認作業は2008年10月に終了した。ウズベク語翻訳は現在担当校に依頼中である。

その他5領域は2007年11月の教案プログラムに前後して完成予定であったが、2008年1月からの後期授業分のロシア語版は2007年12月までに完成した。2008年10月にすべての指導要領が完成した。

3) 成果1-3 「Client-Oriented Nursing」に基づいた看護教育方法が教員に理解される。

- ・指標：C/P、実習担当教師、再教育メンバーの教師の8割が2009年3月までに「Client-Oriented Nursing」理解度テストに合格する。

「基礎看護」に関してはC/Pを中心にFRMCの担当教員への訓練(再教育)を実施した。その他の領域の教員は「指導要領」の作成を通じてCONの理解を深めた。

指標では、「理解度テスト」を実施することとなっているが、テストを実施するには保健省の承認が必要であり、終了時評価までに実施することが困難であったことから、教員に対する理解度のアンケート調査を2008年12月5日に実施した。その結果、半分以上の教師が目標の理解力に達していることが確認された。

(2) 成果2：モデル病院及びモデル校の主要実習病院・保健医療施設で「Client-Oriented Nursing」に基づいた実習が導入される。

- ・指標：2009年6月までに、モデル病院及び実習病院で、臨床実習において、「Client-Oriented Nursing」に基づいた実習の以下の最低必要条件が満たされる。

- (1) 実習開始前に、実習生の8割に専任の指導者が配置される。
- (2) 受け持ち実習開始前に、実習生の8割に受け持ち患者が選択される。
- (3) 実習生の8割が実習開始2日以内にカルテから情報を入手することができる。
- (4) 看護師長のいるカンファレンス実施率が8割である。

救急医療センター（モデル病院）に実習室および教授法室が整備されている。学生数の増加により、実習病院は12箇所（基礎6箇所、成人看護12箇所）となり、実習環境が整備された。今後、残り5領域の実習病院、実習施設も実習開始前に整備する予定である。

実習担当者が用いる「実習要綱」は基礎看護が2008年3月、成人看護が同年5月、老年看護および母性看護が同年7月、小児看護、地域看護ならびに精神看護が同年9

月に承認された。実習要綱完成後に事前研修会が実施され、基礎看護実習は2008年5月26日～6月21日まで、成人看護実習は同年10月7日～12月1日まで実施された。他の5領域の実習は2009年5月に実施予定である。

実習施設の準備状況は「専任指導者の配置、受持ち患者の準備、カルテの閲覧、カンファレンス実施」の4項目の適切性を学生の実習記録、担当教員へのインタビュー、プロジェクト関係者によるモニタリングから検証した結果、ほぼ適切であることが確認された(成人看護)。

(3) 成果3：看護教育の基準(時間割及び教案プログラム)について提言する。

・指標：保健省が、2009年6月までにプロジェクトが準備する提言を受け入れる。

成果3は成果1および2の結果から導き出されるもので、終了時評価の段階では未着手であるが、モデル導入学年での講義・演習・実習を通じてのフィードバックを反映し改定された基準(同国ではスタンダードとしている)を2009年6月までにプロジェクトがまとめ保健省側に提出する予定である。

3-1-4 プロジェクト目標

プロジェクト目標：「Client-Oriented Nursing」の原則に基づいた看護教育(学内教育/学外臨床教育)のモデルが確立される。

・指標：2009年に第一医療専門高校を卒業する学生の70%が「Client-Oriented Nursing」の理解度テストに合格する。

学生への理解度テストの実施は2009年6月に実施予定であるが、成人看護実習後、572名の学生に対して、理解度を測るアンケートが実施された。うち60%以上の理解を示していた学生は145名で全体の25.3%であった。学生達は紙面への回答方式になれていないこと、事前通告なしに実施したことを勘案すれば、理解度テストの結果は向上すると考えられる。

また終了時評価時点で各成果が予定どおり実施され、教員の理解、実習施設の整備が順調に進んでいることから、プロジェクト目標が達成される見込みである。

3-2 プロジェクトの実施体制

(1) 保健省、人材・科学・教育局

保健医療分野の人材育成、教育を担う保健省内の部局であり、看護教育も担当している。本プロジェクトでは局長がプロジェクト・マネージャーを務めている。また「教案プログラム」「実習要綱」は保健省内の医学教育開発センター(旧教授法室)の審査、承認事項である。本プロジェクトで策定された改善カリキュラムを元に統合カリキュラムを策定し、その全国展開を指示・指導する役目を担う。

(2) 高等中等専門教育省、中等専門教育センター

「ウ」国の初等教育以外の教育を担う省庁であり、中等専門教育センターは中等教育ならびに専門教育を主管する。医療専門高校で実施される看護教育は中等教育に分類され、本プロジェクトでは「Teaching Plan(時間割)」の承認を行った。

(3) 看護教育センター (NEC)

プロジェクトの実施機関であり、本プロジェクトを実施するために設立された「ウ」国の機関である。第一医療専門高校の校舎の一部に間借りして設置されている。本プロジェクトの「ウ」国C/Pは本センターの職員であり、前職は第一医療専門高校の教員であり、プロジェクト開始後にプロジェクト業務専任となったが、給与が十分に支払われないなどの問題が発生した。

(4) カリキュラム委員会

「Teaching Plan」の作成およびWGへの助言・指導をする。またプロジェクトの各種議案の議決機関でもある。カリキュラム委員は「ウ」国側28名、日本側18名の計46名である。カリキュラム委員は、「ウ」国側は保健省、高等中等専門教育省、タシケント医科アカデミーなどから選出されており、日本側は大分県立看護科学大学をはじめ、多数の看護大学教員から選出されている。

(5) ワーキング・グループ (WG / 作業部会)

「Teaching Program」、「指導要領」および「実習要領」を作成する。メンバーは基礎看護16名、地域看護10名、母性看護11名、小児看護9名、成人看護14名、老年看護12名、精神看護10名および実習室整備10名である³。WGのメンバーは、「ウ」国側はC/PのみならずFRMCや他の医療専門高校の教員、医療施設の看護師などからも選出されており、日本側はカリキュラム委員を兼任しているメンバーが多い。

(6) 第一医療専門高校 (FRMC)

モデル学校(本校の教員はPDMにおけるターゲットグループ)であり、各教員はNECより再教育を受け、改善カリキュラムに合わせた講義に使用するハンドアウトなどの配布資料、パワーポイントなどの視覚教材を作成する。

(7) 救急医療センター (RCEM)

モデル病院(本院の実習担当者はPDMにおけるターゲットグループ)であり、FRMCの学生の実習受入れ機関である。

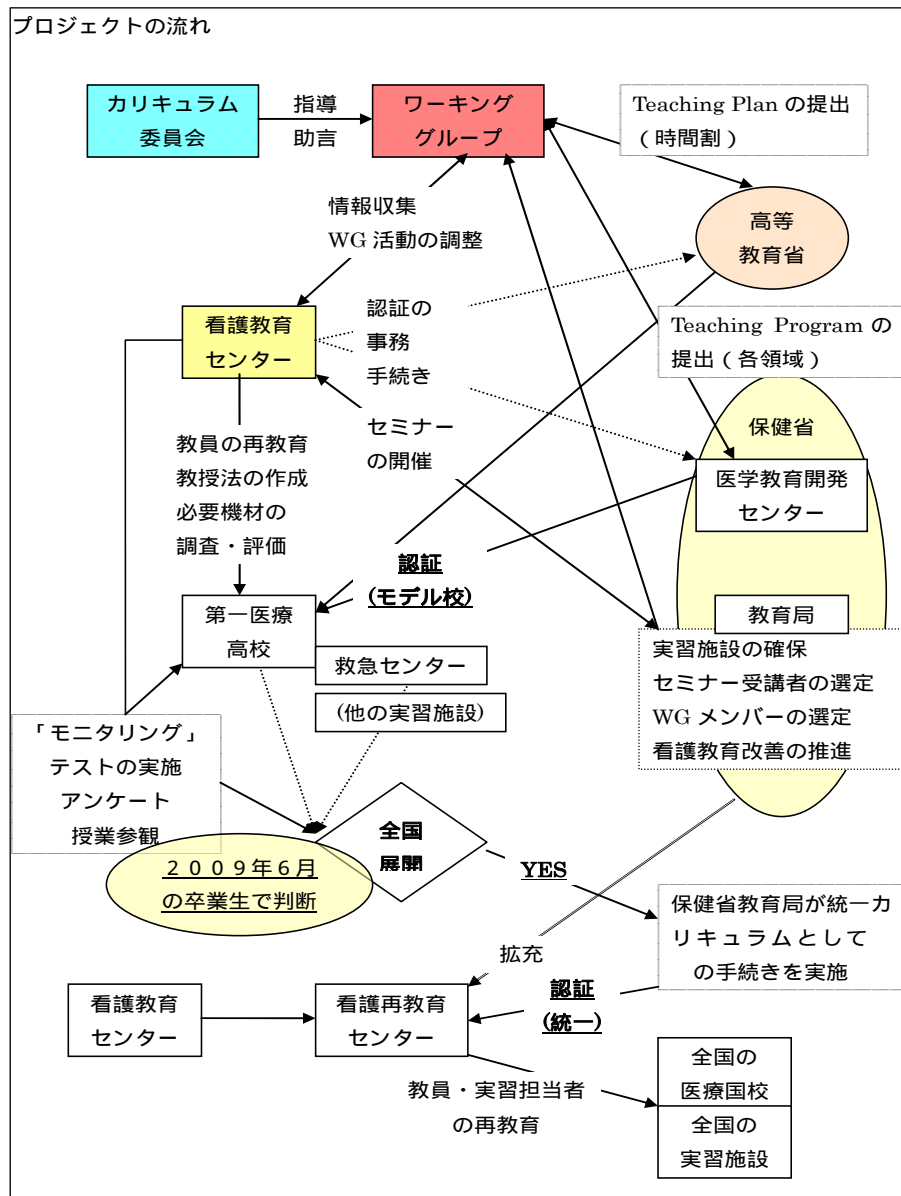
(8) その他の実習施設

RCEM以外のFRMCからの実習生を受け入れる機関であり、基礎看護実習で5箇所、成人看護実習で11箇所が保健省より選定された。今後他の領域の実習時には、保健センターや訪問看護先などが選定される予定である。

³ 複数の領域のWGメンバーになっている。

3 - 3 プロジェクトの実施プロセス

中間評価時に確認された、本プロジェクトで想定している実施プロセスは以下の図3 - 3 ならびに表3 - 1（左部）のとおりであるが、現在の実施プロセスは表3 - 1（右部）のとおりである。



出所：中間評価報告書より

図3 - 3 プロジェクトの流れ

表 3 - 1 実施プロセス

本来のプロセス		現在のプロセス		
プロジェクトの範囲 (網掛け)	1	改善カリキュラムの承認（モデル校への導入）2006年7月	1	同 左
	2	モデル校にて改善カリキュラムによる教育の実施（2006年9月）	2	モデル校にて改善カリキュラムによる教育の実施（一学年のみ）
			3	適応カリキュラムの承認（改善カリキュラムとほぼ同称）
			4	適応カリキュラムの全国の医療専門高校への指示書発布（2006年8月）
			5	適応カリキュラムの全国での実施（2006年9月）
	3	改善カリキュラムの全国展開案の提示（2009年6月）	6	改善カリキュラムの全国展開案の提示（2009年6月）
	4	新カリキュラムの承認	7	同 左
	5	全国の医療専門高校への指示書発布	8	同 左
	6	全国の医療専門高校の教員の訓練	9	同 左
7	全国の医療専門高校の施設、指導要領、テキストなどの整備	10	同 左	
8	実習施設の確保と整備	11	同 左	
9	全国での実施	12	同 左	

出所：評価チーム作成

プロジェクトで作成された改善プログラムの1カ月後、プロジェクトで作成した改善カリキュラムを基にした「適応カリキュラム」が保健省より提出され、高等中等専門教育省から承認されている。

また看護領域ごとの実施プロセスならびに実績は以下のとおりである。各領域の教案プログラムは授業開始2カ月前に承認を終了する計画であったが、基礎看護以外の6領域の教案プログラムは授業開始1カ月前に承認された。

実習要綱は実習実施2カ月前には承認が終了する計画であったが、既に承認されており、計画より5カ月以上、前倒しで達成されている。

実習は、基礎看護ならびに成人看護の既に実施されている。その他5領域の実習に関しては、2009年の4月に計画されているが、これから実習先選定等の手続きにかかるため、実際にいつ実施されるかは、終了時評価の時点では確認できなかった。

実習後、カリキュラム評価が実施される予定となっているが、カリキュラム評価は、基礎看護では2008年12月に実施され、成人看護では2009年1月に実施される予定である。

その他5領域のカリキュラム評価は2009年5月に計画されている。しかし基礎看護ならびに成人看護にて実習後1カ月以内に評価できなかったことから、カリキュラム評価を計画どおり実施するためには事前の周回の準備が必要である。

表 3 - 2 領域ごとの活動実績

	2006年				2007年								2008年								2009年																
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
基礎看護	計画					教案プログラム承認手続 保健省、高等中等教育省)	新加キヨム講義開始 (1月15日)																														計画より前倒して進捗
	実績					教案プログラム承認 (1月15日)	新加キヨム講義開始 (1月)																														
成人看護	計画						セミナー					教案プログラム承認手続																								計画より前倒して進捗	
	実績						セミナー (8月26日-29日)					教案プログラム承認 (8月28日)																									
老年看護	計画						セミナー					教案プログラム承認手続																								計画より前倒して進捗	
	実績						セミナー (8月22日-24日)					教案プログラム承認 (8月28日)																									実習開始時期不明 臨地実習評価実施は難しい
小児看護	計画											教案プログラム承認手続																								計画より前倒して進捗	
	実績											教案プログラム承認 (8月23日-25日)																									実習開始時期不明 臨地実習評価実施は難しい
母性看護	計画											教案プログラム承認手続																									計画より前倒して進捗
	実績											教案プログラム承認 (8月20日-22日)																									実習開始時期不明 臨地実習評価実施は難しい
地域看護	計画											教案プログラム承認手続																									計画より前倒して進捗
	実績											教案プログラム承認 (8月24日-26日)																									実習開始時期不明 臨地実習評価実施は難しい
精神看護学	計画											教案プログラム承認手続																									計画より前倒して進捗
	実績											教案プログラム承認 (8月27日-29日)																									実習開始時期不明 臨地実習評価実施は難しい

3 - 4 評価5項目からの評価結果

3 - 4 - 1 妥当性

本プロジェクトは、「ウ」国「保健制度改革についての大統領令」に基づく医療従事者教育の高度化を目的とした看護教育制度改革の一環として開始された。その後、2007年に発布された大統領令にて保健制度改革の継続が確認され、医療従事者の教育（看護教育を含む）再教育のリフォームが推進されている。

Box.1 大統領令No.3923「ヘルスケア開発国家プログラムの実行と更なる改革の方向性に関して」より抜粋

「質の高い医療従事者の再教育とその供給システムの更なる改善が求められている。医療専門高校における医療従事者教育の質への強い非難により、近代的な教育法ならびに演習、実験機材の強化が求められている。

2007年9月19日

また保健セクターは日本の対「ウ」国援助重点分野「社会セクターの再構築」の最重点分野であり、その中でも保健医療分野のシステム改善に看護教育は当てはまる。これに沿って「保健改革プログラム」、および当事業が実施されている点でプロジェクト開始時より変更はない。よって国別事業実施計画とも合致している。

「ウ」国の看護の課題として、従来の医学モデルによる看護教育では医師の補助的な業務に関する教育が中心であり、患者に目が向けられた看護教育ではなかった。そこで患者の全体性に配慮した看護としての看護モデルに基づいた看護教育が求められており、これはまさしくCONのコンセプトと合致する。看護教育の現場、病院の現場、学生の興味としてCONへの関心も高いことが確認された。したがって妥当性は高い。

Box.2 現行の看護に対する不満と患者の望む看護（質問票より抜粋）

現行の看護への不満

- 患者と患者の家族の希望が考慮されておらず、治療を中心とした看護となっている。(C/P)
- 呼ばないと見に来てくれない、注射しに来てくれないなど、自己申告しなければならない。(JOCV)
- 配慮が行き届いていない。患者ではなく治療がメインだった。1人の看護師につき、25～30人の患者を診ている。(WG)

望まれる看護

- 個々の患者に即したケア、質の良いケア。(C/P)
- 注射が上手。失敗しないこと。(JOCV)
- やさしい配慮、コミュニケーション、わかりやすい説明、不安の解消、家族に対する説明や不安の緩和などが望まれている。不安解消が特に重要。(再教育教員)
- 看護師は患者の抱えている問題を把握し、その解決をする看護をしなければならない。(再教育教員)

以上のことから本プロジェクトは妥当性が高いと認められる。

3 - 4 - 2 有効性

本プロジェクトは順調に進捗しているが、終了時評価の時点では成果 1 - 2 の指導要領の作成、成果 1 - 3 の教員の理解度テストの準備が行われ、成果 2 の実習施設の整備が確認された段階である。

成果 1 - 2 に関して、指導要領の客観的評価を第三者に依頼する予定であるが、現在、各領域の整合性を確認中であり、その完成をもって保健省の医学教育開発センター（旧教授法室）に既定の手順に則って評価を依頼する予定である。

成果 1 - 3 に関して、教員の理解度を確認する目的で実施された理解度アンケートの結果、CONに基づく看護理論の理解や実習担当教員の役割は十分に理解されている。アンケートは主に基礎看護に関して実施された。アンケート結果を分析したところ、「看護過程の進め方」「ヘンダーソンの14項目」⁴「主観、客観情報の区別」に関しては理解が高かった一方、「ライフサイクルの区分」「WHO健康の定義」に関しては正答数があまり多くなかった。

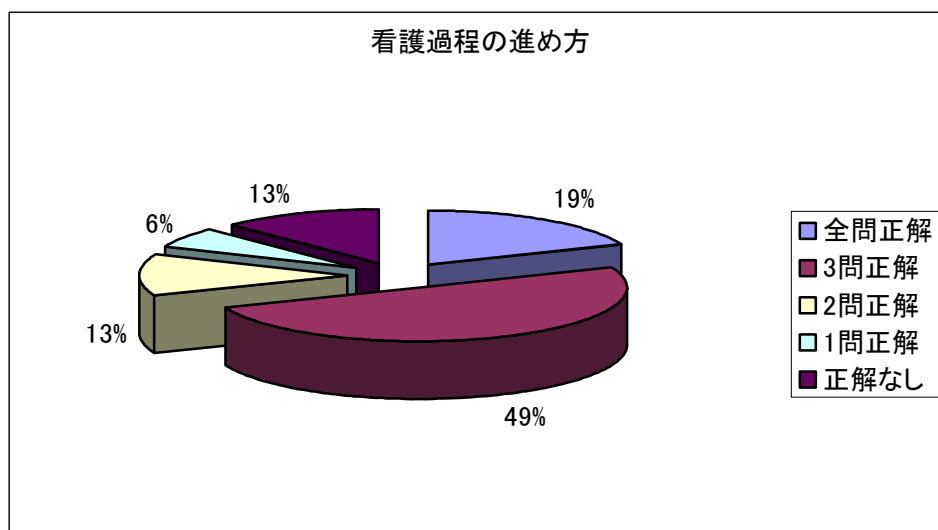


図 3 - 4 理解度アンケート結果「看護過程の進め方」

⁴ 米国の看護学者、V. ヘンダーソンが唱えた基本的看護ケアの 14 の構成要素

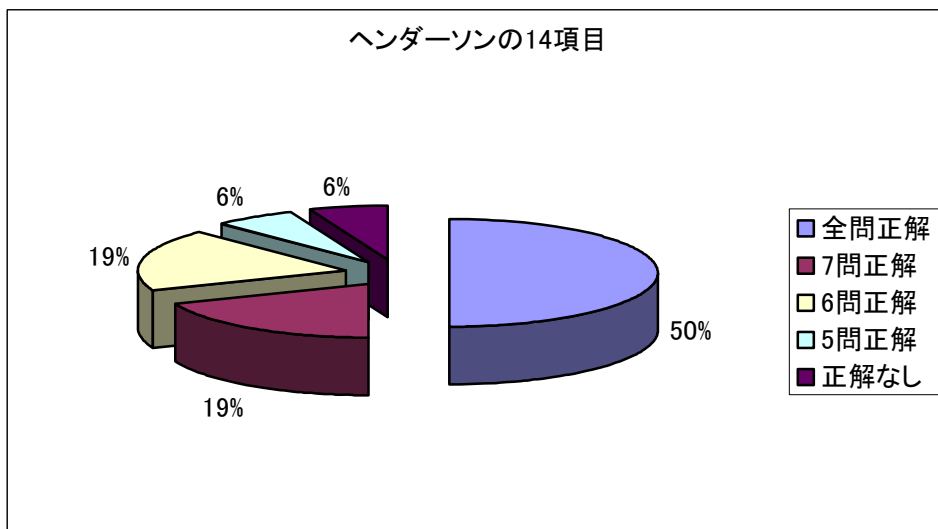


図 3 - 5 理解度アンケート結果「ヘンダーソンの14項目」

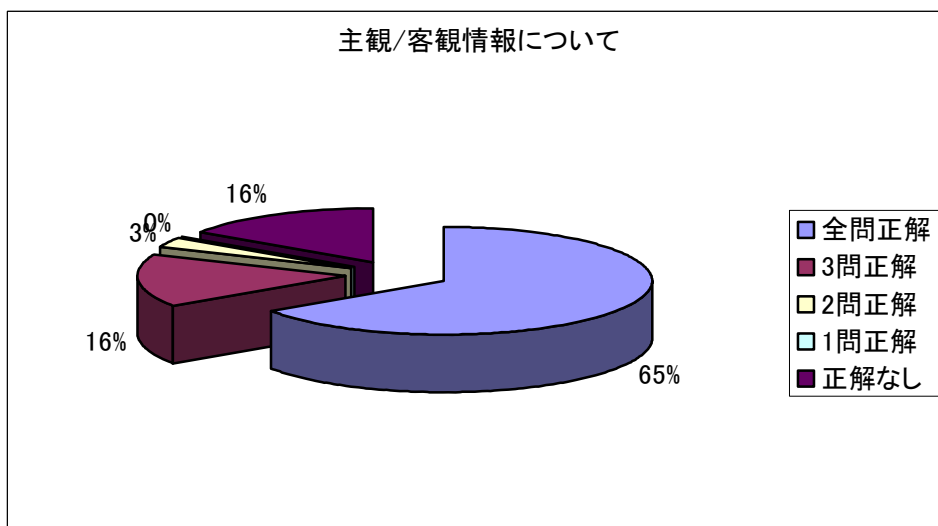


図 3 - 6 理解度アンケート結果「主観/客観情報について」

プロジェクトによる聞き取りの結果、上記問題の解答欄は単純な記述式であったが、「ライフサイクルの区分」ならびに「WHO健康の定義」の問題の解答欄は穴埋め形式を採っていたため回答方法に混乱が生じたということであった。今回の理解度アンケートの結果、「ウ」国の看護教員は記述式のテストに不慣れであり、回答方法に関する十分な説明、理解が必要であることが判明した。

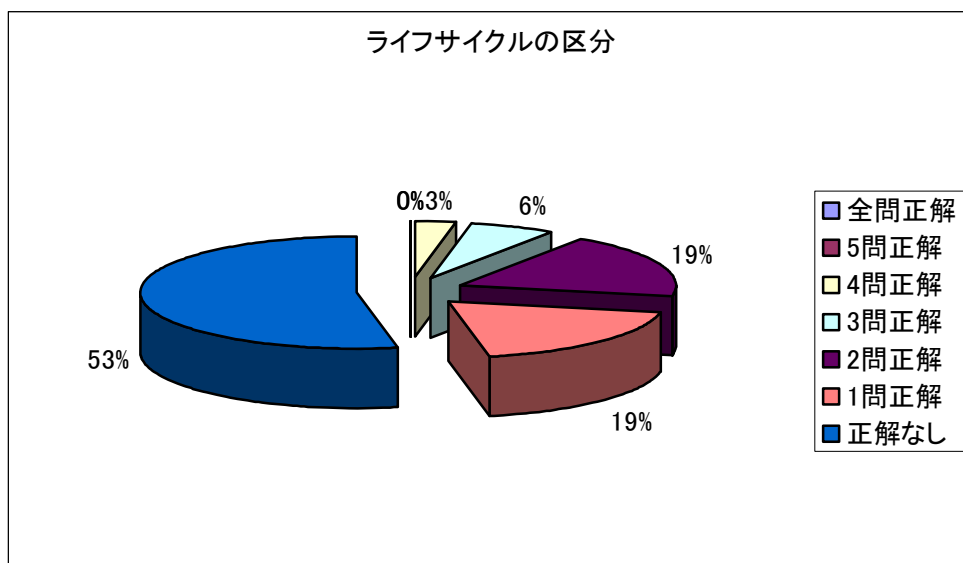


図 3 - 7 理解度アンケート結果「ライフサイクルの区分」

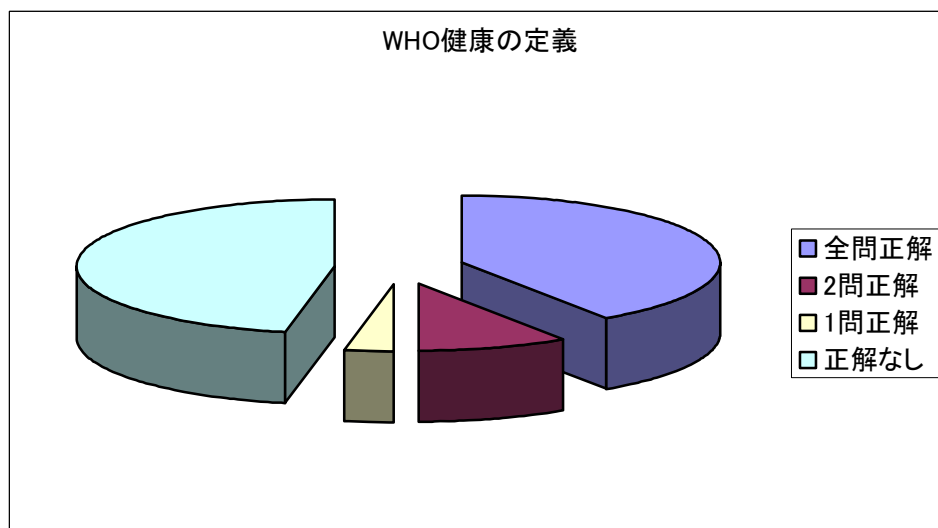


図 3 - 8 理解度アンケート結果「WHO健康の定義」

上記より、「看護過程」「ヘンダーソンの14項目」「主観/客観情報」など基礎看護において必須の項目を重点的に見れば、教員の理解度は高いと判断することもできる。

さらに理解度テストの実施方法説明やプレテストの実施により看護教員が記述式テストの実施方法に慣れれば、2009年3月までには目標の理解力を有している教員が8割に達する見込みである。

成果2に関して、実習施設の整備は「専任指導者の配置、受持ち患者の準備、カルテの閲覧、カンファレンス実施」の4項目でチェックした結果、基礎看護実習・成人看護実習が終了した段階では適切であることが確認された。残り5領域においては新規の実習施設があるものの、事前講習会が有効に機能すれば十分達成されると考えられる。

表 3 - 3 実習施設の準備状況

項目	収集の手段	合格数	母数	%	Output2指標
デリーシートに実習指導者のサインがある学生の割合	学生の実習記録	426	426	100	指標(1)
受け持ち実習開始前に、患者が決定していた学生の全学生における割合	実習モニタリング	715	772	92.6	指標(2)
受け持ち実習開始後2日以内にカルテより情報収集ができた学生の全学生における割合	実習モニタリング	703	772	91.1	指標(3)
全体カンファレンスに実習指導者が参加している割合	教員への質問	65	82	78.3	指標(4)

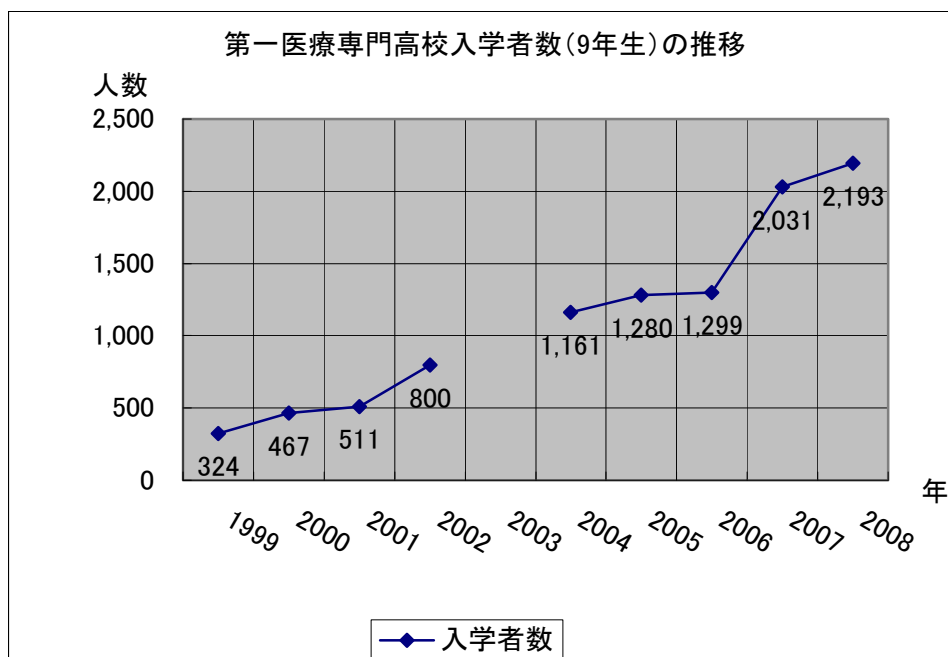
出所：プロジェクト作成

これらの成果が満たされる可能性は高いので、プロジェクト目標の学生の理解度は目標を達成することが見込まれる。ただし医療専門高校の卒業試験は口頭試問で実施されており、看護教員と同様、医療専門高校の学生も記述式テストに不慣れなことが予想されることから、学生の記述式テストに対する理解の向上も重要である。

一方、改善カリキュラムは2006年9月からの入学生に適用された。一連の改善カリキュラムで教育を受けた学生の卒業時点である2009年6月に改善カリキュラムを評価することとなっているので客観的かつ詳細な検証に努める必要がある。

また再教育を受けた教員以外もCONの理解を深めることが、学生のCONの理解を高める上で重要である。

さらに、外部条件として中等教育の義務教育化に伴う学生数の大幅増加が発生し、教育の質が下がることが懸念されていることは、中間評価時にも指摘されていた。実際、プロジェクト開始直後、2004年の新入生は1,161名であったが、2006年の入学生は1,299名と100名以上増加している。このような状況に対して保健省、FRMCならびにプロジェクトが、校舎外に教室を確保したり、実習病院を優先的にあてがうなど、影響が出ないように努力した。しかし2007年には新入生が2,000名を上回っており、教育の質を担保するにはより一層の努力が必要となる。



注) 2003年のデータは入手できなかった。

図3 - 9 第一医療専門高校の入学者の推移

3 - 4 - 3 効率性

このプロジェクトは、多面的な情報を収集し、成果物の質を高めるために多数の専門家が、日本および「ウ」国から参加している。当初計画では、短期専門家：10名/年、研修員受入れ：年間5名程度であったが、終了時評価時点で短期専門家103名、研修員受入れ39名となっている。

Box.3 事前評価要約表における投入計画

日本側（総額3億9,000万円）

専門家派遣

長期専門家：チーフ・アドバイザー、看護教育、業務調整 3名/年

短期専門家：基礎看護、成人/老人看護、母子看護、地域看護、看護管理 10名/年

供与機材：視聴覚、教材作成・印刷用機材など

研修員受入れ：年間5名程度

また本プロジェクトはCONという新しい概念の導入を行う事業であり、看護学・医学用語の適切な表現および看護に係る社会、文化的な背景を理解するためには翻訳・通訳業務に多大な投入が必要となっているが、事前評価時、通訳・翻訳者の重要性に関して触れられていない。プロジェクトの投入計画は事業内容と比較して過小評価されていた。このような事態に対してプロジェクトは適切な軌道修正を行い、プロジェクト活動の円滑な実施に努めた。

まずプロジェクト自体が通訳・翻訳者の育成にかかわったことによって、翻訳・通訳業務を日本の人材で賄った場合と比較して費用を抑えることが可能となった。時期により変動はあるものの、2007年5月以降、プロジェクトは5名以上の通訳・翻訳者を確保している。また優秀な通訳・翻訳者の確保のため、プロジェクトスタッフを本邦研修へ帯同したことにより、効率的な技術移転（よりの確な翻訳・通訳）が可能となった。

またウズベク語を話せるJOCV看護隊員に協力を依頼し、ウズベク語による供与機材の使用ビデオを作成し、演習効果を高めた。

数カ月単位で「ウ」国に派遣されるタイプの専門家（中期派遣専門家）が4名派遣されることとなり、指導要領や実習要綱の作成、実習管理などを行っている。中期派遣専門家により長期派遣専門家の負担の軽減、短期派遣専門家では対応しきれなかった指導などプロジェクトの業務を円滑に実施することが可能となった。

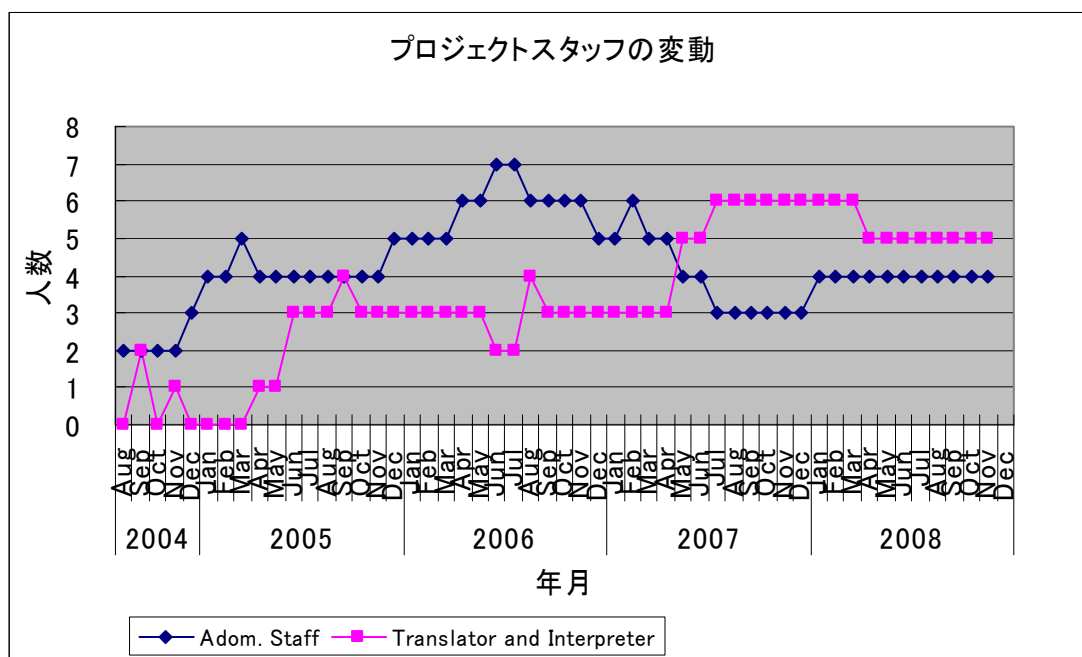


図3 - 10 プロジェクトスタッフの推移

3 - 4 - 4 インパクト

(1) 上位目標の達成見込み

保健省は改善カリキュラムの全国展開に関して、看護教員の能力向上（再教育）ならびに医療専門高校の資機材整備は、全国一斉にできないことから段階的に導入（タシケント市、タシケント州と主要医療専門高校、全国）し、2012年までに全国導入を目指しており、既に保健省は2009年からの改善カリキュラムの全国展開のための準備（承認準備）を開始している。また保健省は改善カリキュラムの全国展開のために看護教員の再教育（資格向上）、教材の作成、医療専門高校の整備を計画している。しかし看護教員の再教育（資格向上）に関しては十分な指導者が確保されているとはいえないため、2012年までに実質的な全国展開を達成するには、保健省が指導者育成の確保や研修等の相当な準備をする必要がある。

プロジェクトが作成した改善カリキュラムを承認された1カ月後（2006年8月）に保健省はプロジェクトで作成した改善カリキュラムを基にした適応カリキュラムを高等中等専門教育省（MOHSSE）に提出し、承認を受けた。その適応カリキュラムを使用するよう、全国の医療専門高校に高等中等専門教育省大臣令が發布されている。

本適応カリキュラムは改善カリキュラムを導入しやすいよう保健省が作成したものであ

り、それ以前のカリキュラムの専門科目が「内科看護」「眼科看護」など診療科、疾病別であったのに対し、本適応カリキュラムは改善カリキュラムと同様に7領域に分類されており、一般教養の時間が多少異なる以外はほぼ同じ内容である。よって2007年度以降のFRMCの学生にもCONのコンセプトに基づいたカリキュラムは導入されている。

表3 - 4 改善カリキュラムと適応カリキュラムの比較

	改善カリキュラム	適応カリキュラム
一般科目	2,631コマ、40.8%、21科目	2,831コマ、43.7%、23科目
一般専門科目	469コマ、7.2%、7科目	541コマ、8.3%、7科目
	東洋医学の歴史	
	ラテン語と医学用語	ラテン語と医学用語
	薬理学	一般薬理学と処方箋
	解剖生理と病理学	人体構造と生理・病理学
	医学遺伝子学	遺伝医学
	微生物学	一般微生物学
		一般衛生、生多額エコロジー
		医学心理学
		コミュニケーションの基礎
専門科目	2,567コマ、39.6%	2,153コマ、36%
	基礎看護 465コマ	基礎看護 404コマ
	地域看護 304コマ	地域看護 209コマ
	母性看護 280コマ	母性看護 222コマ
	小児看護 364コマ	小児看護 347コマ
	成人看護 744コマ	成人看護 638コマ
	老年看護 213コマ	老年看護 174コマ
	精神看護 197コマ	精神看護 159コマ
		選択科目 176コマ
臨地実習	614コマ、9.4%	512コマ、7.0%
	領域別実習 307	領域別実習 256
	卒前実習 307	卒前実習 256
その他	国試 108	国試 102
	高校時間 91	高校時間 165
総合計	6,480コマ	6,480コマ

出所：プロジェクト資料より抜粋

(2) 正のインパクト

セミナー等を通じて全国の病院の看護師、医療専門高校の教員の間でCONの関心が高まった。さらに「ウ」国の看護教育の方向性としてCONの導入が進んでいる。ただし全国の病院・医療専門高校でのCONの実践は今後行われる予定である。

またC/Pのパソコン能力の向上、プレゼンテーション能力などの副次効果も見られた。

(3) 負のインパクト

モデル校の生徒数が急増したため、保健省の指導で優先的に実習施設に受け入れてもらうこととなり、実習病院にとって他の医療専門高校と実習生徒の調整が負担となった。

3-4-5 自立発展性

本プロジェクトの便益を自立的に発展させて行く上で、NECの機能、組織等を明確にすることが極めて重要であり、プロジェクト終了後も看護教育課程の定期的な改善、教員の再教育を継続して行うために、本センターの機能を維持するための方策をとる必要性は中間評価でも指摘された。

終了時評価時点で、保健省はNECを独立した機関「看護教員資格向上（再教育）センター」としてFRMC内に存続させる意向を示しており、NECの維持に関してはFRMCの協力を要請している。このように「ウ」国ではNECの機能を現在の場所、人員を基に維持する方向で検討している。

Box.4 プロジェクトの今後の発展に関する保健省の考え（保健省より文書による回答）

第一医療専門高校内にある看護教育センターに関して、以下のことを計画する。当センターを、独立した機関、看護教員資格向上センターとして、当該地に残す。以下の機能を果たすものとする。

- 看護教員の資格向上。時間割の導入（講義、セミナー、演習など）に従って、段階的に、各州の医療専門高校の教員も教育過程に参加するものとする。現地研修の形をとることも可能（現地教育）。
- 新教案プログラムに基づき、現地で教員資格向上のための調整を行う（現地に出向くことも可能）。
- プロジェクトの一環で、各医療専門高校の教授法専門教員の資格向上（段階的に）。
- 実習担当教員の資格向上（段階的に）。
- 医療機関の実習指導者／看護師の資格向上。
- 保健省医学教育開発センターと共同で、新カリキュラムに基づいた教員および学生のための教科書および教材を作成する。

当センターの人員およびスペース拡張の必要性については、センターの詳細な計画案作成後に検討される。当センターの今後の活動計画については、2009年8月までに承認されるものとする。しかし、教員の追加配置が必要となった場合、第一医療専門高校の教員がそれに当たることとする。

また保健省ならびにNECとしては、現在のNECではセミナーの計画立案など運営面の能力が不足していること、全領域の看護教員の再教育をカバーすることはできない（既に退職したC/Pがいるため）ことを考慮し、プロジェクトが組織したWGをプロジェクト終了後も活用することを検討中であり、一部のWGメンバーは協力を継続する意向を示している。この様にプロジェクト終了後もNECの活動を継続するための準備は開始されている。

しかし現段階では改善カリキュラムを実施するための医療専門高校の資機材整備は十分とはいえない。2003年に無償資金協力「看護教育改善計画」にて全国54校の医療専門高校に対して看護教育機材が供与された。しかし医療専門高校の新設により、現在は全国に76校あり、新設の22校にはCONに基づく看護教育を実施可能な機材は整備されていない。

表3 - 5 全国の医療学校

#	地域	医療専門学校名	設立年
1	タシケント市	Medical College named after Borovskiy P. / Медицинский Колледж имени Боровского П.	1935
2	タシケント市	Chilanzar Medical College / Чиланзарский Медицинский Колледж	1965
3	タシケント市	1st Republican Medical College / 1 Республиканский Медицинский Колледж	1985
4	タシケント市	Medical College named after Akhunbabaev Y. / Медицинский Колледж имени Ахунбабаева	1918
5	タシケント市	Medical College named after Tursunkhodjaeva M.S. / Медицинский Колледж имени Турсунходжаева	1984
6	タシケント市	Sergili Medical College / Сергелийский Медицинский Колледж	1982
7	タシケント市	Medical College of City Health Department / Медицинский Колледж Горздрава	1993
8	タシケント市	Medical College named after Rahimov S / Медицинский Колледж имени Рахимова С.	1980
9	タシケント州	Yangiyul Medical College / Янгийулский Медицинский Колледж	1953
10	タシケント州	Chirchik Medical College / Чирчикский Медицинский Колледж	1952
11	タシケント州	Bekabad Medical College / Бекабадский Медицинский Колледж	1967
12	タシケント州	Angren Medical College / Ангренский Медицинский Колледж	1967
13	タシケント州	Almalik Medical College / Алмалыкский Медицинский Колледж	1991
14	タシケント州	Zangjata Medical College / Зангятинский Медицинский Колледж	2002
15	カシュカダリア州	Karshi Medical College / Каршинский Медицинский Колледж	2000
16	カシュカダリア州	Muborek Medical College / Муборекский Медицинский Колледж	1991
17	カシュカダリア州	Shakhriyabs Medical College / Шахриябский Медицинский Колледж	1966
18	フェルガナ州	Fergana Medical College №2 / Ферганский Медицинский Колледж №2	2001
19	フェルガナ州	Kokand Medical College / Кокандский Медицинский Колледж	1925
20	フェルガナ州	Fergana Medical College №1 / Ферганский Медицинский Колледж №1	1982
21	フェルガナ州	Margilan Medical College / Маргиланский Медицинский Колледж	1964
22	フェルガナ州	Margilan Medical College №2 / Маргиланский Медицинский Колледж №2	新設
23	フェルガナ州	Besharik medical college/Бешарикский медицинский колледж	新設
24	フェルガナ州	Bagdad medical college/Багдадский медицинский колледж	新設
25	フェルガナ州	Rishtan medical college/Риштанский медицинский колледж	新設
26	フェルガナ州	Buvida medical college/Бувайдинский медицинский колледж	新設
27	ナマンガン州	Chartak Medical College / Чартакский Медицинский Колледж	1984
28	ナマンガン州	Namangan Medical College / Наманганский Медицинский Колледж	1999
29	ナマンガン州	Chust Medical College / Чустский Медицинский Колледж	1984
30	ナマンガン州	Kasansay Medical College / Касансайский Медицинский Колледж	1981
31	ナマンガン州	Khakullabad medical college/Хакуллабадский медицинский колледж	新設
32	ナマンガン州	Pap medical college/Папский медицинский колледж	新設
33	シルダリア州	Gulistan Medical College / Тулистанский Медицинский Колледж	1964
34	シルダリア州	Yangyer Medical College / Янгьерский Медицинский Колледж	1984
35	シルダリア州	Sirdarya medical college/Сырдарьинский медицинский колледж	新設
36	カラカルバクスタン共和国	Nukus Medical College / Нукусский Медицинский Колледж	1999
37	カラカルバクスタン共和国	Nukus Medical College №2 / Нукусский Медицинский Колледж №2	1992
38	カラカルバクスタン共和国	Turtkul Medical College / Турткульский Медицинский Колледж	1981
39	カラカルバクスタン共和国	Ellikallin Medical College / Элликаллинский Медицинский Колледж	1994
40	カラカルバクスタン共和国	Nukus Medical College №3 / Нукусский Медицинский Колледж №3	新設
41	カラカルバクスタン共和国	Kungrad medical college/Кунградский медицинский колледж	新設
42	カラカルバクスタン共和国	Hojeili medical college/Хожейлийский медицинский колледж	新設
43	ホラズム州	Urgench Medical College / Ургенчский Медицинский Колледж	1986
44	ホラズム州	Khiva Medical College / Хивинский Медицинский Колледж	1946
45	ホラズム州	Khovrasp Medical College / Ховраспский Медицинский Колледж	1993
46	サマルカンド州	Siyab Medical College / Свиябский Медицинский Колледж	1982
47	サマルカンド州	Ishtkhan Medical College / Иштханский Медицинский Колледж	1993
48	サマルカンド州	Samarkand Medical College / Самаркандский Медицинский Колледж	1920
49	サマルカンド州	Kattakurgan Medical College / Каттакурганский Медицинский Колледж	1966
50	サマルカンド州	Posdargom medical college/Посларгорский медицинский колледж	新設
51	サマルカンド州	Urgut medical college/Ургутский медицинский колледж	新設
52	サマルカンド州	Pakhtachin medical college/Пахтачинский медицинский колледж	新設
53	サマルカンド州	Poiaric medical college/Пойиарикский медицинский колледж	新設
54	サマルカンド州	Sukhangaron medical college/Сухангарон медицинский колледж	新設
55	ブハラ州	Bukhara Medical College / Бухарский Медицинский Колледж	1932
56	ブハラ州	Gijduvan Medical College / Гиждуванский Медицинский Колледж	1982
57	ブハラ州	Karakul medical college/Каракульский медицинский колледж	新設
58	ブハラ州	Afshona medical college/Медицинский колледж Афшона	新設
59	アンデジャン州	Andijan Medical College / Андижанский Медицинский Колледж	1946
60	アンデジャン州	Asaka Medical College / Асакинский Медицинский Колледж	1980
61	アンデジャン州	Khujaabad Medical College / Хужабалекский Медицинский Колледж	1987
62	アンデジャン州	Boz Medical College / Бозский Медицинский Колледж	1991
63	アンデジャン州	Balikchi medical college/Баликчинский медицинский колледж	新設
64	アンデジャン州	Pakhtaabad medical college/Пахтабадский медицинский колледж	新設
65	アンデジャン州	Kurgantepa medical college/Кургантепинский медицинский колледж	新設
66	ナボイ州	Navoi Medical College / Навоийский Медицинский Колледж	1982
67	ナボイ州	Zarafshan Medical College / Зарафшанский Медицинский Колледж	1993
68	ナボイ州	Hatirchi medical college/Хатырчинский медицинский колледж	新設
69	ジザク州	Zaamin Medical College / Зааминский Медицинский Колледж	2001
70	ジザク州	Dustlik Medical College / Дустикский Медицинский Колледж	1983
71	ジザク州	Djizak Medical College / Джизакский Медицинский Колледж	1966
72	ジザク州	Gallaorol Medical College / Галлаоральский Медицинский Колледж	1984
73	スルハンダリア州	Termez Medical College / Термезский Медицинский Колледж	1963
74	スルハンダリア州	Sherabad Medical College / Шерабадский Медицинский Колледж	1982
75	スルハンダリア州	Shurchi medical college/Шурчинский медицинский колледж	新設
76	スルハンダリア州	Denau Medical College / Денауский Медицинский Колледж	1986

出所：プロジェクト資料より

3 - 4 - 6 促進要因 / 阻害要因

(1) 促進要因

1) 計画内容に関すること

a) セミナーの開催

参加者が多数に上り、本来のターゲットグループを超えた活動という側面がある一方、コンセプトがより多くの関係者によって認知されるという観点では初期のセミナー開催は重要な役割を果たしていた。

2) 実施プロセスに関すること

a) C/PとWGメンバー、日本人専門家の関係

大半のC/PはFRMCでの教員時代に比べて給与が下がったにもかかわらず、高いモチベーションを維持してプロジェクト活動に参加していた。また日本人専門家もC/Pの能力向上のために土日も費やして指導したり、国内関係者もカリキュラムの策定など全面的にサポートし、本プロジェクトに懸ける意気込みが感じられた。

b) テレビ会議

多数の関係者の関与を促進する要因としてテレビ会議の活用がある。これにより遠隔地の連絡を容易にしたことは中間評価時に確認された。特に保健省との月例会議に活用されている。中期専門家の派遣により、各領域のTV会議開催数は減少傾向にはある。

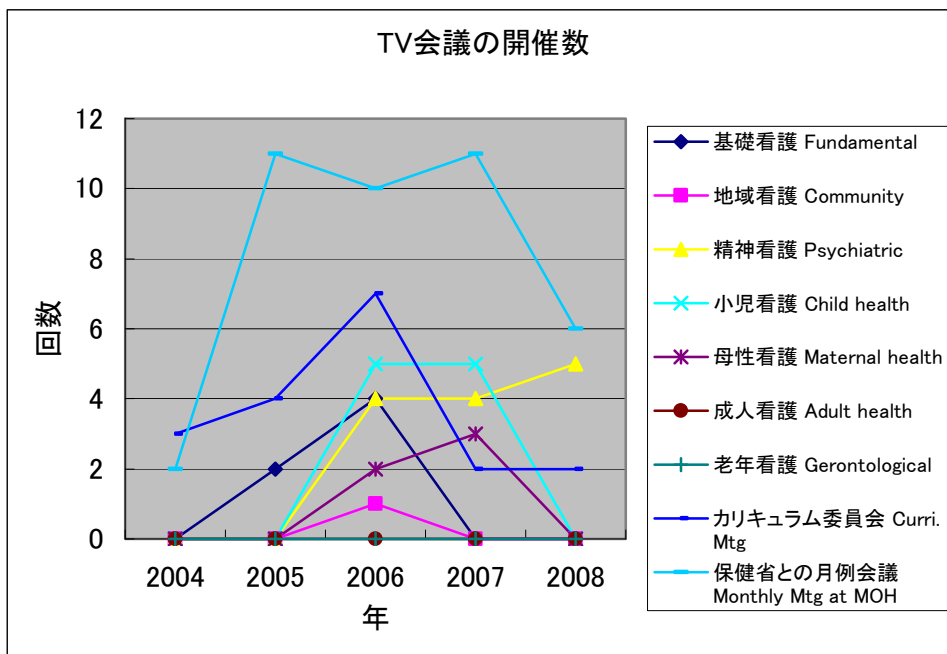


図 3 - 11 TV会議の開催数の推移

(2) 阻害要因

1) 計画内容に関すること

a) 事前評価時の計画案

事前評価時、カリキュラム変更は長期専門家 3 名で可能と考えられていたが、実際はWGの膨大な活動が必要であった。

また初期に人選の遅れによるチーフ・アドバイザー不在が、「ウ」国側実施者との良好な関係作り、日本の技術協力の理解の浸透を遅らせた。

さらにプロジェクトのロシア語ならびにウズベク語への翻訳の業務量は、計画時よりも日本側関係者の関与が大きくなったことから、増大した。

b) 日本側と「ウ」国側の専門用語

本プロジェクトでは専門用語が多く使われているが、その用語に関して日本側、「ウ」国側の認識の違いがあったことが中間評価時に確認された。また専門用語を通訳、翻訳できる人材が「ウ」国にいなかったことからプロジェクトが養成しなければならなかった。

2) 実施プロセスに関すること

a) 多数の関係者の関与

多数の関係者が関与することにより、多面的な情報を収集できるという長所がある一方、意思決定および報告・連絡・相談の煩雑さなどの短所が見られた。

b) 外部条件「学生数の増加」

モデル校の学生数の予想を超えた増加により、当初予定していたモデル病院以外にも実習施設を準備することとなった。

c) C/Pの給与不払い

C/PがNECの所属となったことにより、FRMCにて支払われていた給与が、支払われなくなり、転職をしたC/Pも見られた。当初、「ウ」国がNECに対して職員の給与等を含む予算措置がなされていなかったためであり、2008年からは解消されている。

d) 改善カリキュラムの導入学年（1学年にのみ導入）

新しいカリキュラムの試行方法ならびにその導入手順に関して、日本側、「ウ」国側の認識のずれがあった。また適応カリキュラムが今後どのような位置づけになるか、日本側に示されていなかった。このような状況がプロジェクト実施者にプロジェクトへの不安を与えていた。

第4章 総括

- (1) 「ウ」国の保健サービスシステムは、CIS（独立国家共同体）諸国の中でも最も多く旧ソ連時代の特徴を残しており、現在でも改革努力がなされているものの、その残滓は依然色濃く残っている。旧ソ連時代は、入院診療と外来診療が別の機関として完全に区別されているなど、社会主義の下でのノルマ方式、中央集権的な色彩が強く反映された保健医療制度であった。一方で保健セクターへの公的投入である施設・機材・職員等は各地域の人口に従い均等に配分され、住民は一次医療施設への登録が義務づけられており、まさにプライマリーヘルスケア（Primary Health Care：PHC）の精神を取り入れたものであった。
- (2) しかし、こうしたPHCによるサービス提供は旧ソ連時代に既に形骸化し始めていたため、独立後の1998年に開始された保健医療改革プログラムにおいては、農村外来診療所（Rural Outpatient Polyclinics：SVA）や准医師・助産師ポスト（Feldsher-Midwife Post：FAP）を農村診療所（Primary Health Care Facility：SVP）に改編するなど、一次医療施設の改革が全国的に進められた。こうした改革の成果に一定の評価を与えた上で、2007年には更なる改革の必要性を強調した大統領令が発令されている。しかし、入院診療と外来診療が分離されたままなど、システムの枠組みは以前と大きくは変わっていないため、例えば入院診療が中心である総合病院の専門医と外来施設の一般医の連携が不十分で非伝染性疾患の治療で効果を上げられない、といった諸課題を抱えているのが現状である。
- (3) このように「ウ」国では旧ソ連時代に基礎的な保健医療システムが整備され、基本的サービスの確保等ポジティブな面は見られるものの、独立後に幾つかの保健セクター改革を経つつ、総合的診療を阻む入院・外来診療の分離等、旧ソ連時代の遺制による弊害を乗り越えることがいまだ大きな課題である。こうした課題を解決して行くためには、狭い専門分野のみから患者を捉えるのではなく、患者を全体として捉えることのできる保健医療従事者の育成が急務である。患者を一人の人間としてバイタルサインを読み取り、呼吸や循環を安定させるために薬物より先に輸液管理や食事の指導を行う、といった患者中心のケアへと転換することが求められている。
- (4) 本技術協力は、こうした患者中心のケアを促進するために、患者と最前線で接する看護師の育成において「利用者（患者）に寄り添う看護（CON）」のコンセプトに基づいたカリキュラムを卒前教育に導入し、患者を一人の人間として捉える保健医療従事者を輩出するような教育システムを整備することを狙い開始した。本協力では、「ウ」国でのCONコンセプト普及のため医療専門高校における看護教育課程改善に取り組み、看護の全7領域（基礎看護、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護、地域看護）でのCONに基づいたカリキュラム（時間割、教案プログラム）策定、指導要領・実習要綱の改定を行い、まずモデル校（第一医療専門高校）での導入をめざした。
- (5) JICAは本協力に先立ち、前述の保健医療改革の中で始まった看護教育制度改革に対しアドバイスを行うため、1999年度より看護教育の短期専門家を数次にわたり派遣した。そして本

協力開始（2004年7月）の少し前（5月）から、看護教育のアドバイザー専門家を保健省に派遣した（任期は2年間）。こうした短期専門家の積み重ね、アドバイザー専門家の支援により、本協力を円滑に立ち上げることが可能となった。

- (6) 本技術協力プロジェクトは、3名の長期専門家（チーフ・アドバイザー、看護教育、業務調整）からなっており、看護教育の7つの領域をカバーするため、協力期間中に延べで100名以上もの短期専門家が派遣され、さらに短期と長期派遣の中間的存在として「中期」専門家が4名派遣された。これら専門家は、大分看護科学大学を中心とした国内各地の四年制看護大学教員の方々から多大な支援を受け派遣が可能になったものであり、ご支援いただいた教員の方々には心から感謝申し上げたい。
- (7) 本協力は、「ウ」国の医療従事者のみならず患者やその家族にも、これまで医師の補助にすぎないと認識されていた「看護」が、患者中心のケアを進める上での主体であり、また、そうであるべきことを理解してもらった契機になった。今回調査で、救急医療センターやタシケント市立第4イルガシェフ病院（TAPOICH）といった実習病院を訪問・視察する機会を持った。院長はCON概念の重要性について理解しており、またモデル校の実習が各病院で行われることで、現場の看護師の患者への接し方にも変化が起きていることが感じられた。患者の全体性に配慮した看護モデルとしてのCON導入により、患者やその家族にとっても、着実にケアの質が向上している。今後モデル校での成果が全国展開するとともに、CONによる教育を受けた卒業生が現場で働くようになることで、一層、看護の質、ひいては患者中心のケアの質向上が行われるものと考えられる。2008年5月からの基礎看護実習、10月からの成人看護実習において、学生が直接患者に接する「受持ち制」と呼ばれる実習が行われており、こうした実習が患者を含めた医療現場のCONに対する理解を加速しているといえるだろう。今後、残りの4領域の実習が行われるが、CONが臨床現場に更に根付くことが期待される。
- (8) また本プロジェクトの目標は、モデル校へのCONに基づく新カリキュラムの導入であったが、保健省では「ウ」国での導入しやすさを考慮し、新カリキュラムを「適応カリキュラム」という形にして全国の医療専門高校への導入に向けて動き出している。このようにCONに基づいたカリキュラムの全国展開は、「ウ」国保健省のイニシアティブにより既にスタートしている。また本プロジェクト成果の自立的発展、看護教育課程の改善や教員の再教育継続において、モデル校におかれたNEC（看護教育センター）の役割は非常に大きい。今後の全国展開に向けたNEC活動計画が「ウ」国側より示されており、NECの教員再教育機関としての位置づけが明確になりつつあり、同センター配置となる人員についても予算的裏付けが検討されている。
- (9) このように上位目標達成への道筋は明確になり、プロジェクトとしての目標はおおむね達成されたものの、看護教育に全く新しいカリキュラムを導入することは大変困難な課題であることは言を俟たない。当初設定した目標が達成されたことにより、技術協力プロジェクト（狭い意味での日本の支援）は終了するものの、「ウ」国側による全国展開が完了するまで、継続的にJICAによるモニタリングが必要である（改善カリキュラム全国展開が、質および量

ともに予定どおりに進行しているかどうか確認・評価していくため、JICAは保健の専門性を持った人材を投入する必要がある)。国内の支援機関であった大分県立看護科学大学は、厚生労働省関連の研究費により「ウ」国にて大学としての研究を継続する予定であり、オールジャパンとしては日本の支援は途切れることはなく、また先方との関係も継続することとなる。

- (10) 全国への本格的展開はまだ始まったばかりであるものの、新カリキュラムを7領域にわたり「ウ」国側とともに完成させ、保健省を中心とした先方のCONへの認識が高まったのは、まさに多くの関係者による努力の賜物である。特に、看護の全領域における教案プログラムや教材の作成、指導教員・実習指導者の育成のためには、前述のように多岐にわたる分野の専門家の協力が不可欠であった。各領域の日本人専門家や「ウ」国C/PからなるWGが、テレビ会議施設を効果的に活用することで定期的な打ち合わせ・作業を行ってきた。このように、多数の専門家の関与なくしては、全領域のカリキュラムをCONに基づいたものに改訂する大事業を達成することはできなかつたと言わざるを得ない。あわせて、「ウ」国保健省および教育省等、行政関係者の主体性・継続性についても特筆したい。同一の行政関係者が協力開始時から現在に至るまで一貫してかかわったことが、モデル校への導入や全国展開への移行が円滑に進められた大きな要因の一つであったと考えられる。

第5章 技術的観点からの総括

5 - 1 現在までの活動について

(1) 看護教育改善プロジェクトに対する「ウ」国の対応状況

本プロジェクトでは、看護の全領域（基礎看護、母性看護、小児看護、成人看護、老年看護、精神看護、地域看護）の教育をCONの概念に基づくカリキュラム（改善カリキュラム）に変更してモデル校に導入したものである。特に、老年看護、精神看護、地域看護は、「ウ」国の看護教育では初めて取り上げられた領域であり、「ウ」国における将来の看護の課題を先取りしたカリキュラムであるといえる。プロジェクト期間中には改善カリキュラムは、モデル校（第一医療専門高校：FRMC）のみという限られた導入ではあったが、保健省では、本プロジェクトで開発した改善カリキュラムを「ウ」国での導入のしやすさを考慮した「適応カリキュラム」として、2006年の本プロジェクトの改善カリキュラムの導入時と相前後して、全国の医療専門高校への導入に向けての検討を既に指示している。このように、改善カリキュラムによる看護教育の全国展開はプロジェクト期間内に既にスタートしており、プロジェクトの上位目標の達成に向けて「ウ」国側の行動は始動している。

学生や教員に対するCONに関する理解度調査の結果では、おおむね目標を達している。また、モデル校の実習病院（タシケント市立第4イルガシェフ病院：TAPOICH）を訪問した際に病院長・看護部長・患者たちから伺った情報からも、CONの教育が、臨床現場にも浸透しつつあることを実感することができた。

本プロジェクトで行った「CONに基づく看護教育の改善」が、「ウ」国の看護提供体制だけではなく、保健・医療環境の変革に対する起爆剤になることを期待している。

(2) 改善カリキュラムが「ウ」国の看護に与える影響

本プロジェクトは、看護師・医師などの医療関係者のみならず患者・患者家族からも、医師の補助業務と認識されていた「看護」が、CONが本来の姿であり、また、そうあらねばならないことを理解してもらうきっかけになった。特に、2008年5月から始まった基礎看護実習、10月から始まった成人看護実習で、CONに基づくカリキュラムで教育を受けた学生により、臨床現場で行われた「受持ち制」の実習が患者を含めた医療現場のCONに対する理解を加速したと思われる。今後実施される残りの4領域の実習により、CONが臨床現場に更に根付いていくことが期待される。

(3) プロジェクトの関係者の努力

CONのような概念を学生に理解させることは、技術や知識を理解させることと比べて大変難しい。しかし、授業・学内演習・実習を通して徐々にではあるが、学生に理解されつつあることは上述したとおりアンケート結果や現場の視察により実感することができ、プロジェクトの当初の目標は達成されつつあると思われる。これは以下に示す多くの関係者の努力の賜物である。

1) 短期専門家およびWGの活動

看護の全領域においてCONに基づいた教案プログラムを作成し、教材作成、指導教員および実習指導者の育成のためには、多くの専門家（短期専門家）の関与を必要とした。

日本および「ウ」国の各領域の専門家からなるWGが、直接ミーティングをもつ以外に、テレビ会議を効果的に活用しWG会議を開催し、改善カリキュラムに基づく教案プログラムや指導要領の完成に向けての努力をしてきた。このように、JICAの他のプロジェクトでは類をみない多数の短期専門家がかかわらなければ、全領域の看護教育をCONに基づいたものに改革するという本プロジェクトの目標を達成することはできなかった。看護の全領域を網羅したことに本プロジェクトの意義があることを理解する必要があると思われる。

2) 長期および中期専門家の活動

歴史・文化的な背景等が異なる国の教育カリキュラムを変革することは、想像以上に困難である。これを乗り越えてモデル校への導入および全国展開への道程が示されたことは、現地において関係者との連携を密に図りながらプロジェクトを進めた長期専門家および中期専門家の労に負うところが大きい。

3) モデル校

本プロジェクトのモデル校であるFRMCでは、生徒数の急激な増加があったにも拘わらず、プロジェクトと連携を図りながら、授業・演習・実習を円滑に進めるための様々な努力をし、NEC(看護教育センター)の運営、研修会の開催等にも積極的に協力してきた。

4) 日本研修員の受入れ施設

日本の看護の実態および保健医療の実態を理解してもらうために、長期(6週間から3カ月)および短期研修員の受入れを多くの医療・保健施設に依頼した。それぞれの受入れ施設は本プロジェクトの目的を理解した研修を企画し、研修員を温かく迎えた。研修員は、多くの臨床現場でCONを実体験することにより改善カリキュラムの必要性等を具体的に理解することができた。また、受入れ施設は、本来の研修目的以外の日本文化に接する機会なども設けた。

5) プロジェクトに関連した保健省および高等中等教育省中等教育センターのメンバー

一国の看護教育のカリキュラム全体を変革するというプロジェクトは、「ウ」国の保健省および教育省などの行政関係者の協力がなければ実現しない。「ウ」国の行政関係者が、プロジェクトの開始から終了時まで変更することなく一貫してかかわったことが、モデル校への導入、全国展開に向けての検討を円滑に進めることができた大きな要因の一つでもあったと思われる。

5 - 2 今後の活動について

多くの関係者および多額の財政的な支援によって当初の目標を達成した本プロジェクトを、全国の医療専門学校に展開し、さらに、「ウ」国にCONを定着していくためには、以下の諸点を充実させることが不可欠であろう。

(1) 教員・実習指導者の養成

本プロジェクトは、看護の全領域の教育をCONに基づく教育カリキュラムに変更したものであり、主に、次の3つの要素から成り立っている。

教案プログラムの作成

教材(指導要領)の作成

教員、実習指導者の養成

上記 および は、多くの関係者の協力により達成することができた。しかし、 に関しては一朝一夕でできるものではない上に、「ウ」国におけるCONの今後の定着を左右するもっとも重要な要素であり、教員、実習指導者の養成、すなわち、トレーナーズトレーニングの体制の整備が喫緊の課題である。

トレーナーズトレーニングに関しては、NECを存続させ、その機能を強化していくことがもっと効果的であろう。

NECの機能強化のためには以下の点に配慮する必要がある。

組織のガバナンスを明確にすること。

ある程度継続して働ける優秀な人材（講師）を確保すること。

必要な資器材を確保すること。

（２）実践現場の改革

CONに基づく看護教育を受けた学生を受け入れる実践現場の看護および医療環境、特に医療従事者の意識変革を図っていくことが不可欠である。

現場の看護職がCONを理解することはもちろんであるが、チーム医療を担う医療従事者、特に医師の意識変革が極めて重要である。多くの医師は、「看護師は自分たちの補助者である」と意識し、「協働する者である」という、チーム医療の本来の姿を理解していない。CONを理解していない医師が意思決定に、直接かかわっている現場ではCONを浸透することは難しい。医師の意識改革のための手段としては以下のようなものが考えられる。

医学教育の中に看護職が担当する看護に関する講義を導入する。

医師も参加した研修会を企画する。

医師の日本研修（看護に関する研修）を企画する。

実習のカンファレンスに医師も参加する。

本プロジェクトでは、看護教育に携わる人々のみを対象にした研修会等を実施してきたが、医療従事者へCONを理解してもらうための機会を積極的に作っていく努力が必要とされる。

（３）学生の評価（統一卒業試験あるいは国家試験の導入など）方法の確立

看護の質を担保するためには、学生の卒業時点での到達目標を明確にし、到達目標の達成度の評価を客観的に実施するシステムを構築することが必要である。

「ウ」国では、それぞれの医療専門高校を卒業することが看護師の資格を得ることになる。

15歳人口の急増により、プロジェクトスタート時には54校であった医療専門高校の数が現在76校に増加している。統一した卒業試験や国家試験を導入することにより、医療専門高校の教育の質の均一化が図られ、看護の質の確保につながる。

（４）定期的なモニタリング

多大なリソースを投入した本プロジェクトが、終了後においてモデル校に導入した改善カリキュラムの全国展開が、質および量ともに予定どおりに進行しているかどうかを定期的な確認・評価していく必要がある。この機能を果たすためには、以下のような仕組みが考えられる。

JICAウズベキスタン事務所に看護の専門家を配置する。

本プロジェクトにかかわった長期あるいは短期の専門家を定期的に「ウ」国に派遣する。外部機関に委託してモニタリングを実施する。

5 - 3 ウズベキスタンにおける看護教育について

(1) 基礎教育

WHOの勧告によると、看護教育は、10年以上の基礎教育終了後にスタートすることが望ましいとされている。現在の「ウ」国の看護教育は、9年間の基礎教育終了後（日本の中卒に相当）に、看護の教育がスタートしている。看護の質の向上のためには、この状況を改善することが必要である。

(2) 看護教員

「ウ」国においては、医師が、看護教員のかなりの部分を占めている。これは、教員資格として学士の資格が必要とされるからである。医師が教育する看護と、看護職が教育する看護とは異なることが予想される。看護職の手による看護教育が、学生に対して看護の本来の姿をつたえることができるのではないかとと思われる。「ウ」国において看護職の教員によって看護が教育できるようにするためには、看護に関する学士過程の教育を推進していくことが必要とされる。学士過程の看護においてもCONに基づく看護学教育が実施されなければ、「ウ」国においてCONを浸透させることが難しい。

(3) カリキュラムの定期的な見直し

看護教育は、時代のニーズおよびその時々医療・保健の実態に対応したものでなければならない。したがって、カリキュラムの定期的な見直しのシステムを確立し、時代のニーズ等を反映した看護教育が提供できるようにすることが望ましい。

5 - 4 中央アジア地域の看護教育について

本プロジェクトは、「ウ」国を対象に看護教育の改善を実施したものである。CONに基づく看護教育を「ウ」国以外の中央アジア地域にも普及させることにより、中央アジア地区の看護の質の向上を図ることができる。したがって、本プロジェクトの中央アジア地域への拡大を近い将来実現できることを期待している。

第6章 提言および今後の計画

6-1 提言

(1) プロジェクト目標が予定どおり達成されることが見込まれること、上位目標達成への道筋が明確であること、NEC(看護教育センター)の今後の在り方が示されたことから、プロジェクトは予定どおり2009年6月に終了することが望ましい。

(2) プロジェクトへの提言

2009年6月までに、プロジェクトは残された活動を計画どおり実現し、プロジェクト目標を達成するために、以下の点を実行する必要がある。

- ・教員のCONに関する理解度アンケートの継続的な実施
 - ・学生のCONに関する理解度アンケートの継続的な実施
 - ・実習施設の指導者のCONに関する理解度アンケートの継続的な実施
 - ・再教育対象以外の看護教員ならびに実習指導者へのCONに関するセミナー等の実施
- またNECの機能を拡大し、全国展開に資するよう、「ウ」国関係者との連携の強化を図り、以下の技術移転を実行することが望ましい。
- ・セミナー、研修等の企画・運営
 - ・指導用教材等の作成

(3) 「ウ」国への提言

1) 保健省はプロジェクトが計画どおり終了するために、以下の点に協力する必要がある。

- ・教員ならびに学生に対する理解度テスト実施の承認
- ・日本側プロジェクト関係者との連携の強化(対話の増加など)

2) NECは自主的な機能強化を継続的に図ることができるよう、既存の看護教員資格向上(再教育)センターとの業務の連携を図るとともに、プロジェクトからの以下の技術移転を促進する必要がある。

- ・セミナー、研修等の企画・運営
- ・指導用教材等の作成

3) 保健省および高等中等専門教育省中等専門教育センターは自主的に改善カリキュラムを全国展開していくためにはNECの現在の機能だけでは必ずしも十分とはいえないので、人的および財政的強化を図る必要がある。

さらに以下の点を検討する必要がある。

- ・看護教員の再教育(資格向上)を担当する講師の確保
- ・医療専門高校の看護教育機材の整備
- ・全国展開の実施状況のモニタリング

4) CONに基づいた教育を受けた学生の質を確保するために、卒業時の能力評価(統一した卒業試験あるいは国家試験)について検討することが望まれる。

(4) 日本側 (JICA) への提言

本案件の終了をもって「ウ」国の看護中等教育への技術協力は区切りをつけることが必要である。ただし「ウ」国側が改善カリキュラムの全国展開を推進することを支援するために、JICAウズベキスタン事務所は保健省と共同し、NECの運営状況を継続的にモニターし、JICA本部は適切な時期に事後的な評価を行うことが望ましい。

また、「ウ」国の看護教育の発展のためには、CONの概念に基づいた看護教育を提供できる教員の養成が重要であることから、教員の資格向上、再教育ならびに高等教育に対する協力の在り方を検討することが望まれる。

6 - 2 今後の計画

プロジェクト終了までに、終了時評価の提言に配慮しつつ、現行PDMおよびPO (Plan of Operation : 活動計画表) に従い、主に以下の活動を行う予定である。

- ・ 教案プログラム・指導要領・実習要綱の見直しを行い、保健省による再承認を受ける。また、指導用教材の作成：過去のセミナーおよび臨床指導者講習会の資料から教員および臨床指導者用の教材を作成する。
- ・ 学生・教員・臨床指導者のCON理解度のためのアンケートを作成し実施する。最終的に保健省の承認を受けてCON理解度テストを実施する。
- ・ 人材育成に関しては、セミナー・研修会の企画・運営についてC/Pへの指導を行うとともに、再教育対象以外の看護教員ならびに実習指導者へのCONに関するセミナーを実施する。
- ・ 5領域 (小児、母性、老年、地域、精神) の臨地実習準備、5領域臨地実習の視察、また、そのための短期専門家の派遣を行う。

プロジェクト終了後はFRMC (第一医療専門高校) の実習病院へJOCV (看護師) を派遣しCONの定着をフォローするとともに、JICAウズベキスタン事務所に保健医療専門スタッフを配置し、プロジェクトの成果発現をモニタリングできる体制を整えることを計画している。

6 - 3 教訓

(1) 事前評価時における計画

本案件では、CONというコンセプトを移転することを目的としており、それは言語による伝達しか手段がなく、言語的解釈の正確性が重要であるにもかかわらず、その伝達手段に関する検討、通訳や翻訳の重要性が検討されていなかった。また国家の制度改革を3名の長期専門家を中心に達成することは困難な計画であった。よって事前評価時に詳細な現状分析と目標到達プロセスの共有を図り、より適切な投入、活動計画を概算する必要がある。

(2) チーフ・アドバイザーの役割

チーフ・アドバイザーはJICAの技術協力プロジェクトの現場責任者であり、先方への日本の技術協力形態の理解促進、良好な人間関係の構築など日本側と先方を結ぶ重要な役割を担っている。よってチーフ・アドバイザーの派遣後、プロジェクトが実施されることが望ましい。

(3) 在外主管案件について

プロジェクトの主管をJICA本部から在外事務所に移管することは、プロジェクトならびに相手国政府との距離感が短縮される長所がある。しかし本案件のように国内関係機関との密接な連携、多数の短期専門家派遣や本邦への研修員の受入れなど日本国内での業務、調整の比重が大きい場合は、小規模事務所での主管は効率的ではなく、本部主管のほうが望ましい。

6 - 4 結 論

本プロジェクトは中央アジア地域において「利用者に寄り添う看護：CON」のコンセプトを紹介した、意義のあるプロジェクトである。プロジェクトはCONのコンセプト普及の手段として医療専門高校の看護教育課程の改善をカリキュラム（時間割、教案プログラム）、指導要領、実習要綱の改定をすることで、達成することをめざした。

しかし活動開始当初より、上記、改定の作業量は過小に見積られ、期間を重ねるごとに投入量が増加していった。また開始当初、チーフ・アドバイザーの不在により、プロジェクトの活動計画の詳細を「ウ」国側と詰めること、現地のプロジェクト関係者主導で業務を実施することができなかったため、日本国内の支援組織に多大な協力を得る必要があった。さらに日本国内の支援が多大であるにもかかわらず、本プロジェクトの主管が本部からJICAウズベキスタン事務所に移管されたため、在外事務所の事務作業が増加し、プロジェクト専門家の支援が必要となった。

その後、中間評価を経てプロジェクトの実施プロセスが「ウ」国側と共有され、中期派遣専門家の活動により、JICA技術協力の特徴である「顔の見える協力（現地に派遣された専門家が直接かつ継続的に指導すること）」が強化され、「ウ」国側のCONに対する理解、本プロジェクトの実施プロセスの理解も深まった。

今後、改善カリキュラムの全国展開は、「ウ」国の自主的な活動により段階的に実施される道程が示され、NECの機能存続も決定しており、プロジェクトが終了してもプロジェクトが生み出した成果・便益は、継続して活用・展開していると考えられる。

付 属 資 料

1．ミニッツ・合同評価レポート（英文・露文）

（ 露文の添付資料5以降は英文と同じであるため省略した ）

2．評価グリッド

3．質問票（雛形）

- 3-1 日本人関係者
- 3-2 日本人専門家
- 3-3 看護教育センター
- 3-4 カリキュラム委員会
- 3-5 ワーキング・グループ
- 3-6 保健省
- 3-7 高等中等専門教育省
- 3-8 第一医療専門高校
- 3-9 救急医療センター
- 3-10 再教育教員
- 3-11 JOCV
- 3-12 JICAウズベキスタン事務所

4．大統領令 No.3923「ヘルスケア開発国家プログラムの実行と更なる改革の方向性に関して」

5．参考文献

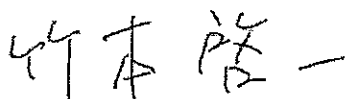
MINUTES OF MEETING
BETWEEN THE JAPANESE TERMINAL EVALUATION TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF UZBEKISTAN
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR NURSING EDUCATION IMPROVEMENT PROJECT

The Japanese Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Keiichi TAKEMOTO, visited the Republic of Uzbekistan from December 4 to 23, 2008. The purpose of the Team was to confirm the achievements made during the five year's cooperation period, and make the terminal evaluation for the Nursing Education Improvement Project (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay, both the Team and the authorities concerned of the Republic of Uzbekistan (hereinafter referred to as "both sides") had a series of discussions and exchanged views on the Project. Both sides jointly monitored the activities and evaluated the achievement based on the Record of Discussions (hereinafter referred to as "R/D") signed on April 28, 2004 and the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM").

As a result of the discussions, both sides agreed to the matters referred to in the documents attached hereto, and the result of evaluation was compiled in the Joint Evaluation Report with mutual understanding.

Tashkent, December 22, 2008



Mr. Keiichi TAKEMOTO
Leader
The Terminal Evaluation Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Prof. F. Nazirov
Minister of Health
Republic of Uzbekistan



Mr. Z. M. Sattorov
First Deputy Minister of Higher and
Secondary Specialized Education
Director of the Center for Secondary
Specialized Professional Education
Republic of Uzbekistan

THE ATTACHED DOCUMENT

**JOINT EVALUATION REPORT
FOR
THE NURSING EDUCATION
IMPROVEMENT PROJECT
IN UZBEKISTAN**

22, DECEMBER 2008

竹本 啓一

② -



Abbreviation

C/P	Counterparts
CON:	Client-Oriented Nursing
EOJ:	Embassy of Japan
EQ:	Evaluation Question
FRMC:	First Republic Medical College
JCC:	Joint Coordinating Committee
JFY:	Japanese Fiscal Year
JICA:	Japan International Cooperation Agency
JOCV:	Japan Overseas Cooperation Volunteers
M/M:	Minutes of Meeting
MOH:	Ministry of Health
MOHSSE:	Ministry of Higher and Secondary Specialized Education
NEC:	Nursing Education Center
PCM	Project Cycle Management
PDM:	Project Design Matrix
PO:	Plan of Operation
RCEM:	Research Center for Emergency Medicine
R/D:	Record of Discussions
WG:	Working Group

Table of Contents

THE ATTACHED DOCUMENT	1
1. INTRODUCTION.....	4
1-1 Background for the Terminal Evaluation	4
1-2 Objectives of the Terminal Evaluation	4
1-3 Member of the Evaluation Team	5
1-4 Schedule of the Evaluation Team	5
1-5 Brief Summary of the Project	6
2. EVALUATION PROCESS	6
2-1 Methodology of the Evaluation	6
2-2 Criteria for the Evaluation	7
3. ACHIEVEMENTS AND IMPLEMENTATION	8
3-1 Inputs (At the timing of Terminal Evaluation)	8
Detail information is attached as ANNEX 5	8
3-2 Achievement of Activities	9
3-3 Results of Outputs.....	13
3-4 Implementation Process	14
4. EVALUATION RESULTS BASED ON FIVE CRITERIA	16
4-1 Relevance.....	16
4-2 Effectiveness	16
4-3 Efficiency	17
4-4 Impact	18
4-5 Sustainability	18
4-6 Promoting Factors / Inhibiting Factors	19
4-7 Conclusions.....	20
5 RECOMMENDATION.....	21
ANNEX.....	22

1. INTRODUCTION

1-1 Background for the Terminal Evaluation

In the Republic of Uzbekistan (hereinafter referred to as “Uzbekistan”), higher education for medical personnel was one of the important issues in improvement of health system by decree of the President at November 1998. Through the analysis of health system in developed countries, government of Uzbekistan recognized that technical trained nurses have important role for national health in developed countries and improvement of nursing education system is necessary to enhance the medical services through the innovation of international standard nursing. The Ministry of Health of Uzbekistan (hereinafter referred to as “MOH”) is introducing improvement of nursing education system. As a part of the improvement, all medical institutions had changed into three-year medical colleges by 2005 and also faculty of nursing (three years) was established as annex of faculty of medicine of the university as advanced training after the medical college.

In these circumstance, Uzbekistan requested technical cooperation on nursing education and nursing management to Government of Japan, which implemented assistance in the nursing fields by dispatching short-term experts. Government of Japan commenced “Nursing Education Improvement Project” (hereinafter referred to as “the Project”) for five years from July 2004 with MOH and Ministry of Higher and Secondary Specialized Education in Uzbekistan (hereinafter referred to as “MOHSSE”) as counterpart organizations.

Prior to the completion of the Project on 30th June 2009, the Terminal Evaluation was conducted in order to assess the achievements and draw lessons learned from the Project. The evaluation was jointly undertaken by the Uzbekistan and the Japanese sides, with full collaboration from MOH and other stakeholders.

1-2 Objectives of the Terminal Evaluation

The objectives of the Terminal Evaluation were:

- 1) To review the progress of the Project and evaluate the achievement in accordance with the five evaluation criteria (relevance, effectiveness, efficiency, impact, and sustainability);
- 2) To discuss the future plan for the Project together with Uzbekistan and Japanese side based on the evaluation and analysis result above. To discuss the solution for some problems which may become clear through the reviews and observations.
- 3) To identify the promoting factors and impeding factors of achievements of the Project, and to draw lessons learned from the Project; and
- 4) To present the results of the evaluation in form of a joint evaluation report.

1-3 Member of the Evaluation Team

<Japanese side>

name	Job title	Position, Organization
Mr.Keiichi TAKEMOTO	Leader	Director, Health Human Resources Division, Health Human Resources and Infectious Disease Control Group, Human Development Department, JICA
Dr.Tomoko KUSAMA	Special Advisor	President, Oita University of Nursing and Health Sciences
Dr.Yayoi TAMURA	Nursing Education	President, National College of Nursing, Japan
Ms.Haruka SHINDO	Cooperation Planning	Health Human Resources Division, Health Human Resources and Infectious Disease Control Group, Human Development Department, JICA
Mr. Jun YAMAZAKI	Operation Management	Representative, JICA Uzbekistan Office
Mr. Shuichi SUZUKI	Evaluation	Manager, Fujita Planning Co.,Ltd
Ms.Yurika KURODA	Interpreter	Japan International Cooperation Center

<Uzbekistan Side>

name	Position, Organization
Ms. Alimova Matlyuba	Head of education department Ministry of Health
Ms. Salihodjaeva Rikhisininsa	Chief Specialist on Nursing Education Ministry of Health
Ms. Nazarova Salima	Department of Human Resource, Medical Educational Facilities and Science, Ministry of Health

1-4 Schedule of the Evaluation Team

The Schedule of the evaluation team is described on ANNEX 1 (Schedule of Evaluation Team) and the Attendants in the terminal evaluation study is described on ANNEX 2 (Attendants' List).

1-5 Brief Summary of the Project

The Project has been carried out since July 2004 for the period of five years based on the PDM Ver.1. It was revised during the Mid-Term Evaluation as PDM Ver.2. Afterwards, some indicators were added as PDM Ver.3 (ANNEX 3).

The expected overall goal, Project purpose and outputs are as follows:

Overall goal (a purpose which will be attained after the completion of the Project):

Nursing education, based on "Client-Oriented Nursing (hereinafter referred to as CON)", is innovated in medical colleges throughout the country.

The Project Purpose:

An educational model based on "Client-Oriented Nursing" is established.

Outputs:

1. Concept of "Client-Oriented Nursing" is introduced into in-school education at First Republic Medical College (hereinafter referred to as FRMC).
 - 1-1. Teaching Plan and Teaching Program based on "Client-Oriented Nursing" for FRMC are approved by ministries of health and higher and secondary specialized education.
 - 1-2. Teaching guidelines for seven subjects are prepared based on "Client-Oriented Nursing".
 - 1-3. Teaching method of "Client-Oriented Nursing" is understood by the nursing teachers
2. CON practice teaching is introduced in the model hospital.
3. Standard of nursing education (Teaching Plan and Teaching Program) is proposed.

2. EVALUATION PROCESS

2-1 Methodology of the Evaluation

(1) Joint Evaluation

Uzbekistan and Japanese sides jointly evaluated the Project. The Joint Evaluation Team was composed of ten members from both sides.

(2) Process of the Evaluation

1) To setup Evaluation Questions (hereinafter referred to as EQ)

EQ is the question based on the viewpoints of Five Evaluation Criteria, which should be identified in the evaluation. These are selected and described on "Evaluation Grid".

2) To consider necessary information and data and how to collect the information and data

These are also selected and described on "Evaluation Grid".

3) To collect necessary information and data according to the Evaluation Grid

Some data that were collectable in Japan were filled up on the Evaluation Grid before arriving at the Project site.

Collected data and information are followings.

Literature data: the Project Plan and the Project progress report

Interview: C/P (six persons), Japanese Experts, Member of Working Group (six persons),
Re-training teachers, FRMC, MOH, Hospital for clinical practice, JOCV,
MOHSSE, etc.

Questionnaires: People concerned in Japan, Member of Curriculum Committee (six persons)

4) To compare the plan of the Project and achievement of the Project based on the viewpoints of the Five Evaluation Criteria, which are described in 2-2.

5) To consider the result of comparison according to the Five Evaluation Criteria.

6) To conclude the result of evaluation according to the purpose of the Evaluation

7) To draw the recommendations and lessons learned

2-2 Criteria for the Evaluation

A) Relevance

Relevance refers to the validity of the Project purpose and the Overall Goal in connection with the development policy of Uzbekistan in the target sector and assistance policy of Japan as well as the needs of target groups and stakeholders at the time of the Evaluation

B) Effectiveness

Effectiveness refers to the extent to which the Project purpose will be achieved as planned through the activities in the Project (not by external factors), and examines the attainment of the Project purpose, relationship between the Project purpose and Outputs, and influence of external factors (including Important Assumptions).

C) Efficiency

Efficiency refers to the productivity of the implementation process and examines the extent to which the inputs had been converted into the Outputs. It also examines whether quantity, quality and timing of the inputs as well as outputs are appropriate in term of the Project or not.

D) Impact

Impact refers to direct, indirect positive and negative influence caused by implementation of the Project, including the extent to which the overall goal will be attained.

E) Sustainability

Sustainability refers to the extent to which the benefits generated by the Project will be able to be sustained after the termination of the Project, and examines seeds to sustain the benefits (ex. organization, finance, human resource).

3. ACHIEVEMENTS AND IMPLEMENTATION

3-1 Inputs (At the timing of Terminal Evaluation)

Detail information is attached as ANNEX 5

Japanese Side

- Long-term Experts
 - Chief adviser 24 months (1 person), 7 months (1 person)
 - Nursing Education 25 months (1 person), 33 months (1 person)
 - Coordinator 52 months (1 person)
- Short-term Experts (total number)
 - Project Management 3 persons
 - Training Supervisor 7 persons
 - Fundamental Nursing 24 persons
 - Adult Health and Gerontological Nursing 29 persons
 - Maternal and Child Health Nursing 6 persons
 - Maternal Health Nursing 8 persons
 - Child Health Nursing 8 persons
 - Psychiatric Nursing 7 persons
 - Community Health Nursing 13 persons
 - Nursing Management 1 person
- (Mid-term experts)
 - Nursing Practice 3 persons
 - Child and Community Health Nursing 1 person
- Training in Japan 39 persons
 - (Training for Nursing Education) 25 persons (for two months)
 - (Training for Management) 14 persons (for three weeks)
- Equipment (including donated, local purchased and accompanied equipment)
JFY 2004 43,987 US\$

JFY 2005	54,000 US\$	
JFY 2006	85,591 US\$	
JFY 2007	36,293 US\$	
JFY 2008	60,263 US\$	Sub-total 279,634 US\$
Others	25,907 US\$	Total 305,541 US\$

Local Expenses

JFY 2004	125,506 US\$	
JFY 2005	129,198 US\$	
JFY 2006	125,894 US\$	
JFY 2006	144,828 US\$	
JFY 2006	116,377 US\$	Total 614,803 US\$

Uzbekistan Side

- Project staff (Counterparts): 6 persons
 - Renovation of "Nursing Education Center" 40,000 US\$
 - Operation Cost for "Nursing Education Center" 14,836 US\$ (2008)
- (20,213,000 Sum; 1US\$=1,362.43 Sum¹)

3-2 Achievement of Activities

Details of the achievement of Activities are described on the Plan of Operation (Annex. 4). And specific characteristics of activities in the Project are followings.

(1) Conducting Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee was conducted four times before the terminal evaluation.

First Joint Coordination Committee	23 Mar. 2005
Second Joint Coordination Committee	23 Mar. 2006
Third Joint Coordination Committee	9 Feb. 2007
Fourth Joint Coordination Committee	27 Mar. 2008

From: Summarizing Project data

¹ According to the JICA official rate, December 2008

(2) Conducting Curriculum Committee

Curriculum Committee, which is the core body to discuss direction of the Project, was held two times a year periodically.

1st Curriculum Committee Meeting	13 Aug.2004
2nd Curriculum Committee Meeting	11 Nov.2004
3rd Curriculum Committee Meeting	24-25 Mar. 2005
4th Curriculum Committee Meeting	25 Nov. 2005
5th Curriculum Committee Meeting	24 Mar.2006
6th Curriculum Committee Meeting	17 Nov. 2006
7th Curriculum Committee Meeting	8 Feb.2007
8th Curriculum Committee Meeting	23 Nov. 2007
9th Curriculum Committee Meeting	15 Feb. 2008
10th Curriculum Committee Meeting	16 June 2008

From: Summarizing Project data

(3) Meetings of Working Group

The number of the meetings increased from 2005 and was more than 100 times at each subject including video conferences. Especially, in 2008, more than 50 times of the meetings were held at each subject.

All WGs

Field	2004	2005	2006	2007	2008	計
Fundamental Nursing	1	29	39	2	71	142
Community Health Nursing	1	19	29	41	90	180
Psychiatric Nursing		10	22	28	60	120
Child health Nursing	1	17	35	31	84	168
Maternal health Nursing		17	27	24	68	136
Adult health Nursing		18	34	30	82	164
Gerontological Nursing		10	24	17	51	102

TV WGs, Cur Com Meetings and Monthly Meetings at MOH

Field	2004	2005	2006	2007	2008	計
Fundamental Nursing	0	2	4	0	0	6
Community Health Nursing	0	0	1	0	0	1
Psychiatric Nursing	0	0	4	4	5	13
Child health Nursing	0	0	5	5	0	10
Maternal health Nursing	0	0	2	3	0	5
Adult health Nursing	0	0	0	0	0	0
Gerontological Nursing	0	0	0	0	0	0
Curri. Mtg	3	4	7	2	2	18
Monthly Mtg at MOH	2	11	10	11	6	40

From: Summarizing Project data

(4) Conducting Seminar

In the Project, 18 Seminars were conducted including echo-seminar by the participants of training courses in Japan. Details of the Seminar were described as follows.

Year	Duration	Events	Subject	Participant
2004	16-27Aug.2004	1 Nursing Seminar in Tashkent	Concept of a new nursing (Client- Oriented Nursing)	134 pax
2004	23Aug. 2004	Nursing Seminar in Samarkand	To provide a concept of new nursing to concerned people in Samarkand region who would like to introduce nursing education reform.	51 pax
2005	24 Feb. 2005	Presentation on Training Program in Japan 2004	Echo seminar of Trainer in Japan	60 pax
2005	28Mar-1apr.2005	2 Nursing Seminar in Tashkent	Concept of a new nursing (Client- Oriented Nursing)II	155 pax
2005	18Aug. 2005	Open lesson on Psychiatric Nursing	Concept of Psychiatric Nursing	100 pax
2005	26 Sep.2005	Nursing Education Seminar on Clinical Nursing Practice	Practice in Fundamental Nursing	120 pax
2006	24 Jan. 2006	Presentation on Training Program in Japan 2005	Echo seminar of Trainer in Japan	84 pax
2006	27 Mar-1 Apr.2006	3 Nursing Seminar in Tashkent	Introducing Improved Fundamental Nursing	176 pax
2006	3-4 Apr.2006	Clinical Practice Seminar in Tashkent	Introducing Improved Fundamental Nursing	149 pax
2006	28 Oct. 2006	Introduction of improved curriculum	Introducing New Curriculum	80 pax
2007	23 Jan. 2007	Presentation on Training Program in Japan 2006	Echo seminar of Trainer in Japan	82 pax
2007	22-24 Mar. 2007	Seminar on Gerontological Nursing	Introducing Improved Gerontological Nursing	87 pax 69 observers
2007	26-29 Mar. 2007	Seminar on Adult Health Nursing	Introducing Improved Adult Health Nursing	76 pax 78 observers
2007	20-22 Aug. 2007	Seminar on Maternal Nursing	Introducing Improved Maternal Nursing	91 pax
2007	23-25 Aug. 2007	Seminar on Child Health Nursing	Introducing Improved Child Health Nursing	88 pax
2007	24-26 Sep. 2007	Seminar on Community Health Nursing	Introducing Improved Community Health Nursing	120 pax
2007	27-29 Sep. 2007	Seminar on Psychiatric Nursing	Introducing Improved Psychiatric Nursing	120 pax
2008	29 Jan. 2008	Presentation Training Program in Japan 2007	Echo seminar of Trainer in Japan	74 pax

From: Summarizing Project data

Moreover, the trainings for in-charge of clinical practice were conducted 14 times as follows.

Year	Duration	Events	Participant
2007	16 Oct. 2007	1st Meeting with Head of clinical practice facilities	52 pax
2008	22 Jan. 2008	2nd Meeting with Head of clinical practice facilities	39 pax
2008	20 Feb. 2008	3rd meeting with Head of clinical practice facilities	47 pax
2008	14 Mar. 2008	4th meeting with head of clinical practice facilities	49 pax
2008	3 Apr. 2008	2nd Meeting with responsible persons of Health facilities	52 pax
2008	16 Apr. 2008	5th meeting with head of Clinical Practice facilities	47 pax
2008	18 Apr. 2008	1st Clinical Practice Seminar, Fundamental Nursing	57 pax
2008	28 Apr. 2008	2nd Clinical Practice Seminar, Fundamental Nursing	60 pax
2008	6 June 2008	Teachers meeting of Fundamental Nursing Practicing for first half group	21 pax
2008	21 June 2008	Teachers meeting of Fundamental Nursing Practicing for second half group	28 pax
2008	11 Sep. 2008	Teachers meeting of Fundamental Nursing Practicing for whole groups	60 pax
2008	16 Sep. 2008	1st Clinical Practice Seminar, Adults Nursing	44 pax
2008	23 Sep. 2008	2nd Clinical Practice Seminar, Adults Nursing	57 pax
2008	3 Nov. 2008	Teachers meeting of Adult Nursing for first half group	24 pax

From: Summarizing Project data

(5) Video materials about "how to use the procured equipment"

Video materials, which describe how to use the equipment procured by the Project, were recorded in Uzbek Language with support of JOCV nurses and training courses for the practical equipment were conducted using these video.

1 st JOCV / Project Joint Training Course for Nursing Education equipment	4, March 2008	13 pax
2 nd JOCV / Project Joint Training Course for Nursing Education equipment	28, March 2008	13 pax
3 rd JOCV / Project Joint Training Course for	2 May 2008	14 pax

Nursing Education equipment		
-----------------------------	--	--

From: Summarizing Project data

(6) Needs Assessment

The Survey to confirm utilization of the equipment, which was procured by Japan Grand Aid scheme "The Project for Improvement of Nursing Education" in 2003, was conducted by the Project from May 2005 to September 2006.

3-3 Results of Outputs

Output 1 Concept of "Client-Oriented Nursing" is introduced into in-school education at FRMC

Output1-1 Teaching Plan and Teaching Program based on "Client-Oriented Nursing" for the FRMC are approved by ministries of health and higher and secondary specialized education.

Teaching Plan was approved by MOHSSE on September 2006. Teaching Program for "Fundamental Nursing" was approved on November 2006. Teaching Program for "Adult Health Nursing" was approved on July 2007 by MOH. And the Teaching Programs of the other five subjects were approved on December 2007.

Output1-2 Teaching Guidelines for seven subjects are prepared based on "Client-Oriented Nursing".

At the mid-term evaluation, it was confirmed that "Teaching Materials" in Output1-2 meant "Teaching Guidelines". Teaching Guideline of "Fundamental Nursing" was completed at same time with Teaching Program, handed to the teachers and translated in Uzbek language by the teachers in the FRMC.

One third of Teaching Guidelines of "Adult Health Nursing" (Part I) was completed on August 2007 before starting new semester and rest of them was completed at the end of February 2008. After that, review by the Japanese side was completed on October 2008. The translation in Uzbek language is still on going at selected medical colleges.

Though Teaching Guidelines of the other subjects would be completed on November 2007 on the plan, Teaching Guideline for second semester, which would be started from January 2008, was completely translated into Russian Language on December 2007. The rest of Teaching Guideline was completed on October 2008.

Output1-3 Teaching method of "Client-Oriented Nursing" is understood by the nursing teachers

In the subject of "Fundamental Nursing", training for nursing teachers (re-training) is implemented to C/P mainly. The teachers of the other subjects further understood the CON through developing Teaching Guideline.

The questionnaire survey to confirm the knowledge of the teachers regarding CON was carried out on 5th December 2008 and over the half of the teachers reached expected knowledge level.

Output 2 CON practice teaching is introduced in the model hospital.

Practice room and teachers' room in Research Center for Emergency Medicine (hereinafter referred to as RCEM) were established. The number of hospitals for clinical practice became to 12 (six for Fundamental and 12 for Adult Health Nursing). The hospitals and facilities for clinical practice for the other subjects will be prepared before the start of each clinical practice.

Practice Program for the in-charge of clinical practice of "Fundamental Nursing" was approved on March 2008, "Adult Health Nursing" was approved on May 2008, Gerontological Nursing and Maternal Health Nursing were approved on July 2008 and the other subjects were approved on September 2008. After the guidelines were completed, seminars for person in-charge of clinical practice at the hospital were conducted. Then the clinical practice of "Fundamental Nursing" and "Adult Health Nursing" have been implemented from 26th May to 21st June 2008 (Fundamental Nursing) and from 7th October to 1st December 2008 (Adult Health Nursing). The clinical practice of the other subjects will start on May 2009.

The readiness of the hospitals for clinical practice was confirmed appropriate based on four view points such as assignment of suitable nurses, preparation of Attending Nursing System, information from patient's record and conference with head nurse through review of clinical practice record of students, interviews to clinical practice teachers and monitoring by the Project. The result of the survey described that all hospitals were almost appropriate (Adult Health Nursing).

Output 3 Standard of nursing education (Teaching Plan and Teaching Program) is proposed.

It has not been started yet at the timing of terminal evaluation but it will be submitted to MOH by the Project before June 2009. The contents of the proposal will be compiled to reflect the feedback from the lecture, nursing practice in school and clinical practice in FRMC and Model Hospitals.

3-4 Implementation Process

The Implementation process, which was planned by the Project and was confirmed by

Mid-term Evaluation, is described on the left side of the following chart. Recent implementation process is the right side of the following chart.

Planned Implementation Process		Recent implementation process	
Coverage of the Project (Gray)	1 Approving Improved Curriculum for FRMC; July 2006	1	Same as left cell
	2 Starting the nursing education based on Improved Curriculum in FRMC; September 2006	2	Starting the nursing education based on Improved Curriculum in FRMC; September 2006(One Grade only)
		3	Approving Adopted Curriculum (Similar to Improved Curriculum)
		4	Issuing the order of Adopted Curriculum to all medical colleges (August 2006)
		5	Starting the nursing education based on Adopted Curriculum in all medical colleges; September 2006
	3 Presenting the plan to disseminate Improved Curriculum into all medical college; June 2009	6	Same as left cell
4 Approving New Curriculum	7	Ditto	
5 Issuing the order of New Curriculum to all medical colleges	8	Ditto	
6 Training nursing teachers in all medical colleges	9	Ditto	
7 Preparing Teaching Guideline, Nursing Practice Program and Text for all medical colleges	10	Ditto	
8 Preparing Hospitals for Clinical Practice	11	Ditto	
9 Starting the nursing education based on New Curriculum	12	Ditto	

From; Evaluation team

One month after the approval of Improved Curriculum developed in the Project, MOH

submitted the Adopted Curriculum and MOHSSE approved it.

4. EVALUATION RESULTS BASED ON FIVE CRITERIA

4-1 Relevance

The Project started as a part of “nursing education reform” to strengthen “medical personnel education” under “Presidential Decree about National Program of Reforming the Health Care System of the Republic of Uzbekistan”. Afterwards, the continuation of health sector reform was confirmed by new decree issued in 2007 and “medical personnel education” and “medical personnel re-training reform” are promoted including nursing education.

In the Country Strategy of JICA, since health sector is one of the most important sectors in the important supporting field of “Social Sector Restructuring” that the Project and health reform program are implemented under the same strategy as of the commencement of the Project. Therefore, the Project direction is consistent with the Country Strategy.

As issues of nursing in Uzbekistan, to have the patients in mind is not considered as priority for nurses in the conventional nursing education under the medical model, because nurses play complementary roles to medical doctors. Therefore, nursing education based on a nursing model, which is oriented to totality of a patient is required. Medical colleges, hospitals and students show great interest on CON

4-2 Effectiveness

Although the Project is progressing as scheduled, the present stage is to develop “Teaching Guideline” (Output 1-2), to prepare the comprehensive test for teachers (Output 1-3) and to confirm the readiness of clinical practice hospitals (Output 2).

Regarding Output 1-2, review of “Teaching Guideline” is still ongoing. As evaluation of “Teaching Guideline” by third party was described on PDM, MOH will ask Medical Education Developing Center to evaluate “Teaching Guideline” according to the determined measures after the final review of “Teaching Guideline”.

Regarding Output 1-3, based on the result of questionnaire survey which was to clarify the level of teachers’ CON understanding, it was confirmed that nursing theory and role of nursing teacher in clinical practice based on CON are well understood and that more than 80% of teachers will reach expected level of understanding of CON by March 2009.

Regarding Output 2, readiness of the hospitals for clinical practice was proved to be appropriate at the end of the clinical practice of Fundamental and Adult Health Nursing, based on the result of review through four view points, which are 1; assignment of suitable nurses, 2; preparation of Attending Nursing System, 3; information from patients’ record and 4; conference with head nurse. The review was done through check of the clinical practice record of students,

interviews to clinical practice teachers and monitoring by the Project. Regarding the other subject, the readiness of the hospitals for clinical practice will be attained by effective pre-seminar, even though some hospitals which have not joined the clinical practice of Fundamental and Adult Health Nursing, will be added.

Since possibility to attain above-mentioned outputs is high, project purpose, of which the comprehension of the students in the indicator, will be attained.

The improved curriculum was adopted to the students who entered FRMC in September 2006. Since the students who learned under the improved curriculum graduate in June 2009, the improved curriculum has to be evaluated based on the comprehension of these graduates. And the evaluation should be implemented amply and objectively.

And enhancing CON comprehension of the teachers who are not the target of the re-training activities is important to strengthen CON comprehension of students.

It was mentioned as an important assumption at mid-term evaluation that the number of students in FRMC was drastically increased as secondary education has become compulsory and that its increment might be one of the causes to worsen the quality of education. MOH, FRMC and the Project took much effort to minimize the influence from the issue.

4-3 Efficiency

Because of the character of the Project, large number of personnel, both Uzbekistan side and Japanese side participated in the Project to collect information from multi-dimensions and to enhance the quality of outcome.

Since the Project introduces new concept such as CON, enormous inputs for interpretation and translation have been necessary to find appropriate medical and nursing terms and to understand social and cultural backgrounds related to nursing.

Through fostering interpreters and translators by the Project itself, the cost of interpretation and translation could be saved comparing to the cost if Japanese one had been hired. And by dispatching the Project staff as an interpreter with the participants of the training course in Japan, effective technical transfer became possible by more accurate translation and interpretation.

In addition, the Project asked JOCV nurses to support developing the video materials which instruct how to use the nursing training equipment procured by the Project. The video materials strengthened the exercise performance in FRMC.

The Japanese experts dispatched for several months at one time (Mid-term experts), are supporting to develop Teaching Guidelines and Practice Program and supervising clinical practice. The Mid-term experts have made possible smooth implementation of the Project, especially by reducing the burden of long-term experts and doing follow-up of the work of short-term experts.

4-4 Impact

(1) Prospect of achievement of the Overall Goal

Since it is difficult to implement upgrading of the nursing teachers and to prepare the practical equipment for all medical colleges at one time, MOH intends to disseminate CON education step by step from 2009 to 2012. (First; Tashkent City, Second; Tashkent Province and core medical colleges, Third; all medical colleges). Therefore, MOH is already prepared to approve the revised Teaching Plan to start the nursing education based on the improved Teaching Plan (hereinafter "revised Teaching Plan" is referred to as "integrated Teaching Plan"). And in order to disseminate the integrated Teaching Plan, MOH has plans such as upgrading of nursing teachers, development of teaching materials and renovation of medical colleges. Since there are not enough skilled trainers for the upgrading of nursing teachers, MOH has to take a lot of effort to secure the number of skilled trainers to attain the substantial dissemination of CON education.

One month after the improved Teaching Plan developed by the Project was approved (August 2006), MOH submitted the adopted Teaching Plan, which might have been developed based on the improved Teaching Plan, to MOHSSE and it was approved. The Minister's decree of MOHSSE was issued to utilize the adopted Teaching Plan in all medical colleges.

The adopted Teaching Plan was developed by MOH to facilitate smooth installation of the improved Teaching Plan. Since the adopted Teaching Plan is quite similar to the improved Teaching Plan except for some difference in hours of Liberal Arts, the curriculum based on CON was introduced to the students who entered FRMC after 2007.

(2) Positive impacts

Nurses in hospitals and teachers in medical colleges through out the country have become interested in the concept of CON through the seminars and the other Project activities. Even though nursing education in Uzbekistan is directed to install CON concept, practice of CON in the hospitals and medical colleges nationwide will be implemented from now on.

As a secondary effect, participants from Uzbekistan side have become equipped with proper skill of presentation and computer.

(3) Negative impacts

Because of the increasing number of students of the FRMC, MOH ordered that clinical practice of the students of FRMC should be prioritized. Therefore, coordination between students from FRMC and other medical colleges was burden of the hospitals for clinical practice.

4-5 Sustainability

It was recommended at mid-term evaluation that in order to develop the Project

achievements without any support from Japan and /or other donor, it is crucial to ensure appropriate function and organizational structure of Nursing Education Center (hereinafter referred to as NEC) and necessary measures to sustain the function of NEC should be taken to secure the periodical improvement of nursing education course and continuous nursing teachers' training, especially after the termination of the Project .

At the timing of terminal evaluation, MOH intends to maintain NEC in FRMC as an independent organization named "Nursing Teachers Upgrading (Re-training) Center" and requests FRMC to support to sustain NEC. Uzbekistan side considers that NEC will remain at the same location with same human resources.

Since MOH and NEC considered that capacity of NEC is not sufficient for planning, operating seminars and training nursing teachers of all subjects (because of resignation of some C/P), they intend to utilize WG members even after the completion of the Project. Thus, the preparation after the completion of the Project is already started to sustain the activities in NEC.

However, the equipment for CON education in newly established medical colleges is not sufficient to implement the improved Teaching Plan at the timing of terminal evaluation

4-6 Promoting Factors / Inhibiting Factors

4-6-1 Promoting Factors

(1) Conducting seminars

As the participants were exposed to CON concept, the seminars in early stage of the Project had one of the important roles, although huge number of participants joined the seminar and even those who were not supposed to be among the target group also participated.

(2) Relationship among C/P and Japanese experts

The Project C/Ps maintain high motivation to improve nursing education in Uzbekistan even though the salary for their work in NEC is less than the salary they received when working in FRMC. Japanese experts are also working hard and enthusiastically. For example, they are working not only on weekdays but also on weekends to develop C/P and teachers' capacity.

(3) Video conference

Video conference is one of the factors which promote involvement of the numerous participants. It was also confirmed in the mid-term evaluation that video conference makes communication easier for people concerned who are in remote areas.

4-6-2 Inhibiting Factors

(1) Planning at preparatory study

Though in preparatory study, it was considered that three long-term experts were enough inputs to revise the curriculum, a huge amount of work for WG members to revise the curriculum

was necessary in fact.

And absence of Chief Advisor at early stage is one of the causes to delay the formation of good relationship between both sides and establishing the comprehension of Uzbekistan side on Japan's Technical Cooperation Scheme.

Moreover, burden of the interpretations and translation to Russian and Uzbek Languages became heavier than planned because participation of Japanese side has been increased comparing to planned participation.

(2) Numerous people concerned

Involvement of numerous participants had a merit and a demerit; it facilitated collecting information from multi-directions but on the other hand, it complicated the process of decision-makings, reporting, communication and consulting.

(3) Inconsistency of terms between both sides

It was confirmed in mid-term evaluation that some terms are understood in a different manner between both sides. Since there is no interpreter or translator between Japanese and Russian Languages in Uzbekistan, who well understand technical terms in medical and nursing fields, the Project itself had to train the interpreters and translators.

(4) Important Assumptions "Increasing the number of students"

Since the number of the students in the FRMC was increased, the Project had to prepare additional hospitals for clinical practice other than planned model hospital.

4-7 Conclusions

The Project played a significant role in introducing the CON concept in Central Asia Region. The Project intended to attain the dissemination of CON concept through improvement of Teaching Plan, Teaching Program, Teaching Guideline and Practice Program of nursing education course in medical college.

However, as the workload of the improvement was underestimated in the initial plan, the amount of the input for the Project has been increased annually. Since absence of Chief Advisor at early stage made it difficult to design in detail the Project activities with Uzbekistan side and to implement mainly by the Project experts, the Project had to get a lot of assistance from the supporting organization in Japan for the Project implementation.

After the mid-term evaluation, the Project implementation process was shared between both sides, and JICA Technical Cooperation style, which is direct and continuous cooperation in the field by the expert, was strengthened with the dispatch of Mid-term experts. And Uzbekistan side

deepened the understanding, of the CON and Project implementation process.

Since the roadmap to disseminate improved curriculum through the activities of Uzbekistan side have been clarified and continuation of NEC is already decided, the benefits and outcome, produced by the Project will be utilized and developed continuously even after the completion of the Project.

5 RECOMMENDATION

(1) It is recommended that the Project will be completed in June 2009 as planned. The reason of the recommendation is followings; Project Purpose will be attained as planned, the roadmap to attain overall goal was shown clearly and sustainability of NEC has been also clarified.

(2) Recommendation to the Project

By June 2009, the Project has to implement following points to realize the rest of the activities as planned and to attain project purpose.

- Continuous implementation of comprehensive questionnaire of CON to teachers
- Continuous implementation of comprehensive questionnaire of CON to students
- Continuous implementation of comprehensive questionnaire of CON to in-charge of clinical practice in the medical facilities
- Activities to improve comprehension of CON for the teachers and the teachers in-charge of clinical practice who were not the target of re-training in the Project

Moreover, it is recommended that the Project shall implement following technical transfers to Uzbekistan side to strengthen the function of NEC for the nationwide dissemination with the reinforcement of relationship with Uzbekistan side.

- Skills about planning and operation of seminars and training courses
- Skills about developing of training materials

(3) Recommendation to Uzbekistan side

1) For the smooth accomplishment of the Project as planned, it is advised that MOH shall support following points

- Approval of the implementation of comprehensive test for the teachers and the students
- Reinforcement of relationship with Japanese side (ex. Increasing dialogues)

2) It is recommended that NEC shall promote following technical transfer from the Project for the continuous self-enhancement of its function with good collaboration with other nursing teacher upgrading centers.

- Skills about planning and operation of seminars and training courses
- Skills about developing of training materials

3) The present capacity of NEC is not so strong as MOH and Center of Secondary and Vocational Training, MOHSSE could implement the dissemination of the integrated curriculum autonomously. Therefore, the human resource management and financial capacity of NEC should be enhanced. Moreover, it is advised that MOH will consider the following points

- Securement of trainers for trainings of nursing teachers
- Inputs of necessary nursing education equipment in medical colleges
- Monitoring of the dissemination process of the integrated curriculum

4) To ensure the quality of comprehension of the students who learned under CON concept, it is preferable that MOH shall consider the methods of evaluation of the capacity of graduates (by integrated final examination or national examination).

(4) Recommendation to Japanese (JICA) side

With the completion of the Project, it is necessary that JICA shall put an end once to technical cooperation for secondary education of nursing in Uzbekistan. However, in order to support Uzbekistan side to promote the nationwide dissemination of the integrated curriculum, it is preferable that JICA Uzbekistan Office shall monitor the administration of NEC continuously in collaboration with MOH, and JICA Headquarters shall conduct an ex-post evaluation at appropriate timing to see the extent to which the overall goal is achieved.

For further development of the nursing education in Uzbekistan, it is important to foster the teachers who can teach CON education. Therefore, it is preferable that Japanese side might consider a possibility of the cooperation regarding the upgrading or re-training of nursing teachers, and the higher nursing education.

ANNEX

ANNEX 1: Schedule of Evaluation Team

ANNEX 2: Attendants' List

ANNEX 3: PDM

ANNEX 4: Plan of Operation

ANNEX 5: Records of Inputs

ANNEX 1: Schedule of Evaluation Team

No.	Date	Day	Project Evaluation / Interpreter	Team leader / Cooperation Planning	Special Adviser / Nursing Education
1	3-Dec	Wed	from Japan to Uzbekistan		
2	4-Dec	Thu	9:30 JICA office 11:00 Courtesy visit to MOH, explanation of the evaluation procedure and interview 16:00 Interview at FRMC/NEC		
3	5-Dec	Fri	Interview at FRMC/NEC		
4	6-Dec	Sat	Analysis the answers of Questionnaire		
5	7-Dec	Sun	Analysis the answers of Questionnaire		
6	8-Dec	Mon	Interview to Japanese Experts		
7	9-Dec	Tue	10:00 Courtesy visit to MOHSSE and interview 11:40 Interview at FRMC/NEC 18:00 Interview to JOCV		
8	10-Dec	Wed	11:00. Interview at RCEM 12:20 Interview at MOH 14:00 Interview to WG member (Tursunkhodjaeva m/c. Borovskii m/c)		
9	11-Dec	Thu	11:30 Interview to Curriculum Committee 14:00 Interview to WG member 15:40 Interview to re-training teacher		
10	12-Dec	Fri	11:00 Interview at JICA office 15:00 Interview at RCEM		
11	13-Dec	Sat	Drafting the evaluation report		
12	14-Dec	Sun	Drafting the evaluation report		
13	15-Dec	Mon	Meeting with Japanese Experts, JICA Uzbekistan Office	from Japan to Uzbekistan	
14	16-Dec	Tue	10:00 Meeting with Director of RCEM 12:00 Meeting with Director of NEC / FRMC 15:30 Drafting Evaluation report 17:00 Courtesy Visit EOJ		
15	17-Dec	Wed	AM Meeting of the evaluation team 15:00 Courtesy visit to MOH and meeting 17:00 Courtesy visit to MOHSSE and meeting		
16	18-Dec	Thu	AM Discussion of evaluation result with MOH and MOHSSE 16:00 Visit Practical Training Hospital (TAPOICH) 18:00 Writing the evaluation report and M/M		
17	19-Dec	Fri	10:30 .Visit Nurse Educator Re-training Center PM Checking up draft evaluation report and draft M/M		
18	20-Dec	Sat	Writing the evaluation report and M/M		
19	21-Dec	Sun	Writing the evaluation report and M/M		
20	22-Dec	Mon	12:30 Joint Coordinating Committee (Signing M/M) at MOH 17:30 Courtesy visit EOJ		
21	23-Dec	Tue	AM Courtesy visit Ministry of Foreign Economic Relation, Investment and Trade PM Reporting JICA Uzbekistan Office Leave from Uzbekistan		
22	24-Dec	Wed	Arrive at Japan		

ANNEX 2
Attendants' List

Ministry of Health

Sharapov Nodir Utkurovich Dr. Deputy Minister / Project Director

Department of Human Resources Medical Educational Facilities and Science

Atakhanov Shukhrat Dr. Head of Department / Project Manager

Alimova Matlyuba Kh.Ms. Chief

Nazarova Salima K. Ms.

Salihodjaeva Rihs K. Ms. Chief specialist on nursing education

President of Nursing Association

Department of International Affairs

Sidikov Abdunamon Mr. Head of Department

Ministry of Higher, secondary and Specialized Education

Sattarov Zafar Murodovich Mr. First Deputy Minister / Director of Center for
Secondary Special and Vocational Education

Center for Secondary Special and Vocational Education

Goleva Galina F. Ms. Senior Specialist,

First Republic Medical College

Ziyaeva Mavluda F Ms. Director & Director, Nursing Education Center

Zokirova Kamola Ms Deputy Director on Educational Department

Mirzaeva Saodat A. Ms. Deputy Director on Practical Training

Suvankulova Feruza Ms.

Sharifkhodjaeva Feruza Ms.

Ergasheva Nigora Ms.

Aikhodjaeva Feruza Ms.

Ergasheva Umida Ms.

Pulatova Shokhida Ms.

Nursing Education Center

Iskhakova Shoiras Ms. In-charge of Maternal Health Nursing

Zuparova Sabohat Ms. In-charge of Fundamental Nursing

Mirzayusupova Zariya Ms. In-charge of Community Health Nursing,

Yunusdjonova Zakhida Ms. In-charge of Psychiatric & Gerontological Nursing

Sergeli Medical College

Khudayberganova Sevar Ms. In-charge of Child Health Nursing,

Tursunkhodjaeva Medical College

Kasimova Dildar

Barovskii Medical College

Yusupova Lutofii Ms. Director

Samykhamedova Khayot Ms. Deputy Director

Tokacheva Olga Ms.

Mamadaliyeva Ulmas Ms.

Tashkent Medical Institute

Prof. Babajanova Shoiraa Ms. Professor, Hematology

Republican Research Center of Emergency Medical Care

Khajibaev Abdukhakim Muminovich Mr. Director

Borisova Elena Mikhailovna Ms. Deputy Director of Medicals

Arzikulov Turakul Sadikovich Mr. Deputy Director of Public Relation

Khachaturian Ele Grachevna Ms. Deputy Director of Nursing

Tukhvatulina Anjelika Ms.

Second City Prenatal Center

Karaulova Vera Ms. Senior Midwife

ANNEX 3-1 Project Design Matrix (PDM)

Project Design Matrix Ver. 3
Project Title: Nursing Education Improvement Project Duration: 2004 July – 2009 June
Target Area: Tashkent Date: 2008/12/11

Narrative Summary	Objective Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal Nursing education, based on “Client-Oriented Nursing”, is innovated in medical colleges throughout the country.</p>	<p>100 % of medical colleges starts the education based on “client-oriented nursing” by 2012.</p>	<p>Official curriculum of nursing education implemented in all medical colleges of Uzbekistan.</p>	
<p>Project Purpose An educational model based on “Client-Oriented Nursing” (CON) is established.</p>	<p>1. 70 % of graduates of FRMC in 2009 pass a comprehension test on client-oriented nursing.</p>	<p>Result of the comprehension test on client-oriented nursing. (passing score is 60/100)</p>	<p>MOH takes necessary actions to disseminate the education model to the other medical colleges.</p>
<p>Outputs 1. Concept of “Client-Oriented Nursing” is introduced into in-school education at FRMC 1-1. Teaching Plan and Teaching Program based on “Client-Oriented nursing” for the FRMC are approved by ministries of health and higher and secondary specialized education.</p>	<p>1. (delete) 1-1-1. Authorized persons of Ministry of Health (MOH) and Ministry of Higher and Secondary Specialized Education (MOHSSE) sign to approve the draft Teaching Plan by September 2006. 1-1-2. Authorized persons of MOH sign to approve the draft Teaching Program based on “client-oriented nursing” for the FRMC by September 2008.</p>	<p>1. (delete) 1-1-1. Documents Signed 1-1-2. Documents Signed</p>	
<p>1-2. Teaching guidelines for seven subjects are prepared based on “Client-Oriented Nursing”.</p>	<p>1-2. Teaching guidelines are accredited through the third party by March 2009;</p>	<p>1-2. Accreditation/evaluation report</p>	

<p>1-3. Teaching method of "Client-Oriented Nursing" is understood by the nursing teachers.</p>	<p>1-3. 80% of C/P staff, teachers of nursing practice teaching and re-training members of FRMC pass the comprehension test on client-oriented nursing based on the teaching guideline by March 2009.</p>	<p>1-3. Results of the comprehension test of client oriented nursing. (passing score is 60/100)</p>	
<p>2. CON practice teaching is introduced in the model hospital.</p>	<p>2. The following minimum requirements of CON practice are fulfilled in the clinical practices at model hospital and FRMC's practice hospitals by June 2009. (1)The health facilities assign suitable nurses for 80% of students in clinical practice by beginning of practicing. (2)To prepare patients who will be attached to 80% of students by beginning of practicing. (3)80% of students can obtain information from patient's record and also during nursing process within first 2 days of practice period. (4)80% of conference with head nurse is conducted</p>	<p>2. (1)Contract with directors and direct leaders of clinical practice; (2)List of students in clinical practice, and also list of attached patients on beginning of practice; (3)Logbooks of clinical practice, list of practical skills by concrete type of practice; (4)Documents about conducting conferences; (5)Monitoring results</p>	
<p>3. Standard of nursing education (Teaching Plan and Teaching Program) is proposed.</p>	<p>3. MOH accepts the proposal prepared by the project by June 2009.</p>	<p>3. Documents of acceptance</p>	

Activities (See Annex 4)	Japan Side *personnel* - Long-term experts - Chief Adviser - Nurse Education Coordinator - Short-term experts - Fundamental nursing - Maternal health nursing - Child health nursing - Adult health nursing - Gerontological nursing - Community health nursing - Nursing management - Training coordinator - Psychiatric Nursing (including Mental Health Nursing) *Facility and Equipment* - Necessary machinery, equipment and other materials for the implementation of the project. *Training in Japan*	Inputs Uzbekistan Side *personnel* - Nursing education - Fundamental nursing - Maternal health nursing and child health nursing - Adult health nursing and gerontological nursing - Community health nursing - Nursing management - Psychiatric Nursing (including Mental Health Nursing) *Facility and equipment* - Nursing Education Center - First Republic Medical College - Hospitals and clinics for nursing practice teaching *Budget* - Necessary costs for project operation.	Precondition
------------------------------------	--	---	---------------------

- i Seven subjects: Fundamental nursing, Maternal health nursing, Child health nursing, Adult health nursing, Gerontological nursing, Psychiatric nursing (including Mental Health nursing), and Community health nursing
- ii Output 3 is implemented to attain Overall goal.

ANNEX 3-2 PDM Ver.2

Project Design Matrix(Ver.2)

Project Title: Nursing Education Improvement Project Duration: 2004 July – 2009 June

Target Area: Tashkent Date: 2007/2/9

Target Group: Students and Nursing Teachers of the First Republican Medical College and persons in charge of clinical practice

Ver. 2

Narrative Summary	Objective Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal Nursing education, based on “Client-Oriented Nursing” (CON), is innovated in medical colleges throughout the country.</p>	<p>1. X % of medical colleges starts the education based on “client-oriented nursing”.</p>		
<p>Project Purpose An educational model based on CON is established.</p>	<p>1. X % of graduates of FRMC in 2009 pass a comprehension test on client-oriented nursing.</p>	<p>- Result of the comprehension test on client-oriented nursing.</p>	<p>MOH takes necessary actions to disseminate the education model to the other medical colleges.</p>
<p>Outputs</p> <p>1. Concept of “client-oriented nursing” is introduced into in-school education at FRMC</p> <p>1-1. Teaching Plan and Teaching Program based on “client-oriented nursing” for the FRMC are approved by ministries concerned.</p> <p>1-2. Teaching guidelines for seven subjects are prepared based on CON.</p> <p>1-3. Teaching method of CON is understood by the nursing teachers.</p> <p>2. CON practice teaching is introduced in</p>	<p>1. (delete)</p> <p>1-1-1. Authorized persons of Ministry of Health (MOH) and Ministry of Higher and Secondary Specialized Education (MOHSSE) sign to approve the draft Teaching Plan by September 2006.</p> <p>1-1-2. Authorized persons of MOH sign to approve the draft Teaching Program based on “client-oriented nursing” for the FRMC by December 2007.</p> <p>1-2. Teaching guidelines are accredited through the third party by December 2007.</p> <p>1-3. X % of teachers (include C/P) of FRMC pass the comprehension test on client-oriented nursing based on the teaching guideline by September 2008.</p> <p>2. Minimum requirements of CON practice are</p>	<p>1. (delete)</p> <p>1-1-1. Signed Documents</p> <p>1-1-2. Signed Documents</p> <p>1-2. Accreditation report</p> <p>1-3. Results of the comprehension test of client oriented nursing.</p> <p>2. Results of</p>	

<p>the model hospital and major FRMC's practice hospitals and health care facilities..</p> <p>3. Standard of nursing education (Teaching Plan and Teaching Program) is proposed and the basis for introducing CON in national nursing education is prepared.</p>	<p>fulfilled in the clinical practices by June 2009.</p> <p>3. MOH accepts the proposal prepared by the project by June 2009.</p>	<p>monitoring.</p> <p>3. Documents of acceptance</p>
Activities (See Annex)		
<p>Japan Side</p> <p>*personnel*</p> <ul style="list-style-type: none"> - Long-term experts - Chief Adviser - Nurse Education Coordinator <p>Short-term experts</p> <ul style="list-style-type: none"> - Fundamental nursing - Maternal health nursing - Child health nursing - Adult health nursing - Gerontological nursing - Community health nursing - Nursing management - Training coordinator - Psychiatric Nursing (including Mental health Nursing) <p>*Facility and Equipment*</p> <ul style="list-style-type: none"> - Necessary machinery, equipment and other materials for the implementation of the project. <p>*Training in Japan*</p>		<p>Uzbekistan Side</p> <p>*personnel*</p> <ul style="list-style-type: none"> - Nursing education - Fundamental nursing - Maternal health nursing and child health nursing - Adult health nursing and gerontological nursing - Community health nursing - Nursing management - Psychiatric Nursing (including Mental health Nursing) <p>*Facility and equipment*</p> <ul style="list-style-type: none"> - Nursing Education Center - First Republic Medical College - Hospitals and clinics for nursing practice teaching <p>*Budget*</p> <ul style="list-style-type: none"> - Necessary costs for project operation.
Precondition		

- i Seven subjects: Fundamental nursing, Maternal health nursing, Child health nursing, Adult health nursing, Gerontological nursing, Psychiatric nursing (including Mental Health nursing), and Community health nursing
- ii Output 3 is implemented to attain Overall goal.

ANNEX 3-3 PDM Ver.1

Project Design Matrix
 Project Title: Nursing Education Improvement Project
 Target Area: Tashkent
 Target Group: Nursing Educators of the First Republican Medical College

Duration: 2004 July – 2009 June
 Date: (attached on M/M 2004 April. 28)

and persons in charge of clinical practice

Narrative Summary	Objective Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal Nursing education, based on “client-oriented nursing”, is innovated in 54 medical colleges throughout the country.</p>	<p>1. The educational model is introduced into 54 medical colleges.</p>		
<p>Project Purpose An educational model based on “client-oriented nursing” is established.</p>	<p>1. Nursing education based on the “client-oriented nursing” is innovated in the First Republican Medical College (FRMC).</p>	<p>- Result of comprehension test on client-oriented nursing.</p>	<p>- MOH spreads the education model to 54 medical colleges.</p>
<p>Outputs 1. Concept of “client-oriented nursing” is introduced into in-school education at FRMC 1-1. Draft curriculum¹ for the FRMC is prepared based on “client-oriented nursing”. 1-2. Teaching Materials are prepared based on “client-oriented nursing”.</p>	<p>1. Client-oriented nursing education is implemented as in-school education at the FRMC by June 2009. 1-1. Draft curriculum for nursing education in FRMC is prepared by July 2008. 1-2-1. Teaching materials on Fundamental nursing, Maternal nursing and child gerontology nursing, Community health and Psychiatric Nursing (including Mental Health Nursing) are prepared as reference by July 2008.</p>	<p>1. Result of trial session 1-1. Draft curriculum for nursing education 1-2-1. Reference on Fundamental nursing, Maternal nursing, and child nursing, Adult nursing, gerontology nursing, Community health and</p>	

<p>1-3. Teaching method of "client-oriented nursing" is understood by the nursing educators."</p> <p>2. Client-oriented nursing practice teaching is introduced in a model hospital.</p> <p>3. Standard of nursing education (curriculum, teaching materials and quality of teachers) is proposed.</p>	<p>1-2-2. Drafts of laboratory manuals using equipment for nursing education are prepared.</p> <p>1-3. Educators of the FRMC and model institutes pass a comprehension test of client-oriented nursing by June 2009.</p> <p>2. Client-oriented nursing practices are implemented at the Tashkent Republican Center for Emergency Medicine (RCEM).</p> <p>3. Proposals regarding standard of nursing education are to be submitted to Ministry of Health by June 2009.</p>	<p>Nursing management.</p> <p>1-2-2. Draft of laboratory manuals</p> <p>1-3. Results of comprehension test of client oriented nursing.</p> <p>2-1. Guidelines on the TECC</p> <p>2-2. Opinion of Patients.</p> <p>2-3. Methods of clinical practice of teaching staff for nurse education (Draft)</p> <p>3-1. Development of an education standard.</p> <p>3-2. Proposal for implementing a standardized graduation examination.</p>	
--	---	--	--

Activities	Inputs	
	<p>Japan Side</p> <ul style="list-style-type: none"> *personnel* Long-term experts - Chief Adviser - Nurse Education Coordinator Short-term experts - Fundamental nursing and child nursing - Maternal nursing and gerontology nursing and - Adult gerontology nursing and - Community nursing - Nursing management - Training coordinator <p>*Facility and Equipment*</p> <ul style="list-style-type: none"> - Necessary machinery, equipment and other materials for the implementation of the project. <p>*Training in Japan*</p>	<p>Uzbekistan Side</p> <ul style="list-style-type: none"> *personnel* - Nursing education - Fundamental nursing and child nursing - Maternal nursing and gerontology nursing - Adult nursing and gerontology nursing - Community nursing - Nursing management <p>*Facility and equipment*</p> <ul style="list-style-type: none"> - FRMC <p>*Budget*</p> <ul style="list-style-type: none"> - Necessary costs for project operation.
	Precondition	

i Curriculum is composed of time table and Syllabus.
ii "Nursing educators" covers educators in 54 medical colleges and 6 institutions of medicine to promote the "Statement Program of Reforming the Health Care System of the Republic of Uzbekistan" which is under implementation by the Ministry of Health

ANNEX 4. Plan of Operation

Activities	2004			2005			2006			2007			2008			2009		
	J	F	M	J	F	M	J	F	M	J	F	M	J	F	M	J	F	M
1. Concept of "client-oriented nursing" is introduced into in-school education at the First Republic Medical College (FRMC).																		
1-0-1 To establish a Project Implementation Office: Nursing Education Center (NEC) in the FRMC.	★																	
1-0-2 To hold a Joint Coordination Committee for monitoring the progress of the Project.				★			★			★			★				★	
1-0-3 To prepare and implement a comprehension test on client-oriented nursing.																	★	★
1-1. 1-1. Teaching plan and Teaching Program based on "client-oriented nursing" for the FRMC are approved by ministries concerned.																		
1-1-1a. To establish a Curriculum Committee consisting of the MOH, Ministry of Higher and Secondary Specialized Education, educators from institutes of medicine and medical colleges, and responsible people from hospitals and medical facilities.	★			★														
1-1-1b. To establish working groups consisting of teachers from institutes of medicine and medical colleges and responsible people from hospitals and medical facilities for preparing Teaching Programs.	★			★														
1-1-2. To collect information about Teaching Plan and Teaching Program for secondary education.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-1-3. To prepare Teaching Plan and Teaching Program for secondary education based on CON.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-2. 1-2. Teaching guidelines for seven subjects are prepared based on CON.																		
1-2-1. (delete)																		
1-2-2. To collect information about text books and references used by medical colleges.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-2-3. To identify the needs of hospitals and health care facilities and patients for improving nursing care.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-2-4. To prepare Teaching Guidelines.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-2-5. (Move to 3-8)																		
1-2-6. (Move to 3-9)																		
1-3. 1-3. Teaching method of CON is understood by the nursing teachers.																		
1-3-1. To identify the technical level and needs of nursing teachers.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-3-2. To hold seminars on the concept of CON.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-3-3. To draw up TOT program for CON education using the prepared Teaching Program and Teaching Guidelines.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-3-4. To implement TOT program in FRMC for CON education.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-3-5. To commence the lectures based on new Teaching Program and Teaching Guidelines at the class of FRMC.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-3-6. To monitor and evaluate the lectures.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1-3-7. (Move to 3-7)																		
2. 2. CON practice teaching is introduced in the model hospital and major FRMC's practice hospitals and health care facilities.																		
2-1. To establish a clinical practice department in the RCEM and to prepare practice rooms.	★																	
2-2. To collect information about clinical practices at FRMC's cooperative hospitals and health care facilities.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
2-3. To identify problems and needs of clinical practice instructors.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
2-4. To prepare nursing practice guideline for introducing CON.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
2-5. To prepare a manual of clinical practice for the re-training of clinical practice instructors in hospitals and health care facilities.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
2-6. To train clinical practice instructors of FRMC's cooperative hospitals and health care facilities.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
2-7. To monitor the clinical practices.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
2-8. To identify the opinions of patients regarding CON practice through a questionnaire survey.																★		★
3. 3. Standard of nursing education (Teaching Plan and Teaching Program) is proposed and the basis for introducing CON in national nursing education is prepared.																		
3-1. To analyze the achievement of Output1 and Output2 for proposing a national standard of nursing education (Teaching Plan and Teaching Program).	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
3-2. To develop the national standard of nursing education.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
3-3. To collect information for making a proposal for a standardized graduation examination.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
3-4. To prepare a proposal for a standardized graduation examination.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
3-5. To hold seminars for representative nursing teachers and nurses nationwide on the concept of CON.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
3-6. To train representative clinical practice instructors from 60 medical and health care facilities (5 facilities / state x 12 states)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
3-7. To train representative nursing teachers from medical colleges throughout the country and 6 institutes of medicine for introducing CON education.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
3-8. To monitor the utilization condition of equipment for nursing education procured by the Japan's Grant Aid Project.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
3-9. To prepare operation manuals for the exercise equipment procured by Japan's Grant Aid Project.	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

Legend: → and ★ = Plan
 → and ★ = Implementation

ANNEX5. Records of Inputs

Experts Lists

Отправка экспертов

Year	Field	Position	Name	Имя	Period
2006	1	Chief Advisor	Dr. Kazuo YAJIMA	Др. Казуэ Ядзима	28th Apr. 2006 to 27th Apr. 2008
2008	2	Chief Advisor	Ms. Shizuko KIKUCHI	Г-жа Сизуко Кикучи	27th May. 2008 to 30th Jun. 2009
2004	3	Coordinator	Mr. Masaru IZUKA	Г-н Масару Изука	14th Aug. 2004 to 30th Jun. 2009
2004	4	Nursing Education	Ms. Sachiko HAYASHI	Г-жа Сачико Хаяши	28th May. 2004 to 07th Jul. 2006
2006	5	Nursing Education	Ms. Yoko INARI	Г-жа Еко Инари	28th Apr. 2006 to 30th Jun. 2009
年度	Field	Должность	Name	Имя	Период
2004	1	Training Supervisor	Dr. Tomoko KUSAMA	Др. Томоко Кусамэ	6th Aug. 2004 to 14th Aug. 2004
2004	2	Training Supervisor	Dr. Tomoko KUSAMA	Др. Томоко Кусамэ	6th Aug. 2004 to 14th Aug. 2004
2004	3	Training Supervisor	Ms. Yuzo TAMURA	Г-жа Юдзо Тамура	6th Aug. 2004 to 14th Aug. 2004
2004	4	Training Supervisor	Ms. Reiko SAKURAI	Г-жа Рейко Сакurai	6th Aug. 2004 to 14th Aug. 2004
2004	5	Fundamental Nursing	Dr. Kazuko KODAMA	Др. Казуко Кодэма	6th Aug. 2004 to 28th Aug. 2004
2004	6	Fundamental Nursing	Dr. Etsuko KONISHI	Др. Эцукко Кониси	6th Aug. 2004 to 25th Aug. 2004
2004	7	Fundamental Nursing	Dr. Mizuko TOKUNAGA	Др. Мизуко Токунэга	6th Aug. 2004 to 28th Aug. 2004
2004	8	Adult Gerontological Nursing	Dr. Keiko OKAMITSU	Др. Кейко Окамитсу	6th Aug. 2004 to 28th Aug. 2004
2004	9	Maternal and Child Nursing	Dr. Fumiko MIYAZAKI	Др. Фумико Миязакэ	6th Aug. 2004 to 28th Aug. 2004
2004	10	Community Nursing	Ms. Seisumi KUDO	Г-жа Сейсуми Кудо	6th Aug. 2004 to 28th Aug. 2004
2004	11	Nursing Management	Dr. Noriko AWAYA	Др. Норико Аваэ	6th Aug. 2004 to 28th Aug. 2004
2004	12	Adult Gerontological Nursing	Dr. Reiko SATO	Др. Рейко Сато	17th Aug. 2004 to 28th Aug. 2004
2004	13	Community Nursing	Ms. Reiko SAKURAI	Др. Рейко Сакurai	17th Dec. 2004 to 23th Dec. 2004
2004	14	Maternal and Child Nursing	Dr. Fumiko MIYAZAKI	Др. Фумико Миязакэ	ditto
2004	15	Maternal and Child Nursing	Dr. Mizuko TOKUNAGA	Др. Мизуко Токунэга	ditto
2004	16	Community Nursing	Ms. Seisumi KUDO	Г-жа Сейсуми Кудо	ditto
2004	17	Maternal and Child Nursing	Ms. Kazumi SAWADA	Г-жа Казуми Савэда	17th Aug. 2004 to 28th Aug. 2004
2004	18	Adult Gerontological Nursing	Dr. Keiko OKAMITSU	Др. Кейко Окамитсу	14th Jan. 2005 to 21st Jan. 2005
2004	19	Adult Gerontological Nursing	Dr. Keiko OKAMITSU	Др. Кейко Окамитсу	14th Jan. 2005 to 21st Jan. 2005
2004	20	Fundamental Nursing	Dr. Reiko SATO	Др. Рейко Сато	ditto
2004	21	Fundamental Nursing	Dr. Noriko AWAYA	Др. Норико Аваэ	ditto
2004	22	Training Supervisor	Dr. Tomoko KUSAMA	Др. Томоко Кусамэ	22nd Mar. 2005 to 26th Mar. 2005
2004	23	Fundamental Nursing	Dr. Etsuko KONISHI	Др. Эцукко Кониси	25th Mar. 2005 to 30th Mar. 2005
2004	24	Adult Gerontological Nursing	Dr. Keiko OKAMITSU	Др. Кейко Окамитсу	22nd Mar. 2005 to 26th Mar. 2005
2004	25	Adult Gerontological Nursing	Dr. Reiko SATO	Др. Рейко Сато	25th Mar. 2005 to 2nd Apr. 2005
2004	26	Community Nursing	Ms. Reiko SAKURAI	Г-жа Рейко Сакurai	22nd Mar. 2005 to 2nd Apr. 2005
2004	27	Fundamental Nursing	Dr. Noriko AWAYA	Др. Норико Аваэ	ditto
2004	28	Community Nursing	Ms. Seisumi KUDO	Г-жа Сейсуми Кудо	ditto
2004	29	Fundamental Nursing	Dr. Kazuko KODAMA	Др. Казуко Кодэма	25th Mar. 2005 to 2 апреля 2005
2004	30	Fundamental Nursing	Dr. Mizuko TOKUNAGA	Др. Мизуко Токунэга	25th Mar. 2005 to 2 апреля 2005
2005	31	Fundamental Nursing	Ms. Imako WAKAMATSU	Г-жа Джунко Вакаматацу	22nd Jun. 2005 to 30th Sep. 2005
2005	32	Community Nursing	Ms. Seisumi KUDO	Г-жа Сейсуми Кудо	22nd Jul. 2005 to 6th Aug. 2005
2005	33	Pediatric Nursing	Ms. Masako TAKANO	Г-жа Масакэ Такано	26th Jul. 2005 to 6th Aug. 2005
2005	34	Maternal Nursing	Ms. Kiyomi KONISHI	Г-жа Кийоми Кониси	ditto
2005	35	Fundamental Nursing	Ms. Miho TONAI	Г-жа Мико Тонай	2nd Aug. 2005 to 17th Aug. 2005
2005	36	Fundamental Nursing	Ms. Yuzuko TAMAI	Г-жа Юдзукэ Тамай	ditto
2005	37	Psychiatric Nursing	Dr. Sachiko DEGUCHI	Др. Сачико Дегучи	9th Aug. 2005 to 27th Aug. 2005
2005	38	Adult & Gerontological Nursing	Dr. Reiko SATO	Др. Рейко Сато	16th Aug. 2005 to 27th Aug. 2005
2005	39	Adult & Gerontological Nursing	Ms. Kaiko NEMOTO	Г-жа Кейко Немото	16th Aug. 2005 to 27th Aug. 2005

Отправка экспертов

№	Field	Должность	Name	Имя	Период	с
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Kyoko OKAMITSU	Др. Кёко Окамуцу	23rd Aug. 2005 to 3rd Sep. 2005	с 23 августа 2005 до 3 сентября 2005
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Nobuko ISHIDA	Г-жа Нобука Ишида	ditto	с 23 августа 2005 до 3 сентября 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Noriko KAWAHARA	Г-жа Норико Кавахара	28th Oct. 2005 to 5th Apr. 2005	с 28 октября 2005 до 5 апреля 2005
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Emiko KONISHI	Др. Эмико Кониси	16th Dec. 2005 to 28th Dec. 2005	с 16 декабря 2005 до 28 декабря 2005
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Tomoko KUDO	Г-жа Томоко Кудо	ditto	с 16 декабря 2005 до 28 декабря 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Satsumi KUDO	Г-жа Сатсуми Кудо	20th Dec. 2005 to 28th Dec. 2005	с 20 декабря 2005 до 28 декабря 2005
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Tomoko KUSAMA	Др. Томоко Кусама	21st Mar. 2006 to 25th Mar. 2006	с 21 марта 2006 до 25 марта 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Noriko AWAYA	Др. Норико Аваля	21st Mar. 2006 to 5th Apr. 2006	с 21 марта 2006 до 5 апреля 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Emiko KONISHI	Др. Эмико Кониси	ditto	с 21 марта 2006 до 5 апреля 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Miki ONO	Г-жа Мики Оно	ditto	с 21 марта 2006 до 5 апреля 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Miho TONAI	Г-жа Мико Тонай	ditto	с 21 марта 2006 до 5 апреля 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Yasuko TAMAI	Г-жа Ясуюко Тамай	ditto	с 21 марта 2006 до 5 апреля 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Reiko SATO	Др. Рейко Сато	21st Mar. 2006 to 29th Mar. 2006	с 21 марта 2006 до 29 марта 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Masako TAKANO	Г-жа Масакко Такано	ditto	с 21 марта 2006 до 29 марта 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Fumiko MIYAZAKI	Др. Фумико Миязаки	ditto	с 21 марта 2006 до 29 марта 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Reiko SAKURAI	Г-жа Рейко Сакурай	ditto	с 21 марта 2006 до 29 марта 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Kazuo YAJIMA	Др. Казуо Яйима	ditto	с 21 марта 2006 до 29 марта 2006
2005	Adult Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Yoiko INARI	Г-жа Ёико Инари	ditto	с 21 марта 2006 до 29 марта 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Kyoko OKAMITSU	Др. Кёко Окамуцу	28th Apr. 2006 to 6th May 2006	с 28 апреля 2006 до 6 мая 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Noriko KAWAHARA	Г-жа Норико Кавахара	28th Apr. 2006 to 13th May 2006	с 28 апреля 2006 до 13 мая 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Miho TONAI	Г-жа Мико Тонай	21st Jul. 2006 to 5th Aug. 2006	с 21 июля 2006 до 5 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Miki ONO	Г-жа Мики Оно	ditto	с 21 июля 2006 до 5 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Masako TAKANO	Г-жа Масакко Такано	25th Jul. 2006 to 9th Aug. 2006	с 25 июля 2006 до 9 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Kiyomi KONISHI	Г-жа Киеми Кониси	ditto	с 25 июля 2006 до 9 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Itoko HAYASHI	Г-жа Итоко Хаяши	ditto	с 25 июля 2006 до 9 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Satsumi KUDO	Г-жа Сатсуми Кудо	1st Aug. 2006 to 15th Aug. 2006	с 1 августа 2006 до 15 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Miki OI	Др. Мики Ой	ditto	с 1 августа 2006 до 15 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Sachiko DEGUCHI	Др. Сачико Дегучи	ditto	с 1 августа 2006 до 15 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Michiko OKAMOTO	Г-жа Мичико Окамото	ditto	с 1 августа 2006 до 15 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Reiko SATO	Др. Рейко Сато	11th Aug. 2006 to 26th Aug. 2006	с 11 августа 2006 до 26 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Yoshimi MATSUDA	Г-жа Ёшими Матсуда	ditto	с 11 августа 2006 до 26 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Kyoko OKAMITSU	Др. Кёко Окамуцу	18th Aug. 2006 to 26th Aug. 2006	с 18 августа 2006 до 26 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Yoshiko ISHIDA	Г-жа Ёшико Ишида	ditto	с 18 августа 2006 до 26 августа 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Yoshimi MATSUDA	Г-жа Ёшими Матсуда	8th Dec. 2006 to 23rd Dec. 2006	с 8 декабря 2006 до 23 декабря 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Keiko NEMOTO	Г-жа Кейко Немото	ditto	с 8 декабря 2006 до 23 декабря 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Masako TAKANO	Г-жа Масакко Такано	15th Dec. 2006 to 30th Dec. 2006	с 15 декабря 2006 до 30 декабря 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Fumiko MIYAZAKI	Др. Фумико Миязаки	22nd Dec. 2006 to 30th Dec. 2006	с 22 декабря 2006 до 30 декабря 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Satsumi KUDO	Г-жа Сатсуми Кудо	ditto	с 22 декабря 2006 до 30 декабря 2006
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Sachiko DEGUCHI	Др. Сачико Дегучи	6th Feb. 2007 to 20th Feb 2007	с 6 февраля 2007 до 20 февраля 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Tomoko KUSAMA	Др. Томоко Кусама	6th Feb. 2007 to 10th Feb 2007	с 6 февраля 2007 до 10 февраля 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Reiko SAKURAI	Др. Рейко Сакурай	6th Feb. 2007 to 10th Feb 2007	с 6 февраля 2007 до 10 февраля 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Reiko SATO	Др. Рейко Сато	16th Mar. 2007 to 30th Mar. 2007	с 16 марта 2007 до 30 марта 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Kyoko OKAMITSU	Др. Кёко Окамуцу	13th Mar. 2007 to 30th Mar. 2007	с 13 марта 2007 до 30 марта 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Yoshiko ISHIDA	Г-жа Ёшико Ишида	16th Mar. 2007 to 30th Mar. 2007	с 16 марта 2007 до 30 марта 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Keiko NEMOTO	Г-жа Кейко Немото	16th Mar. 2007 to 30th Mar. 2007	с 16 марта 2007 до 30 марта 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Yoshimi MATSUDA	Г-жа Ёшими Матсуда	16th Mar. 2007 to 30th Mar. 2007	с 16 марта 2007 до 30 марта 2007
2006	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Ritsuko YAMADA	Г-жа Ритсуюко Ямада	16th Mar. 2007 to 30th Mar. 2007	с 16 марта 2007 до 30 марта 2007

Отправка экспертов

Experts Lists

ДФУ	No.	Field	Должность	Name	Имя	Период
2007	87	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Izumi TAKENAKA	Г-жа Изуми Такенака	17th Apr.2007 to 18th Aug. 2007 с 17 апреля 2007 до 18 августа 2007
2007	88	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Dr. Kyoko OKAMITSU	Др. Кёко Окамитсу	27th Apr.2007 to 5th May 2007 с 27 апреля 2007 до 5 мая 2007
2007	89	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Keiko NEMOTO	Г-жа Кейко Немото	27th Apr.2007 to 5th May 2007 с 27 апреля 2007 до 5 мая 2007
2007	90	Pediatric & Community Nursing	Уход в педиатрии и общине	Ms. Kazuko HIRAKI	Г-жа Казуко Хираки	1st Jun.2007 to 1st Dec. 2007 с 1 июня 2007 до 1 декабря 2007
2007	91	Maternal Nursing	Уход в материнстве	Dr. Fumiko MIYAZAKI	Др. Фумико Миязакэ	17th Apr.2007 to 18th Aug. 2007 с 17 апреля 2007 до 18 августа 2007
2007	92	Maternal Nursing	Уход в материнстве	Ms. Kyomi KONISHI	Г-жа Кюэми Кониси	17th Apr.2007 to 18th Aug. 2007 с 17 апреля 2007 до 18 августа 2007
2007	93	Pediatric Nursing	Уход в педиатрии	Ms. Masako TAKANO	Г-жа Масакэ Такано	17th Apr.2007 to 18th Aug. 2007 с 17 апреля 2007 до 18 августа 2007
2007	94	Pediatric Nursing	Уход в педиатрии	Ms. Saiae YAMASHITA	Г-жа Саэе Ямашиита	17th Apr.2007 to 18th Aug. 2007 с 17 апреля 2007 до 18 августа 2007
2007	95	Community Nursing	Уход в общине	Ms. Seisumi KUDO	Г-жа Сейсуми Кудо	18th Sep.2007 to 3 Oct. 2007 с 18 сентября 2007 до 3 октября 2007
2007	96	Community Nursing	Уход в общине	Ms. Miki OI	Г-жа Мики Ои	18th Sep.2007 to 3 Oct. 2007 с 18 сентября 2007 до 3 октября 2007
2007	97	Psychiatric Nursing	Психологический уход	Dr. Sachiko DEGUCHI	Г-жа Сачико Дегучи	21st Sep.2007 to 3 Oct. 2007 с 21 сентября 2007 до 3 октября 2007
2007	98	Psychiatric Nursing	Психологический уход	Ms. Michiko OKAMOTO	Г-жа Мичико Окамото	21st Sep.2007 to 3 Oct. 2007 с 21 сентября 2007 до 3 октября 2007
2007	99	Adult & Gerontological Nursing	Уход за взрослыми и престарелыми	Ms. Izumi TAKENAKA	Г-жа Изуми Такенака	5th Oct.2007 to 1st Dec. 2007 с 5 октября до 1 декабря 2007
2007	100	Project Implementation	Реализация проекта	Dr. Tomoko KUSAMA	Др. Томоко Кусяма	12th Feb.2008 to 15th Feb. 2008 с 12 февраля 2008 до 15 февраля 2008
2008	101	Nursing Practice (Fundamental)	Сестринская практика (Основы)	Ms. Masae MATSUNAGA	Г-жа Масэе Матсунага	20th May 2008 to 24th Jul. 2008 с 20 мая 2008 до 24 июля 2008
2008	102	Nursing Practice (Adult)	Сестринская практика (Взрослые)	Ms. Kimiyo MIYAMOTO	Г-жа Кимёе Миямото	27th May 2008 to 27th Sep. 2008 с 27 мая 2008 до 27 сентября 2008
2008	103	Nursing Practice (Adult and others)	Сестринская практика (Взрослые и др.)	Ms. Masae MATSUNAGA	Г-жа Масэе Матсунага	19th Aug. 2008 to 11th Feb. 2009 с 19 августа 2008 до 11 февраля 2009

ANNEX 5. Records of Inputs

List of Counterparts From Uzbekistan

	Name	Subject
1	Zuparova Sabohat	Fundamental Nursing
2	Ishakova Shoira	Maternal Health Nursing
3	Mizaeva Saodat	Adult Health Nursing
4	Usmanova Gulchihra (until Aug. 08)	Child Health Nursing
5	Mizayusupova Zaripa	Community Health Nursing
6	Yunusdjanova Sakhida	Psychiatric Nursing / Gerontological Nursing
7	Khudayberganova Seva (from Aug. 08)	Child Health Nursing

ANNEX 5. Records of Inputs

Counterpart Training in Japan

Counterpart Training in Japan through the Project

No.	Name	Training Institution	Term
1	Primbetova Ilya	JICA Kyushu, Oita Univ. of N. H. Scienses, Nagasaki Univ., Taranomon Hospital	11 Sep. 2004 – 17 Dec. 2004
2	Mirzaeva Saadat		
3	Burkhanova Malika		
4	Akhmadeeva Alfinur		
5	Toshmatova Dilovar		
6	Alimova Matlyuba	JICA Kyushu, Oita Univ. of N. H. Scienses, Min. of Labor & Welfare, Nurse Association, Musashino Red Cross Hospital, JICA HQ.,	6 Nov. 2004– 20 Nov. 2004
7	Ziyaeva Mavluda		
8	Yangieva Nodira		
9	Borisova Elena		
10	Goleva Galina		
11	Zuparova Snobar (Sabohat)	JICA Kyushu, Oita Univ. of N. H. Scienses, Min. of Labor & Welfare, Nurse Association, Musashino Red Cross Hospital, JICA HQ.,	2 Sep. 2005 to 17 Dec. 2005
12	Iskhakova Shoira		
13	Yunusdjonova Zakhida		
14	Mirzayusupova Zaripa		
15	Mr. Malikov Yusuf R.	JICA Kyushu, Oita Univ. of N. H. Scienses, Min. of Labor & Welfare, Nurse Association, Musashino Red Cross Hospital, JICA HQ.,	19 Nov. 2005 to 3 Dec. 2005
16	Ms. Salihodjaeva Rikhisinisa K		
17	Ms. Nazarova Salima K.		
18	Ms. Abdullaeva Khamidokhon A.		
19	Mr. Masdov Khayriddin F.		
20	Ms. Usmanova Gulchekhra	JICA Kyushu, Oita Univ. of N. H. Scienses, Yufuin Hospital, Hyakka-en, Min. of Labor & Welfare, Nurse Association, Musashino Red Cross Hospital, JICA HQ.,	4 Sep. 2005 to 17 Dec. 2005
21	Ms. Suvankulova Feruza		
22	Ms. Saidova Lola		
23	Ms. Ismanova Ozoda		
24	Mr. Atakhanov Shukhrat	JICA Kyushu, Oita Univ. of N. H. Scienses, Min. of Labor & Welfare, Nurse Association, Musashino Red Cross Hospital, JICA HQ.,	6 Nov. 2005 to 2 Nov. 2005
25	Ms. Govoruhina Irina Yu.		
26	Ms. Zokirova Kamola		
27	Ms. Imamova Khabiba		
28	Ms. Tolkacheva Oliga	JICA Kyushu, Oita Univ. of N. H. Scienses, Musashino Red Cross Hospital, Kitasato Univ.	22 Oct. 2007 to 21 Dec. 2007
29	Ms. Tukhvatullina Anjelika		
30	Ms. Kasimova Dildar		
31	Ms. Sharifkhodjaeva Feruza		
32	Ms. Akhmetshina Aleftina		
33	Ms. Karaulova Vera		
34	Ms. Gafurova Nodira	JICA Kyushu, Oita Univ. of N. H. Scienses, Nurse Association, Musashino Red Cross Hospital, Kitasato Univ. Chiba Univ. JICA HQ.,	3 Nov. 2008 to 19 Dec. 2008
35	Ms. Mukhsimova Makhsuda		
36	Ms. Aikhodjaeva Feruza		
37	Ms. Khudayberganova Sevar		
38	Ms. Ergasheva Umida		
39	Ms. Pulatova Shokhida		

ANNEX 5: Records of Inputs

Donated Equipments 2004 to 2008

No.	Item	Arrival Day	Inventory №				Place of Installation
			D	04	12	01	
1	Overhead Projector	Dec.14	D	04	12	01	Storage
2	Overhead Projector	Dec.14	D	04	12	02	RCEM
3	Video Player	Dec.14	D	04	12	03	Practicing Room
4	Video Player	Dec.14	D	04	12	04	RCEM
5	TV set	Dec.14	D	04	12	05	Practicing Room
6	TV set	Dec.14	D	04	12	06	RCEM
7	Digital Copier LaserJet Xerox 415	Dec.14	D	04	12	07	RCEM
8	Computer Set	Dec.23	D	04	12	08	Staff room
9	Computer Set	Dec.23	D	04	12	09	Staff room
10	Computer Set	Dec.23	D	04	12	10	Staff room
11	Computer Set	Dec.23	D	04	12	11	Staff room
12	Computer Set	Dec.23	D	04	12	12	Staff room
13	Computer Set	Dec.23	D	04	12	13	Staff room
14	Computer Set	Dec.23	D	04	12	14	RCEM
15	Computer Set	Dec.23	D	04	12	15	RCEM
16	Notebook PC	Dec.23	D	04	12	16	Staff room
17	Notebook PC	Dec.23	D	04	12	17	RCEM
18	Digital Copier LaserJet Xerox 423	Dec.23	D	04	12	18	Staff room
19	Multimedia Projector	Dec.23	D	04	12	19	Staff room
20	Multimedia Projector	Dec.23	D	04	12	20	RCEM
21	Color Printer LaserJet	Dec.23	D	04	12	21	Staff room
22	Color Printer LaserJet	Dec.23	D	04	12	22	RCEM
23	Gatch Bed	8 Feb.	D	06	02	23	1 RMC
24	Gatch Bed	8 Feb.	D	06	02	24	1 RMC
25	Gatch Bed	8 Feb.	D	06	02	25	RCEM
26	Gatch Bed	8 Feb.	D	06	02	26	RCEM
27	Mattress	8 Feb.	D	06	02	27	1 RMC
28	Mattress	8 Feb.	D	06	02	28	1 RMC
29	Mattress	8 Feb.	D	06	02	29	RCEM
30	Mattress	8 Feb.	D	06	02	30	RCEM
31	Mattress Pad	8 Feb.	D	06	02	31	1 RMC
32	Mattress Pad	8 Feb.	D	06	02	32	1 RMC
33	Mattress Pad	8 Feb.	D	06	02	33	RCEM
34	Mattress Pad	8 Feb.	D	06	02	34	RCEM
35	Bedclothes	8 Feb.	D	06	02	35	1 RMC
36	Bedclothes	8 Feb.	D	06	02	36	1 RMC
37	Bedclothes	8 Feb.	D	06	02	37	1 RMC
38	Bedclothes	8 Feb.	D	06	02	38	1 RMC
39	Bedclothes	8 Feb.	D	06	02	39	RCEM
40	Bedclothes	8 Feb.	D	06	02	40	RCEM
41	Bedclothes	8 Feb.	D	06	02	41	RCEM
42	Bedclothes	8 Feb.	D	06	02	42	RCEM
43	Bedside Cabinet	8 Feb.	D	06	02	43	1 RMC
44	Bedside Cabinet	8 Feb.	D	06	02	44	1 RMC
45	Bedside Cabinet	8 Feb.	D	06	02	45	RCEM
46	Bedside Cabinet	8 Feb.	D	06	02	46	RCEM
47	Overbed Table	8 Feb.	D	06	02	47	1 RMC
48	Overbed Table	8 Feb.	D	06	02	48	1 RMC
49	Overbed Table	8 Feb.	D	06	02	49	RCEM
50	Overbed Table	8 Feb.	D	06	02	50	RCEM
51	Screen	8 Feb.	D	06	02	51	1 RMC
52	Screen	8 Feb.	D	06	02	52	1 RMC
53	Screen	8 Feb.	D	06	02	53	RCEM
54	Screen	8 Feb.	D	06	02	54	RCEM
55	Screen	8 Feb.	D	06	02	55	RCEM
56	Stop Watch	8 Feb.	D	06	02	56	1 RMC

No.	Item	Arrival Day	Inventory №				Place of Installation
57	Stop Watch	8 Feb.	D	06	02	57	1 RMC
58	Stop Watch	8 Feb.	D	06	02	58	1 RMC
59	Stop Watch	8 Feb.	D	06	02	59	1 RMC
60	Stop Watch	8 Feb.	D	06	02	60	RCEM
61	Stop Watch	8 Feb.	D	06	02	61	RCEM
62	Sphygmomanometer	8 Feb.	D	06	02	62	1 RMC
63	Sphygmomanometer	8 Feb.	D	06	02	63	1 RMC
64	Sphygmomanometer	8 Feb.	D	06	02	64	1 RMC
65	Sphygmomanometer	8 Feb.	D	06	02	65	1 RMC
66	Sphygmomanometer	8 Feb.	D	06	02	66	1 RMC
67	Sphygmomanometer	8 Feb.	D	06	02	67	RCEM
68	Sphygmomanometer	8 Feb.	D	06	02	68	RCEM
69	Stethoscope, Double Head Type	8 Feb.	D	06	02	69	1 RMC
70	Stethoscope, Double Head Type	8 Feb.	D	06	02	70	1 RMC
71	Stethoscope, Double Head Type	8 Feb.	D	06	02	71	1 RMC
72	Stethoscope, Double Head Type	8 Feb.	D	06	02	72	1 RMC
73	Stethoscope, Double Head Type	8 Feb.	D	06	02	73	1 RMC
74	Stethoscope, Double Head Type	8 Feb.	D	06	02	74	RCEM
75	Stethoscope, Double Head Type	8 Feb.	D	06	02	75	RCEM
76	Stethoscope (Single)	8 Feb.	D	06	02	76	1 RMC
77	Stethoscope (Single)	8 Feb.	D	06	02	77	1 RMC
78	Stethoscope (Single)	8 Feb.	D	06	02	78	1 RMC
79	Stethoscope (Single)	8 Feb.	D	06	02	79	1 RMC
80	Stethoscope (Single)	8 Feb.	D	06	02	80	1 RMC
81	Stethoscope (Single)	8 Feb.	D	06	02	81	RCEM
82	Stethoscope (Single)	8 Feb.	D	06	02	82	RCEM
83	Pen Light	8 Feb.	D	06	02	83	1 RMC
84	Pen Light	8 Feb.	D	06	02	84	1 RMC
85	Pen Light	8 Feb.	D	06	02	85	1 RMC
86	Pen Light	8 Feb.	D	06	02	86	1 RMC
87	Pen Light	8 Feb.	D	06	02	87	1 RMC
88	Percussion Hammer	8 Feb.	D	06	02	88	1 RMC
89	Percussion Hammer	8 Feb.	D	06	02	89	1 RMC
90	Diagnostic Set	8 Feb.	D	06	02	90	1 RMC
91	Hand Wash Evaluation Kit	8 Feb.	D	06	02	91	1 RMC
92	Hand Wash Evaluation Kit	8 Feb.	D	06	02	92	RCEM
93	Wheel Chair	8 Feb.	D	06	02	93	1 RMC
94	Walker	8 Feb.	D	06	02	94	1 RMC
95	Long Slide Stick	8 Feb.	D	06	02	95	1 RMC
96	Beads Pads	8 Feb.	D	06	02	96	1 RMC
97	Beads Pads	8 Feb.	D	06	02	97	RCEM
98	The aged simulation Set	8 Feb.	D	06	02	98	1 RMC
99	Instrument Trolley	8 Feb.	D	06	02	99	1 RMC
100	Instrument Trolley	8 Feb.	D	06	02	100	1 RMC
101	Instrument Trolley	8 Feb.	D	06	02	101	1 RMC
102	Instrument Trolley	8 Feb.	D	06	02	102	1 RMC
103	Instrument Trolley	8 Feb.	D	06	02	103	RCEM
104	Pitcher	8 Feb.	D	06	02	104	1 RMC
105	Pitcher	8 Feb.	D	06	02	105	1 RMC
106	Pitcher	8 Feb.	D	06	02	106	RCEM
107	Wash Basins	8 Feb.	D	06	02	107	1 RMC
108	Wash Basins	8 Feb.	D	06	02	108	1 RMC
109	Wash Basins	8 Feb.	D	06	02	109	RCEM
110	Plastic Basin with Lid	8 Feb.	D	06	02	110	1 RMC
111	Plastic Basin with Lid	8 Feb.	D	06	02	111	RCEM
112	Kelly's Pad	8 Feb.	D	06	02	112	1 RMC
113	Shower Bottle	8 Feb.	D	06	02	113	1 RMC
114	Shower Bottle	8 Feb.	D	06	02	114	1 RMC
115	Shower Bottle	8 Feb.	D	06	02	115	RCEM
116	Bed Pan	8 Feb.	D	06	02	116	1 RMC
117	Urinal	8 Feb.	D	06	02	117	1 RMC
118	Urinal	8 Feb.	D	06	02	118	1 RMC
119	Injection and Blood Sampling Practice Model	8 Feb.	D	06	02	119	1 RMC

No.	Item	Arrival Day	Inventory №				Place of Installation
120	Pillow for Injection	8 Feb.	D	06	02	120	1 RMC
121	Pillow for Injection	8 Feb.	D	06	02	121	1 RMC
122	Pillow for Injection	8 Feb.	D	06	02	122	1 RMC
123	Pillow for Injection	8 Feb.	D	06	02	123	1 RMC
124	Pillow for Injection	8 Feb.	D	06	02	124	1 RMC
125	Pillow for Injection	8 Feb.	D	06	02	125	RCEM
126	Pillow for Injection	8 Feb.	D	06	02	126	RCEM
127	Irrigator Stand with Caster	8 Feb.	D	06	02	127	1 RMC
128	Irrigator Stand with Caster	8 Feb.	D	06	02	128	1 RMC
129	Irrigator	8 Feb.	D	06	02	129	1 RMC
130	Irrigator	8 Feb.	D	06	02	130	1 RMC
131	Treatment Carrige	8 Feb.	D	06	02	131	1 RMC
132	Stainless Steel Tray	8 Feb.	D	06	02	132	1 RMC
133	Stainless Steel Tray	8 Feb.	D	06	02	133	1 RMC
134	Stainless Steel Tray	8 Feb.	D	06	02	134	1 RMC
135	Stainless Steel Tray	8 Feb.	D	06	02	135	RCEM
136	Stainless Steel Tray	8 Feb.	D	06	02	136	RCEM
137	Stainless Steel Tray	8 Feb.	D	06	02	137	RCEM
138	Emesis Basin	8 Feb.	D	06	02	138	1 RMC
139	Emesis Basin	8 Feb.	D	06	02	139	1 RMC
140	Emesis Basin	8 Feb.	D	06	02	140	1 RMC
141	Emesis Basin	8 Feb.	D	06	02	141	1 RMC
142	Utility Jar	8 Feb.	D	06	02	142	1 RMC
143	Utility Jar	8 Feb.	D	06	02	143	1 RMC
144	Utility Jar	8 Feb.	D	06	02	144	1 RMC
145	Forceps Stand	8 Feb.	D	06	02	145	1 RMC
146	Forceps Stand	8 Feb.	D	06	02	146	1 RMC
147	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	147	1 RMC
148	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	148	1 RMC
149	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	149	1 RMC
150	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	150	1 RMC
151	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	151	1 RMC
152	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	152	1 RMC
153	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	153	1 RMC
154	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	154	1 RMC
155	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	155	1 RMC
156	Dressing Forceps	8 Feb.	D	06	02	156	1 RMC
157	Partition	8 Feb.	D	06	02	157	RCEM
158	Partition	8 Feb.	D	06	02	158	RCEM
159	Partition	8 Feb.	D	06	02	159	RCEM
160	Partition	8 Feb.	D	06	02	160	RCEM
161	Partition	8 Feb.	D	06	02	161	RCEM
162	Chair	8 Feb.	D	06	02	162	RCEM
163	Chair	8 Feb.	D	06	02	163	RCEM
164	Chair	8 Feb.	D	06	02	164	RCEM
165	Chair	8 Feb.	D	06	02	165	RCEM
166	Chair	8 Feb.	D	06	02	166	RCEM
167	Chair	8 Feb.	D	06	02	167	RCEM
168	Chair	8 Feb.	D	06	02	168	RCEM
169	Chair	8 Feb.	D	06	02	169	RCEM
170	Chair	8 Feb.	D	06	02	170	RCEM
171	Chair	8 Feb.	D	06	02	171	RCEM
172	Chair	8 Feb.	D	06	02	172	RCEM
173	Chair	8 Feb.	D	06	02	173	RCEM
174	Chair	8 Feb.	D	06	02	174	RCEM
175	Chair	8 Feb.	D	06	02	175	RCEM
176	Chair	8 Feb.	D	06	02	176	RCEM
177	Chair	8 Feb.	D	06	02	177	RCEM
178	Chair	8 Feb.	D	06	02	178	RCEM
179	Chair	8 Feb.	D	06	02	179	RCEM
180	Chair	8 Feb.	D	06	02	180	RCEM
181	Chair	8 Feb.	D	06	02	181	RCEM
182	Chair	8 Feb.	D	06	02	182	RCEM

No.	Item	Arrival Day	Inventory №				Place of Installation
			D	06	02	183	
183	Chair	8 Feb.	D	06	02	183	RCEM
184	Chair	8 Feb.	D	06	02	184	RCEM
185	Chair	8 Feb.	D	06	02	185	RCEM
186	Chair	8 Feb.	D	06	02	186	RCEM
187	Desk	8 Feb.	D	06	02	187	RCEM
188	Desk	8 Feb.	D	06	02	188	RCEM
189	Desk	8 Feb.	D	06	02	189	RCEM
190	Desk	8 Feb.	D	06	02	190	RCEM
191	Universal Training Doll	8 Feb.	D	06	02	191	1 RMC
192	Universal Training Doll	8 Feb.	D	06	02	192	RCEM
193	Pen Light	8 Feb.	D	06	02	193	RCEM
194	Pen Light	8 Feb.	D	06	02	194	RCEM
195	The aged simulation Set	28 Nov.	D	06	11	195	1 RMC
196	The aged simulation Set	28 Nov.	D	06	11	196	1 RMC
197	The aged simulation Set	28 Nov.	D	06	11	197	1 RMC
198	The aged simulation Set	28 Nov.	D	06	11	198	1 RMC
199	Ostomy care simulator	28 Nov.	D	06	11	199	1 RMC
200	Respiration muscle trainer, Souffle	28 Nov.	D	06	11	200	1 RMC
201	Respiration muscle trainer, Souffle	28 Nov.	D	06	11	201	1 RMC
202	Respiration muscle trainer, Souffle	28 Nov.	D	06	11	202	1 RMC
203	Respiration muscle trainer, Souffle	28 Nov.	D	06	11	203	1 RMC
204	Respiration muscle trainer, Souffle	28 Nov.	D	06	11	204	1 RMC
205	Intensive spirometry exerciser	28 Nov.	D	06	11	205	1 RMC
206	Intensive spirometry exerciser	28 Nov.	D	06	11	206	1 RMC
207	Intensive spirometry exerciser	28 Nov.	D	06	11	207	1 RMC
208	Intensive spirometry exerciser	28 Nov.	D	06	11	208	1 RMC
209	Intensive spirometry exerciser	28 Nov.	D	06	11	209	1 RMC
210	Intensive spirometry exerciser	28 Nov.	D	06	11	210	1 RMC
211	Food substitution model (variety of 100 with magnet)	28 Nov.	D	06	11	211	1 RMC
212	Buttock Intramuscular Injection Simulator, fastened with a belt	28 Nov.	D	06	11	212	1 RMC
213	Buttock Intramuscular Injection Simulator, fastened with a belt	28 Nov.	D	06	11	213	1 RMC
214	Buttock Intramuscular Injection Simulator, fastened with a belt	28 Nov.	D	06	11	214	1 RMC
215	Buttock Intramuscular Injection Simulator, fastened with a belt	28 Nov.	D	06	11	215	1 RMC
216	Buttock Intramuscular Injection Simulator, fastened with a belt	28 Nov.	D	06	11	216	1 RMC
217	Nursing Training Doll	28 Nov.	D	06	11	217	1 RMC
218	Nursing Training Doll	28 Nov.	D	06	11	218	1 RMC
219	Nursing Training Doll	28 Nov.	D	06	11	219	1 RMC
220	Nursing Training Doll	28 Nov.	D	06	11	220	1 RMC
221	Organs for Men, exchangeable type with Nursing Training Doll	28 Nov.	D	06	11	221	1 RMC
222	Organs for Men, exchangeable type with Nursing Training Doll	28 Nov.	D	06	11	222	1 RMC
223	Organs for Men, exchangeable type with Nursing Training Doll	28 Nov.	D	06	11	223	1 RMC
224	Organs for Men, exchangeable type with Nursing Training Doll	28 Nov.	D	06	11	224	1 RMC
225	Wearable Breast Self Examination Cancer Training Model	28 Nov.	D	06	11	225	1 RMC
226	Wearable Breast Self Examination Cancer Training Model	28 Nov.	D	06	11	226	1 RMC
227	Wearable Breast Self Examination Cancer Training Model	28 Nov.	D	06	11	227	1 RMC
228	Wearable Breast Self Examination Cancer Training Model	28 Nov.	D	06	11	228	1 RMC
229	Wearable Breast Self Examination Cancer Training Model	28 Nov.	D	06	11	229	1 RMC
230	CPR Training Doll with Skillreporter and Printer	28 Nov.	D	06	11	230	1 RMC
231	CPR Training Doll with Skillreporter and Printer	28 Nov.	D	06	11	231	1 RMC
232	CPR Training Doll with Skillreporter and Printer	28 Nov.	D	06	11	232	1 RMC
233	CPR Training Doll with Skillreporter and Printer	28 Nov.	D	06	11	233	1 RMC
234	CPR Training Doll with Skillreporter and Printer	28 Nov.	D	06	11	234	1 RMC
235	Suction Simulator	28 Nov.	D	06	11	235	1 RMC
236	Suction Simulator	28 Nov.	D	06	11	236	1 RMC
237	Suction Simulator	28 Nov.	D	06	11	237	1 RMC
238	Suction Simulator	28 Nov.	D	06	11	238	1 RMC
239	Suction Simulator	28 Nov.	D	06	11	239	1 RMC
240	Airway Management Trainer, Correspond to Adult Laryngeal masks	28 Nov.	D	06	11	240	1 RMC
241	Airway Management Trainer, Correspond to Adult Laryngeal masks	28 Nov.	D	06	11	241	1 RMC
242	Airway Management Trainer, Correspond to Adult Laryngeal masks	28 Nov.	D	06	11	242	1 RMC
243	Airway Management Trainer, Correspond to Adult Laryngeal masks	28 Nov.	D	06	11	243	1 RMC
244	Airway Management Trainer, Correspond to Adult Laryngeal masks	28 Nov.	D	06	11	244	1 RMC

No.	Item	Arrival Day	Inventory №				Place of Installation
			D	07	08	245	
245	Liquid transfer set quantitative cylinder for small quantity	6 Aug.	D	07	08	245	1 RMC
246	Baby bath set (1/5)	6 Aug.	D	07	08	246	1 RMC
247	Baby bath set (2/5)	6 Aug.	D	07	08	247	1 RMC
248	Baby bath set (3/5)	6 Aug.	D	07	08	248	1 RMC
249	Baby bath set (4/5)	6 Aug.	D	07	08	249	1 RMC
250	Baby bath set (5/5)	6 Aug.	D	07	08	250	1 RMC
251	Suckling set (1/5)	6 Aug.	D	07	08	251	1 RMC
252	Suckling set (2/5)	6 Aug.	D	07	08	252	1 RMC
253	Suckling set (3/5)	6 Aug.	D	07	08	253	1 RMC
254	Suckling set (4/5)	6 Aug.	D	07	08	254	1 RMC
255	Suckling set (5/5)	6 Aug.	D	07	08	255	1 RMC
256	Color mercury blood pressure gauge (1/5)	6 Aug.	D	07	08	256	1 RMC
257	Color mercury blood pressure gauge (2/5)	6 Aug.	D	07	08	257	1 RMC
258	Color mercury blood pressure gauge (3/5)	6 Aug.	D	07	08	258	1 RMC
259	Color mercury blood pressure gauge (4/5)	6 Aug.	D	07	08	259	1 RMC
260	Color mercury blood pressure gauge (5/5)	6 Aug.	D	07	08	260	1 RMC
261	One piece cuff for nursing (1/5)	6 Aug.	D	07	08	261	1 RMC
262	One piece cuff for nursing (2/5)	6 Aug.	D	07	08	262	1 RMC
263	One piece cuff for nursing (3/5)	6 Aug.	D	07	08	263	1 RMC
264	One piece cuff for nursing (4/5)	6 Aug.	D	07	08	264	1 RMC
265	One piece cuff for nursing (5/5)	6 Aug.	D	07	08	265	1 RMC
266	One piece cuff for infants (1/5)	6 Aug.	D	07	08	266	1 RMC
267	One piece cuff for infants (2/5)	6 Aug.	D	07	08	267	1 RMC
268	One piece cuff for infants (3/5)	6 Aug.	D	07	08	268	1 RMC
269	One piece cuff for infants (4/5)	6 Aug.	D	07	08	269	1 RMC
270	One piece cuff for infants (5/5)	6 Aug.	D	07	08	270	1 RMC
271	One piece cuff for young children (middle) (1/5)	6 Aug.	D	07	08	271	1 RMC
272	One piece cuff for young children (middle) (2/5)	6 Aug.	D	07	08	272	1 RMC
273	One piece cuff for young children (middle) (3/5)	6 Aug.	D	07	08	273	1 RMC
274	One piece cuff for young children (middle) (4/5)	6 Aug.	D	07	08	274	1 RMC
275	One piece cuff for young children (middle) (5/5)	6 Aug.	D	07	08	275	1 RMC
276	Cuff set for infants (1/5)	6 Aug.	D	07	08	276	1 RMC
277	Cuff set for infants (2/5)	6 Aug.	D	07	08	277	1 RMC
278	Cuff set for infants (3/5)	6 Aug.	D	07	08	278	1 RMC
279	Cuff set for infants (4/5)	6 Aug.	D	07	08	279	1 RMC
280	Cuff set for infants (5/5)	6 Aug.	D	07	08	280	1 RMC
281	Cuff set for nursing (1/5)	6 Aug.	D	07	08	281	1 RMC
282	Cuff set for nursing (2/5)	6 Aug.	D	07	08	282	1 RMC
283	Cuff set for nursing (3/5)	6 Aug.	D	07	08	283	1 RMC
284	Cuff set for nursing (4/5)	6 Aug.	D	07	08	284	1 RMC
285	Cuff set for nursing (5/5)	6 Aug.	D	07	08	285	1 RMC
286	Nutrition catheter (1/5)	6 Aug.	D	07	08	286	1 RMC
287	Nutrition catheter (2/5)	6 Aug.	D	07	08	287	1 RMC
288	Nutrition catheter (3/5)	6 Aug.	D	07	08	288	1 RMC
289	Nutrition catheter (4/5)	6 Aug.	D	07	08	289	1 RMC
290	Nutrition catheter (5/5)	6 Aug.	D	07	08	290	1 RMC
291	Injector 10 cc catheter fit	6 Aug.	D	07	08	291	1 RMC
292	Suction catheter 8FR (1/5)	6 Aug.	D	07	08	292	1 RMC
293	Suction catheter 8FR (2/5)	6 Aug.	D	07	08	293	1 RMC
294	Suction catheter 8FR (3/5)	6 Aug.	D	07	08	294	1 RMC
295	Suction catheter 8FR (4/5)	6 Aug.	D	07	08	295	1 RMC
296	Suction catheter 8FR (5/5)	6 Aug.	D	07	08	296	1 RMC
297	Double stethoscope for neonate (1/20)	6 Aug.	D	07	08	297	1 RMC
298	Double stethoscope for neonate (2/20)	6 Aug.	D	07	08	298	1 RMC
299	Double stethoscope for neonate (3/20)	6 Aug.	D	07	08	299	1 RMC
300	Double stethoscope for neonate (4/20)	6 Aug.	D	07	08	300	1 RMC
301	Double stethoscope for neonate (5/20)	6 Aug.	D	07	08	301	1 RMC
302	Double stethoscope for neonate (6/20)	6 Aug.	D	07	08	302	1 RMC
303	Double stethoscope for neonate (7/20)	6 Aug.	D	07	08	303	1 RMC
304	Double stethoscope for neonate (8/20)	6 Aug.	D	07	08	304	1 RMC
305	Double stethoscope for neonate (9/20)	6 Aug.	D	07	08	305	1 RMC
306	Double stethoscope for neonate (10/20)	6 Aug.	D	07	08	306	1 RMC

No.	Item	Arrival Day	Inventory №				Place of Installation
			D	07	08	307	
307	Double stethoscope for neonate (11/20)	6 Aug.	D	07	08	307	1 RMC
308	Double stethoscope for neonate (12/20)	6 Aug.	D	07	08	308	1 RMC
309	Double stethoscope for neonate (13/20)	6 Aug.	D	07	08	309	1 RMC
310	Double stethoscope for neonate (14/20)	6 Aug.	D	07	08	310	1 RMC
311	Double stethoscope for neonate (15/20)	6 Aug.	D	07	08	311	1 RMC
312	Double stethoscope for neonate (16/20)	6 Aug.	D	07	08	312	1 RMC
313	Double stethoscope for neonate (17/20)	6 Aug.	D	07	08	313	1 RMC
314	Double stethoscope for neonate (18/20)	6 Aug.	D	07	08	314	1 RMC
315	Double stethoscope for neonate (19/20)	6 Aug.	D	07	08	315	1 RMC
316	Double stethoscope for neonate (20/20)	6 Aug.	D	07	08	316	1 RMC
317	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (1/20)	6 Aug.	D	07	08	317	1 RMC
318	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (2/20)	6 Aug.	D	07	08	318	1 RMC
319	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (3/20)	6 Aug.	D	07	08	319	1 RMC
320	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (4/20)	6 Aug.	D	07	08	320	1 RMC
321	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (5/20)	6 Aug.	D	07	08	321	1 RMC
322	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (6/20)	6 Aug.	D	07	08	322	1 RMC
323	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (7/20)	6 Aug.	D	07	08	323	1 RMC
324	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (8/20)	6 Aug.	D	07	08	324	1 RMC
325	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (9/20)	6 Aug.	D	07	08	325	1 RMC
326	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (10/20)	6 Aug.	D	07	08	326	1 RMC
327	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (11/20)	6 Aug.	D	07	08	327	1 RMC
328	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (12/20)	6 Aug.	D	07	08	328	1 RMC
329	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (13/20)	6 Aug.	D	07	08	329	1 RMC
330	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (14/20)	6 Aug.	D	07	08	330	1 RMC
331	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (15/20)	6 Aug.	D	07	08	331	1 RMC
332	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (16/20)	6 Aug.	D	07	08	332	1 RMC
333	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (17/20)	6 Aug.	D	07	08	333	1 RMC
334	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (18/20)	6 Aug.	D	07	08	334	1 RMC
335	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (19/20)	6 Aug.	D	07	08	335	1 RMC
336	Ultra high sensitive stethoscope (for young child) (20/20)	6 Aug.	D	07	08	336	1 RMC
337	Suction/Neblyzer combination	6 Aug.	D	07	08	337	1 RMC
338	Digital salinometer	6 Aug.	D	07	08	338	1 RMC
339	Calorier counter	6 Aug.	D	07	08	339	1 RMC
340	Stethoscope (1/5)	6 Aug.	D	07	08	340	1 RMC
341	Stethoscope (2/5)	6 Aug.	D	07	08	341	1 RMC
342	Stethoscope (3/5)	6 Aug.	D	07	08	342	1 RMC
343	Stethoscope (4/5)	6 Aug.	D	07	08	343	1 RMC
344	Stethoscope (5/5)	6 Aug.	D	07	08	344	1 RMC
345	Health care bag (care porch, incl. 13 pcs articles) (1/5)	6 Aug.	D	07	08	345	1 RMC
346	Health care bag (care porch, incl. 13 pcs articles) (2/5)	6 Aug.	D	07	08	346	1 RMC
347	Health care bag (care porch, incl. 13 pcs articles) (3/5)	6 Aug.	D	07	08	347	1 RMC
348	Health care bag (care porch, incl. 13 pcs articles) (4/5)	6 Aug.	D	07	08	348	1 RMC
349	Health care bag (care porch, incl. 13 pcs articles) (5/5)	6 Aug.	D	07	08	349	1 RMC
350	Mobile body weight balance, table set (1/5)	6 Aug.	D	07	08	350	1 RMC
351	Mobile body weight balance, table set (2/5)	6 Aug.	D	07	08	351	1 RMC
352	Mobile body weight balance, table set (3/5)	6 Aug.	D	07	08	352	1 RMC
353	Mobile body weight balance, table set (4/5)	6 Aug.	D	07	08	353	1 RMC
354	Mobile body weight balance, table set (5/5)	6 Aug.	D	07	08	354	1 RMC
355	Electronic body thermometer (1/5)	6 Aug.	D	07	08	355	1 RMC
356	Electronic body thermometer (2/5)	6 Aug.	D	07	08	356	1 RMC
357	Electronic body thermometer (3/5)	6 Aug.	D	07	08	357	1 RMC
358	Electronic body thermometer (4/5)	6 Aug.	D	07	08	358	1 RMC
359	Electronic body thermometer (5/5)	6 Aug.	D	07	08	359	1 RMC
360	Finger tip sterilizer (1/2)	6 Aug.	D	07	08	360	1 RMC
361	Finger tip sterilizer (2/2)	6 Aug.	D	07	08	361	1 RMC
362	Tunning fork Lutse C (1/20)	6 Aug.	D	07	08	362	1 RMC
363	Tunning fork Lutse C (2/20)	6 Aug.	D	07	08	363	1 RMC
364	Tunning fork Lutse C (3/20)	6 Aug.	D	07	08	364	1 RMC
365	Tunning fork Lutse C (4/20)	6 Aug.	D	07	08	365	1 RMC
366	Tunning fork Lutse C (5/20)	6 Aug.	D	07	08	366	1 RMC
367	Tunning fork Lutse C (6/20)	6 Aug.	D	07	08	367	1 RMC
368	Tunning fork Lutse C (7/20)	6 Aug.	D	07	08	368	1 RMC

No.	Item	Arrival Day	Inventory №			Place of Installation	
369	Tunning fork Lutse C (8/20)	6 Aug.	D	07	08	369	1 RMC
370	Tunning fork Lutse C (9/20)	6 Aug.	D	07	08	370	1 RMC
371	Tunning fork Lutse C (10/20)	6 Aug.	D	07	08	371	1 RMC
372	Tunning fork Lutse C (11/20)	6 Aug.	D	07	08	372	1 RMC
373	Tunning fork Lutse C (12/20)	6 Aug.	D	07	08	373	1 RMC
374	Tunning fork Lutse C (13/20)	6 Aug.	D	07	08	374	1 RMC
375	Tunning fork Lutse C (14/20)	6 Aug.	D	07	08	375	1 RMC
376	Tunning fork Lutse C (15/20)	6 Aug.	D	07	08	376	1 RMC
377	Tunning fork Lutse C (16/20)	6 Aug.	D	07	08	377	1 RMC
378	Tunning fork Lutse C (17/20)	6 Aug.	D	07	08	378	1 RMC
379	Tunning fork Lutse C (18/20)	6 Aug.	D	07	08	379	1 RMC
380	Tunning fork Lutse C (19/20)	6 Aug.	D	07	08	380	1 RMC
381	Tunning fork Lutse C (20/20)	6 Aug.	D	07	08	381	1 RMC
382	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (1/20)	6 Aug.	D	07	08	382	1 RMC
383	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (2/20)	6 Aug.	D	07	08	383	1 RMC
384	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (3/20)	6 Aug.	D	07	08	384	1 RMC
385	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (4/20)	6 Aug.	D	07	08	385	1 RMC
386	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (5/20)	6 Aug.	D	07	08	386	1 RMC
387	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (6/20)	6 Aug.	D	07	08	387	1 RMC
388	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (7/20)	6 Aug.	D	07	08	388	1 RMC
389	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (8/20)	6 Aug.	D	07	08	389	1 RMC
390	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (9/20)	6 Aug.	D	07	08	390	1 RMC
391	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (10/20)	6 Aug.	D	07	08	391	1 RMC
392	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (11/20)	6 Aug.	D	07	08	392	1 RMC
393	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (12/20)	6 Aug.	D	07	08	393	1 RMC
394	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (13/20)	6 Aug.	D	07	08	394	1 RMC
395	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (14/20)	6 Aug.	D	07	08	395	1 RMC
396	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (15/20)	6 Aug.	D	07	08	396	1 RMC
397	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (16/20)	6 Aug.	D	07	08	397	1 RMC
398	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (17/20)	6 Aug.	D	07	08	398	1 RMC
399	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (18/20)	6 Aug.	D	07	08	399	1 RMC
400	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (19/20)	6 Aug.	D	07	08	400	1 RMC
401	Tendon hammer (Tailor U.S. type) (20/20)	6 Aug.	D	07	08	401	1 RMC
402	Wall chart SMC Instruction (1 can massage breast)	6 Aug.	D	07	08	402	1 RMC
403	VTR SMC method instruction	6 Aug.	D	07	08	403	1 RMC
404	Body height meter (wood)	6 Aug.	D	07	08	404	1 RMC
405	Digital baby scale	6 Aug.	D	07	08	405	1 RMC
406	Body height meter, for infants (3-folding) (1/5)	6 Aug.	D	07	08	406	1 RMC
407	Body height meter, for infants (3-folding) (2/5)	6 Aug.	D	07	08	407	1 RMC
408	Body height meter, for infants (3-folding) (3/5)	6 Aug.	D	07	08	408	1 RMC
409	Body height meter, for infants (3-folding) (4/5)	6 Aug.	D	07	08	409	1 RMC
410	Body height meter, for infants (3-folding) (5/5)	6 Aug.	D	07	08	410	1 RMC
411	Bathing doll (boy 1, girl 1) (1/8)	6 Aug.	D	07	08	411	1 RMC
412	Bathing doll (boy 1, girl 1) (2/8)	6 Aug.	D	07	08	412	1 RMC
413	Bathing doll (boy 1, girl 1) (3/8)	6 Aug.	D	07	08	413	1 RMC
414	Bathing doll (boy 1, girl 1) (4/8)	6 Aug.	D	07	08	414	1 RMC
415	Bathing doll (boy 1, girl 1) (5/8)	6 Aug.	D	07	08	415	1 RMC
416	Bathing doll (boy 1, girl 1) (6/8)	6 Aug.	D	07	08	416	1 RMC
417	Bathing doll (boy 1, girl 1) (7/8)	6 Aug.	D	07	08	417	1 RMC
418	Bathing doll (boy 1, girl 1) (8/8)	6 Aug.	D	07	08	418	1 RMC
419	Nightcloth for adult and aged (front button)	6 Aug.	D	07	08	419	1 RMC
420	Rehabilitation nightcloth	6 Aug.	D	07	08	420	1 RMC

ANNEX 5: Records of Inputs

Local Purchased Equipment

No.	Item	Arrival Day	Inventory No.				Place of Installation	Usage
1	Mobile phone	Jul.13	L	04	07	01		Every day
2	Mobile phone	Aug.11	L	04	08	02		Replaced
3	Mobile phone	Aug.11	L	04	08	03		Replaced
4	Fax Mashine Panasonic KX FT-74	Oct.11	L	04	10	04	Staff room	In event only
5	Vacuum Cleaner Sanyo - 1600 W	Oct.11	L	04	10	05	Staff room	Every day
6	Refrigerator "Dnepr" - Vita Nova 275 L	Oct.11	L	04	10	06	Staff room	Every day
7	Safe 250 kg	Oct.11	L	04	10	07	Staff room	Every day
8	Copier CANON FC-120 (A4)	Oct.11	L	04	10	08	Staff room	Every day
9	Kitchen Cabinet	Oct.14	L	04	10	09	Staff room	Every day
10	Oil Radiator Ferette F-13 CH	Oct.15	L	04	10	10	Staff room	In event only
11	Wall Clock	Oct.18	L	04	10	11	Staff room	Every day
12	Computer set (Rus/Eng)	Oct.29	L	04	10	12	Staff room	Every day
13	Computer set (Rus/Eng)	Oct.29	L	04	10	13	Staff room	Every day
14	Computer set (Rus/Eng)	Oct.29	L	04	10	14	Staff room	Every day
15	Computer set (Eng/Jap)	Oct.29	L	04	10	15	Staff room	Every day
16	Table	Oct.29	L	04	10	16	Staff room	Every day
17	Table	Oct.29	L	04	10	17	Staff room	Every day
18	Table	Oct.29	L	04	10	18	Staff room	Every day
19	Table	Oct.29	L	04	10	19	Staff room	Every day
20	Table	Oct.29	L	04	10	20	Staff room	Every day
21	Table	Oct.29	L	04	10	21	Staff room	Every day
22	Table	Oct.29	L	04	10	22	Staff room	Every day
23	Table	Oct.29	L	04	10	23	Staff room	Every day
24	Table	Oct.29	L	04	10	24	Staff room	Every day
25	Table	Oct.29	L	04	10	25	Staff room	Every day
26	Table	Oct.29	L	04	10	26	Meeting room	Every day
27	Table	Oct.29	L	04	10	27	Meeting room	Every day
28	Table	Oct.29	L	04	10	28	Meeting room	Every day
29	Table	Oct.29	L	04	10	29	Meeting room	Every day
30	Table	Oct.29	L	04	10	30	Meeting room	Every day
31	Table	Oct.29	L	04	10	31	Meeting room	Every day
32	Table	Oct.29	L	04	10	32	Chief advisor room	Every day
33	Table	Oct.29	L	04	10	33	Chief advisor room	Every day
34	Bookshelf big	Oct.29	L	04	10	34	Staff room	Every day
35	Bookshelf big	Oct.29	L	04	10	35	Staff room	Every day
36	Bookshelf big	Oct.29	L	04	10	36	Staff room	Every day
37	Bookshelf big	Oct.29	L	04	10	37	Staff room	Every day
38	Bookshelf big	Oct.29	L	04	10	38	Staff room	Every day
39	Bookshelf big	Oct.29	L	04	10	39	Staff room	Every day
40	Bookshelf small	Oct.29	L	04	10	40	Meeting room	Every day
41	Bookshelf small	Oct.29	L	04	10	41	Meeting room	Every day
42	Bookshelf small	Oct.29	L	04	10	42	Meeting room	Every day
43	Bookshelf small	Oct.29	L	04	10	43	Meeting room	Every day
44	Bookshelf small	Oct.29	L	04	10	44	Meeting room	Every day

No.	Item	Arrival Day	Inventory No.				Place of Installation	Usage
			L	04	10	45		
45	Bookshelf small	Oct.29	L	04	10	45	Chief advisor room	Every day
46	Whiteboard	Nov.8	L	04	11	46	Staff room	Every day
47	Whiteboard	Nov.8	L	04	11	47	Meeting room	Every day
48	Microwave oven	Nov.19	L	04	11	48	Meeting room	Every day
49	Stepladder	Dec.10	L	04	12	49	Store room	In event only
50	Dictionary	Dec.15	L	04	12	50	Staff room	In event only
51	Dictionary	Dec.15	L	04	12	51	Staff room	In event only
52	Dictionary	Dec.15	L	04	12	52	Staff room	In event only
53	Dictionary	Dec.15	L	04	12	53	Staff room	In event only
54	Medical Dictionary	Dec.15	L	04	12	54	Staff room	In event only
55	Medical Dictionary	Dec.15	L	04	12	55	Staff room	In event only
56	Vocabulary	Dec.15	L	04	12	56	Staff room	In event only
57	Mobile phone	Dec.20	L	04	12	57		In event only
58	Key Box	Dec.27	L	04	12	58	Staff room	Every day
59	Cash Box	Dec.27	L	04	12	59	Staff room	Every day
60	Heavy Duty Punch	Dec.27	L	04	12	60	Staff room	Every day
61	Whiteboard	Jan.5	L	05	01	61	Auditorium	Every day
62	Whiteboard Stand	Jan.5	L	05	01	62	Auditorium	Some times
63	Wardrobe	Jan.6	L	05	01	63	Corridor	Every day
64	Whiteboard	Jan.14	L	05	01	64	Corridor	Some times
65	Whiteboard	Jan.14	L	05	01	65	Corridor	Some times
66	Mobile phone	Jan.14	L	05	01	66		Every day
67	HDD 200Gb Maxtor	Jan.13	L	05	01	67	Staff room	Every day
68	HDD 20Gb IBM (2.5" size)	Jan.13	L	05	01	68	Staff room	In event only
69	Scanner CANON	Jan.13	L	05	01	69	Staff room	Some times
70	Table	Jan.19	L	05	01	70	Meeting room	Every day
71	Safe 100 kg	Jan.20	L	05	01	71	Staff room	Every day
72	Oil Radiator DeLonghi	Jan.24	L	05	01	72	Chief advisor room	In event only
73	Banknote Counter	Mar.27	L	05	03	73	Staff room	Some times
74	Whiteboard	Mar.30	L	05	03	74	Auditorium	Some times
75	Whiteboard Stand	Mar.30	L	05	03	75	Auditorium	Some times
76	Iron Cabinet	Mar.30	L	05	03	76	Corridor	Every day
77	Iron Cabinet	Mar.30	L	05	03	77	Corridor	Every day
78	Server	Mar.31	L	05	03	78	Staff room	Every day
79	PBX Station	Mar.31	L	05	03	79	Staff room	Every day
80	System Telephone	Mar.31	L	05	03	80	Staff room	Every day
81	Telephone	Mar.31	L	05	03	81	Staff room	Every day
82	Telephone	Mar.31	L	05	03	82	Staff room	Every day
83	Telephone	Mar.31	L	05	03	83	Chief advisor room	Every day
84	Whiteboard	Apr.26	L	05	04	84	Chief advisor room	Every day
85	PCI TV Capture Card	May 15	L	05	05	85	Staff room	Some times
86	Bookshelf small	May 25	L	05	05	86	Chief advisor room	Every day
87	Split Type Air Conditioner	May 27	L	05	05	87	Chief advisor room	Every day
88	Split Type Air Conditioner	May 27	L	05	05	88	Staff room	Every day

No.	Item	Arrival Day	Inventory No.				Place of Installation	Usage
89	Digital Recorder	Jun. 29	L	05	06	89	Staff room	Some times
90	Digital Recorder	Jun. 29	L	05	06	90	Staff room	Some times
91	Mobile phone	Jul. 12	L	05	07	91		Some times
92	Tripod for video camera	Aug. 18	L	05	08	92	Staff room	Some times
93	Hub	Aug. 30	L	05	08	93	Staff room	Some times
94	Speaker System	Oct. 6	L	05	10	94	Staff room	Every day
95	Digital Camera	Oct. 29	L	05	10	95	Staff room	Every day
96	HDD 60Gb 2.5" & Hard Disk Case	Nov. 14	L	05	11	96	Staff room	Every day
97	HDD 60Gb 2.5" & Hard Disk Case	Nov. 14	L	05	11	97	Staff room	Every day
98	View Camera	Nov. 25	L	05	11	98	Staff room	Some times
99	Video Doorphone	Jan. 5	L	06	01	99	Staff room	Every day
100	Miniature Camera	Jan. 6	L	06	01	100	Corridor	Every day
101	Electrical Lock	Jan. 6	L	06	01	101	Entrance	Every day
102	Laptop Computer	Feb.13	L	06	02	102	Staff room	Every day
103	Laptop Computer	Feb.13	L	06	02	103	Staff room	Every day
104	Peakair meter	Mar. 21	L	06	03	104	Staff room	Some times
105	Peakair meter	Mar. 21	L	06	03	105	Staff room	Some times
106	Peakair meter	Mar. 21	L	06	03	106	Staff room	Some times
107	Peakair meter	Mar. 21	L	06	03	107	Staff room	Some times
108	Peakair meter	Mar. 21	L	06	03	108	Staff room	Some times
109	Intravenous Injection Model	Mar. 21	L	06	03	109	Staff room	Some times
110	Intramuscularly Injection Model	Mar. 21	L	06	03	110	Staff room	Some times
111	Intramuscularly Injection Model	Mar. 21	L	06	03	111	Staff room	Some times
112	Intramuscularly Injection Model	Mar. 21	L	06	03	112	Staff room	Some times
113	Intramuscularly Injection Model	Mar. 21	L	06	03	113	Staff room	Some times
114	Intramuscularly Injection Model	Mar. 21	L	06	03	114	Staff room	Some times
115	Chair	Apr.19	L	06	04	115	Chief advisor room	Every day
116	Chair	Apr.19	L	06	04	116	Chief advisor room	Every day
117	Chair	Apr.19	L	06	04	117	Chief advisor room	Every day
118	Chair	Apr.19	L	06	04	118	Staff room	Every day
119	Chair	Apr.19	L	06	04	119	Staff room	Every day
120	Chair	Apr.19	L	06	04	120	Chief advisor room	Every day
121	UPS	Apr.28	L	06	04	121	Staff room	Every day
122	Computer set	Apr.29	L	06	04	122	Staff room	Every day
123	Computer set	Apr.29	L	06	04	123	Staff room	Every day
124	Computer set	Apr.29	L	06	04	124	Staff room	Every day
125	Electronic Dictionary	Apr.21	L	06	04	125	Staff room	Every day
126	Laptop Computer	May 2	L	06	05	126	Chief advisor room	Every day
127	Printer	May 12	L	06	05	127	Chief advisor room	Every day
128	Ethernet switch	Aug. 28	L	06	08	128	Staff room	Every day
129	UPS	Sep. 5	L	06	09	129	Teacher's room	Every day
130	UPS	Sep. 5	L	06	09	130	Teacher's room	Every day
131	UPS	Sep. 5	L	06	09	131	Teacher's room	Every day
132	UPS	Sep. 5	L	06	09	132	Teacher's room	Every day

No.	Item	Arrival Day	Inventory No.			Place of Installation	Usage	
133	UPS	Sep. 5	L	06	09	133	Teacher's room	Every day
134	Table	Oct.14	L	06	10	134	Meeting room	Every day
135	Table	Oct.14	L	06	10	135	Meeting room	Every day
136	Table	Oct.14	L	06	10	136	Meeting room	Every day
137	Table	Oct.14	L	06	10	137	Meeting room	Every day
138	Table	Oct.14	L	06	10	138	Meeting room	Every day
139	Table	Oct.14	L	06	10	139	Meeting room	Every day
140	Table	Oct.14	L	06	10	140	Meeting room	Every day
141	Table	Oct.14	L	06	10	141	Meeting room	Every day
142	Table	Oct.14	L	06	10	142	Meeting room	Every day
143	Table	Oct.14	L	06	10	143	Meeting room	Every day
144	Table	Oct.14	L	06	10	144	Meeting room	Every day
145	Table	Oct.14	L	06	10	145	Meeting room	Every day
146	Table	Oct.14	L	06	10	146	Meeting room	Every day
147	Table	Oct.14	L	06	10	147	Meeting room	Every day
148	Laptop Computer	Jan. 8	L	07	01	148	Staff room	Every day
149	Mobile phone	Feb.13	L	07	02	149	Staff room	Every day
150	Bookshelf small	Apr.22	L	07	04	150	Staff room	Every day
151	Bookshelf small	Apr.22	L	07	04	151	Staff room	Every day
152	Kitchen Cabinet	Apr.22	L	07	04	152	Staff room	Every day
153	Server	May 12	L	07	05	153	Staff room	Every day
154	Digital Video Camera	Aug. 2	L	07	08	154	Staff room	In event only
155	Colour Priner	Sep. 4	L	07	09	155	Staff room	Every day
156	Multimedia Projector	Dec. 11	L	07	12	156	Staff room	In event only
157	Oil-Filled Radiator	Jan. 16	L	08	01	157	Staff room	Some times
158	Oil-Filled Radiator	Jan. 16	L	08	01	158	Teacher's room	Some times
159	Oil-Filled Radiator	Jan. 16	L	08	01	159	Chief advisor room	Some times
160	UPS	Aug. 18	L	08	08	160	Staff room	Every day
161	UPS	Aug. 18	L	08	08	161	Staff room	Every day
162	DVD/CD Rewritable drive	Aug. 18	L	08	08	162	Staff room	Every day
163	LCD Monitor	Oct. 10	L	08	10	163	Teacher's room	Every day
164	LCD Monitor	Oct. 10	L	08	10	164	Teacher's room	Every day

ANNEX 5 Records of Inputs

Accompanied Equipments

No.	Item	Arrival Day	Inventory No.				Place of Installation	Memo Specification
			A					
1	Laptop Computer	Jul 28	A	04	07	01	Staff room	IBM ThinkPad 2388-BS4 Pentium 4
2	Digital video camera	Jul 28	A	04	07	02	Staff room	Sony DCR-HC85H
3	Digital camera	Jul 28	A	04	07	03		DSC-T1
4	Charger	Jul 28	A	04	07	04	Staff room	BC-TR1
5	Software	Jul 28	A	04	07	05	Staff room	Office 2003 Professional
6	Software	Jul 28	A	04	07	06	Staff room	Photoshop
7	Laptop Computer	Aug 18	A	04	08	07	Staff room	IBM ThinkPad 2378-8WJ Centrino
8	Software	Aug 18	A	04	08	08	Staff room	Office 2003 Professional
9	Software	Aug 18	A	04	08	09	Staff room	Front Page 2003
10	Software	Aug 18	A	04	08	10	Staff room	File Maker PRO7
11	TOA Portable Transmitter with Microphone	Dec 15	A	04	12	11	Storage	WM-2100, YP-M101
12	TOA Portable Transmitter with Microphone	Dec 15	A	04	12	12	Storage	WM-2100, YP-M101
13	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	13	Storage	WT-2100, YP-E401
14	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	14	Storage	WT-2100, YP-E401
15	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	15	Storage	WT-2100, YP-E401
16	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	16	Storage	WT-2100, YP-E401
17	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	17	Storage	WT-2100, YP-E401
18	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	18	Storage	WT-2100, YP-E401
19	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	19	Storage	WT-2100, YP-E401
20	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	20	Storage	WT-2100, YP-E401
21	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	21	Storage	WT-2100, YP-E401
22	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	22	Storage	WT-2100, YP-E401
23	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	23	Storage	WT-2100, YP-E401
24	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	24	Storage	WT-2100, YP-E401
25	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	25	Storage	WT-2100, YP-E401
26	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	26	Storage	WT-2100, YP-E401
27	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	27	Storage	WT-2100, YP-E401
28	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	28	Storage	WT-2100, YP-E401
29	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	29	Storage	WT-2100, YP-E401
30	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	30	Storage	WT-2100, YP-E401
31	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	31	Storage	WT-2100, YP-E401
32	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	32	Storage	WT-2100, YP-E401
33	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	33	Storage	WT-2100, YP-E401
34	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	34	Storage	WT-2100, YP-E401
35	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	35	Storage	WT-2100, YP-E401
36	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	36	Storage	WT-2100, YP-E401
37	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	37	Storage	WT-2100, YP-E401
38	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	38	Storage	WT-2100, YP-E401
39	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	39	Storage	WT-2100, YP-E401
40	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	40	Storage	WT-2100, YP-E401
41	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	41	Storage	WT-2100, YP-E401
42	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	42	Storage	WT-2100, YP-E401
43	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	43	Storage	WT-2100, YP-E401
44	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	44	Storage	WT-2100, YP-E401
45	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	45	Storage	WT-2100, YP-E401
46	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	46	Storage	WT-2100, YP-E401
47	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	47	Storage	WT-2100, YP-E401
48	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	48	Storage	WT-2100, YP-E401
49	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	49	Storage	WT-2100, YP-E401
50	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	50	Storage	WT-2100, YP-E401
51	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	51	Storage	WT-2100, YP-E401
52	Portable Receiver & Earphone	Dec 15	A	04	12	52	Storage	WT-2100, YP-E401
53	TOA Portable Transmitter with Microphone	Mar 22	A	05	3	53	Lost	WM-2100, YP-M101
54	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	54	Storage	WT-2100, YP-E401
55	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	55	Storage	WT-2100, YP-E401
56	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	56	Storage	WT-2100, YP-E401
57	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	57	Storage	WT-2100, YP-E401
58	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	58	Storage	WT-2100, YP-E401
59	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	59	Storage	WT-2100, YP-E401
60	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	60	Storage	WT-2100, YP-E401
61	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	61	Storage	WT-2100, YP-E401
62	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	62	Storage	WT-2100, YP-E401
63	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	63	Storage	WT-2100, YP-E401
64	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	64	Storage	WT-2100, YP-E401
65	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	65	Storage	WT-2100, YP-E401

No.	Item	Arrival Day	Inventory No.			Place of Installation	Memo Specification	
66	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	66	Storage	WT-2100, YP-E401
67	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	67	Storage	WT-2100, YP-E401
68	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	68	Storage	WT-2100, YP-E401
69	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	69	Storage	WT-2100, YP-E401
70	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	70	Storage	WT-2100, YP-E401
71	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	71	Storage	WT-2100, YP-E401
72	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	72	Storage	WT-2100, YP-E401
73	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	73	Storage	WT-2100, YP-E401
74	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	74	Storage	WT-2100, YP-E401
75	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	75	Storage	WT-2100, YP-E401
76	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	76	Storage	WT-2100, YP-E401
77	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	77	Storage	WT-2100, YP-E401
78	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	78	Storage	WT-2100, YP-E401
79	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	79	Storage	WT-2100, YP-E401
80	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	80	Storage	WT-2100, YP-E401
81	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	81	Storage	WT-2100, YP-E401
82	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	82	Storage	WT-2100, YP-E401
83	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	83	Storage	WT-2100, YP-E401
84	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	84	Storage	WT-2100, YP-E401
85	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	85	Storage	WT-2100, YP-E401
86	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	86	Storage	WT-2100, YP-E401
87	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	87	Storage	WT-2100, YP-E401
88	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	88	Storage	WT-2100, YP-E401
89	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	89	Storage	WT-2100, YP-E401
90	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	90	Storage	WT-2100, YP-E401
91	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	91	Storage	WT-2100, YP-E401
92	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	92	Storage	WT-2100, YP-E401
93	Portable Receiver & Earphone	Mar 22	A	05	3	93	Storage	WT-2100, YP-E401

ANNEX 5: Records of Inputs

Text Books		Arrival	Inventory №				ISBN №
№	Title						
1	(Jap) English-Japanese Nursing Dictionary	Jul.28	B	04	07	01	4-260-34050-6
2	(Jap) New Development of Nursing process in categorized disease	Jul.28	B	04	07	02	4-05-152078-1
3	(Jap) Nursing Methodology and Techniques 4, Media/Material	Jul.28	B	04	07	03	4-260-33018-7
4	(Jap) Nursing Methodology and Techniques 3, Simulation/Practical study	Jul.28	B	04	07	04	4-260-33055-1
5	(Jap) Nursing Methodology and Techniques 2, Interactive learning	Jul.28	B	04	07	05	4-260-33168-X
6	(Jap) Nursing Methodology and Techniques 1, Lecturing	Jul.28	B	04	07	06	4-260-34365-3
7	(Jap) Nursing Education Course 1, Principle and history	Jul.28	B	04	07	07	4-260-36721-8
8	(Jap) Cyclopedia of Nursing Science	Jul.28	B	04	07	08	4-8180-0992-X
9	(Jap) Nursing Diagnosis/ The process and application to implementation	Jul.28	B	04	07	09	4-263-23053-1
10	(Jap)Practical Nursing Manual 2	Jul.28	B	04	07	10	4-89014-355-6
11	(Jap)Methodology of Nursing Course	Jul.28	B	04	07	11	4-260-33099-3
12	(Jap)Illustrated Clinical Nursing Techniques	Jul.28	B	04	07	12	4-89996-097-2
13	(Jap) Nursing Management Text 2, Nursing system	Jul.28	B	04	07	13	4-8180-0972-5
14	(Jap) Standard Nursing Plan Vol.3 (Pediatric, Maternal, etc.)	Jul.28	B	04	07	14	4-89014-155-3
15	(Jap) Standard Nursing Plan Vol.2 (Internal Secretion, etc.)	Jul.28	B	04	07	15	4-89014-154-5
16	(Jap) Standard Nursing Plan Vol.1(Circulatory system, etc.)	Jul.28	B	04	07	16	4-89014-151-0
17	(Jap)The Atlas of the Human Body	Jul.28	B	04	07	17	4-06-204169-3
18	(Jap)The Atlas of Human Health	Jul.28	B	04	07	18	4-06-205832-4
19	(Jap)The Atlas of Human Diseases	Jul.28	B	04	07	19	4-06-208571-2
20	(Jap)Inside the body "A lift the flap book"	Jul.28	B	04	07	20	4-591-05190-0
21	(Jap)Methodical Nursing Course Technical1. Fundamental Nursing1	Aug.06	B	04	08	21	4-260-35008-0
22	(Jap)Methodical Nursing Course Technical2. Fundamental Nursing2	Aug.06	B	04	08	22	4-260-35018-8
23	(Jap)Methodical Nursing Course Technical3. Fundamental Nursing3	Aug.06	B	04	08	23	4-260-35029-3
24	(Jap)Methodical Nursing Course Technical4. In-home Care Nursing	Aug.06	B	04	08	24	4-260-35036-6
25	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing1	Aug.06	B	04	08	25	4-260-35045-5
26	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing2	Aug.06	B	04	08	26	4-260-35049-8
27	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing3	Aug.06	B	04	08	27	4-260-35059-5
28	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing4	Aug.06	B	04	08	28	4-260-35068-4
29	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing5	Aug.06	B	04	08	29	4-260-35077-3
30	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing6	Aug.06	B	04	08	30	4-260-35087-0
31	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing7	Aug.06	B	04	08	31	4-260-35098-6
32	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing8	Aug.06	B	04	08	32	4-260-35106-0
33	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing9	Aug.06	B	04	08	33	4-260-35116-8
34	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing10	Aug.06	B	04	08	34	4-260-35126-5
35	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing11	Aug.06	B	04	08	35	4-260-35136-2
36	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing12	Aug.06	B	04	08	36	4-260-35146-X
37	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing13	Aug.06	B	04	08	37	4-260-35157-5
38	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing14	Aug.06	B	04	08	38	4-260-35167-2
39	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing15	Aug.06	B	04	08	39	4-260-35176-1
40	(Jap)Methodical Nursing Course Technical20.Gerontological Nursing	Aug.06	B	04	08	40	4-260-35178-8
41	(Jap)Methodical Nursing Course Technical21.Gerontological Nursing Symptoms	Aug.06	B	04	08	41	4-260-35184-2
42	(Jap)Methodical Nursing Course Technical22.Pediatric Nursing1	Aug.06	B	04	08	42	4-260-35188-5
43	(Jap)Methodical Nursing Course Technical23.Pediatric Nursing 2	Aug.06	B	04	08	43	4-260-35193-1
44	(Jap)Methodical Nursing Course Technical24.Maternal Nursing 1	Aug.06	B	04	08	44	4-260-35196-6
45	(Jap)Methodical Nursing Course Technical25.Maternal Nursing 2	Aug.06	B	04	08	45	4-260-35203-2
46	(Jap)Methodical Nursing Course Technical26.Mental Care Nursing1	Aug.06	B	04	08	46	4-260-35205-9
47	(Jap)Methodical Nursing Course Technical27.Mental Care Nursing2	Aug.06	B	04	08	47	4-260-35216-4
48	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 1 Physics	Aug.06	B	04	08	48	4-260-35313-6
49	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 2 Chemistry	Aug.06	B	04	08	49	4-260-35322-5
50	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 3 Biology	Aug.06	B	04	08	50	4-260-35334-9
51	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 4 Statistics	Aug.06	B	04	08	51	4-260-35343-8
52	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 5 Psychology	Aug.06	B	04	08	52	4-260-35353-5
53	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 6 Sociology	Aug.06	B	04	08	53	4-260-35362-4
54	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 7 Pedagogy	Aug.06	B	04	08	54	4-260-35373-X
55	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 8 Information Science	Aug.06	B	04	08	55	4-260-35383-7
56	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 9 Cultural Anthropology	Aug.06	B	04	08	56	4-260-35389-6
57	(Jap)Methodical Nursing Course Basic 10 Behavioral science	Aug.06	B	04	08	57	4-260-35395-0
58	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 1 Anatomical physiology	Aug.06	B	04	08	58	4-260-35224-5
59	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 2 Biochemistry	Aug.06	B	04	08	59	4-260-35229-6

60	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 3 Nutritional Science	Aug.06	B	04	08	60	4-260-35236-9
61	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 4 Pathology	Aug.06	B	04	08	61	4-260-35245-8
62	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 5 Pharmacology	Aug.06	B	04	08	62	4-260-35253-9
63	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 6 Microbiology	Aug.06	B	04	08	63	4-260-35262-8
64	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 7 General Medical Care	Aug.06	B	04	08	64	4-260-35267-9
65	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 8 Public Health	Aug.06	B	04	08	65	4-260-35273-3
66	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 9 Social Welfare	Aug.06	B	04	08	66	4-260-35278-4
67	(Jap)Methodical Nursing Course Advance 10 Relevant laws and regulations	Aug.06	B	04	08	67	4-260-35297-0
68	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 1 General Nursing for Clinical Surgery	Aug.06	B	04	08	68	4-260-35414-0
69	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 2 Details Nursing for Clinical Surgery	Aug.06	B	04	08	69	4-260-35424-8
70	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 3 Rehabilitation	Aug.06	B	04	08	70	4-260-35434-5
71	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 4 Emergency Nursing	Aug.06	B	04	08	71	4-260-35444-2
72	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 5 Diet therapy	Aug.06	B	04	08	72	4-260-35453-1
73	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 6 Clinical Laboratory	Aug.06	B	04	08	73	4-260-35464-7
74	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 7 Clinical Radiation treatment	Aug.06	B	04	08	74	4-260-35474-4
75	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 8 Nursing Management	Aug.06	B	04	08	75	4-260-35484-1
76	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 9 Nursing History	Aug.06	B	04	08	76	4-260-35492-2
77	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 10 Terminal Care	Aug.06	B	04	08	77	4-260-35503-1
78	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 11 General Medicine	Aug.06	B	04	08	78	4-260-35508-2
79	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 12 Mental Health Welfare	Aug.06	B	04	08	79	4-260-35516-3
80	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 13 Nursing for Mental patients	Aug.06	B	04	08	80	4-260-35522-8
81	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 14 Human relations	Aug.06	B	04	08	81	4-260-35528-7
82	(Jap)Methodical Nursing Course Supplement 15 Family	Aug.06	B	04	08	82	4-260-35533-3
83	(Jap) New Nursing Education System 1 Anatomy	Aug.06	B	04	08	83	4-8392-0961-8
84	(Jap) New Nursing Education System 2 Physiology	Aug.06	B	04	08	84	4-8392-0783-6
85	(Jap) New Nursing Education System 3 Biology	Aug.06	B	04	08	85	4-8392-1091-8
86	(Jap) New Nursing Education System 4 Pathology	Aug.06	B	04	08	86	4-8392-0784-4
87	(Jap) New Nursing Education System 5 Microbiology	Aug.06	B	04	08	87	4-8392-0785-2
88	(Jap) New Nursing Education System 6 Pharmacology	Aug.06	B	04	08	88	4-8392-1092-6
89	(Jap) New Nursing Education System 7 Nutritional Science	Aug.06	B	04	08	89	4-8392-0928-6
90	(Jap) New Nursing Education System 8 Health Medicine	Aug.06	B	04	08	90	4-8392-0658-9
91	(Jap) New Nursing Education System 9 Public Health	Aug.06	B	04	08	91	4-8392-0786-0
92	(Jap) New Nursing Education System 10 Socio Welfare	Aug.06	B	04	08	92	4-8392-0660-0
93	(Jap) New Nursing Education System 11 Relevant Laws and Regulations	Aug.06	B	04	08	93	4-8392-1094-2
94	(Jap) New Nursing Education Series 1 Anatomical Physiology	Aug.06	B	04	08	94	4-8392-1131-0
95	(Jap) New Nursing Education Series 2 Nutritional Biochemistry	Aug.06	B	04	08	95	4-8392-1132-9
96	(Jap) New Nursing Education Series 3 Basic symptom and diagnosis	Aug.06	B	04	08	96	4-8392-1133-7
97	(Jap) New Nursing Education Series 4 General Medical Treatment	Aug.06	B	04	08	97	4-8392-1134-5
98	(Jap) New Nursing Education Series 5 Respiratory Diseases etc.	Aug.06	B	04	08	98	4-8392-1135-3
99	(Jap) New Nursing Education Series 6 Circulatory Diseases etc.	Aug.06	B	04	08	99	4-8392-1136-1
100	(Jap) New Nursing Education Series 7 Digestive Diseases etc.	Aug.06	B	04	08	100	4-8392-1137-X
101	(Jap) New Nursing Education Series 8 Neurotic Diseases etc.	Aug.06	B	04	08	101	4-8392-1138-8
102	(Jap) New Nursing Education Series 9 Infectious Diseases etc.	Aug.06	B	04	08	102	4-8392-1139-6
103	(Jap) New Nursing Education Series 10 Urinary Diseases etc.	Aug.06	B	04	08	103	4-8392-1140-X
104	(Jap) New Nursing Education Series 11 Ophthalmologic Diseases etc.	Aug.06	B	04	08	104	4-8392-1141-8
105	(Jap) New Nursing Education Series 12 Modern Medicine	Aug.06	B	04	08	105	4-8392-1142-6
106	(Jap) New Nursing Education Series 13 Public Health	Aug.06	B	04	08	106	4-8392-1143-4
107	(Jap) New Nursing Education Series 14 Socio welfare	Aug.06	B	04	08	107	4-8392-1144-2
108	(Jap) New Nursing Education Series 15 Relevant Laws and Regulations	Aug.06	B	04	08	108	4-8392-1145-0
109	(Jap) New Nursing Education Series 16 General Nursing	Aug.06	B	04	08	109	4-8392-1146-9
110	(Jap) New Nursing Education Series 17 Nursing Management etc.	Aug.06	B	04	08	110	4-8392-1147-7
111	(Jap) New Nursing Education Series 18 Basic Nursing Techniques	Aug.06	B	04	08	111	4-8392-1148-5
112	(Jap) New Nursing Education Series 19 Clinical Nursing	Aug.06	B	04	08	112	4-8392-1149-3
113	(Jap) New Nursing Education Series 20 Adult Nursing	Aug.06	B	04	08	113	4-8392-1150-7
114	(Jap) New Nursing Education Series 21 Nursing for Respiratory Patients	Aug.06	B	04	08	114	4-8392-1151-5
115	(Jap) New Nursing Education Series 22 Nursing for Digestive patients etc.	Aug.06	B	04	08	115	4-8392-1152-3
116	(Jap) New Nursing Education Series 23 Nursing for Internal environment control system	Aug.06	B	04	08	116	4-8392-1153-1
117	(Jap) New Nursing Education Series 24 Nursing for Neurotic Patients	Aug.06	B	04	08	117	4-8392-1154-X
118	(Jap) New Nursing Education Series 25 Nursing for Physical disables etc.	Aug.06	B	04	08	118	4-8392-1155-8
119	(Jap) New Nursing Education Series 26 Gerontology	Aug.06	B	04	08	119	4-8392-1156-6
120	(Jap) New Nursing Education Series 27 Nursing for aged patients	Aug.06	B	04	08	120	4-8392-1157-4

121	(Jap) New Nursing Education Series 28 Pediatric Nursing	Aug.06	B	04	08	121	4-8392-1158-2
122	(Jap) New Nursing Education Series 29 Nursing for child patients	Aug.06	B	04	08	122	4-8392-1159-0
123	(Jap) New Nursing Education Series 30 Reproductive Health Nursing	Aug.06	B	04	08	123	4-8392-1160-4
124	(Jap) New Nursing Education Series 31 Maternal Health Nursing	Aug.06	B	04	08	124	4-8392-1161-2
125	(Jap) New Nursing Education Series 32 Mental Health Nursing	Aug.06	B	04	08	125	4-8392-1162-0
126	(Jap) New Nursing Education Series 33 Nursing for Mental Patients	Aug.06	B	04	08	126	4-8392-1163-9
127	(Jap) New Nursing Education Series 34 In-house Care Nursing	Aug.06	B	04	08	127	4-8392-1164-7
128	(Jap) New Nursing Education Series 35 Terminal Care Nursing	Aug.06	B	04	08	128	4-8392-1165-5
129	(Jap) New Nursing Education Series 36 Rehabilitation Nursing	Aug.06	B	04	08	129	4-8392-1166-3
130	(Jap) New Nursing Education Course12 Introduction of Nursing	Aug.06	B	04	08	130	4-8392-1065-9
131	(Jap) New Nursing Education Course13 Fundamental Nursing Techniques	Aug.06	B	04	08	131	4-8392-1066-7
132	(Jap) New Nursing Education Course14 Introduction of Clinical Nursing	Aug.06	B	04	08	132	4-8392-1067-5
133	(Jap) New Nursing Education Course15 In-home Nursing	Aug.06	B	04	08	133	4-8392-1068-3
134	(Jap) New Nursing Education Course16 Introduction of Adult Nursing	Aug.06	B	04	08	134	4-8392-1069-1
135	(Jap) New Nursing Education Course17 Nursing for Patients of Respiratory Disease	Aug.06	B	04	08	135	4-8392-1070-5
136	(Jap) New Nursing Education Course18 Nursing for Patients of Circulatory Organ Disease	Aug.06	B	04	08	136	4-8392-1071-3
137	(Jap) New Nursing Education Course19 Nursing for Patients of Digestive Organ Disease	Aug.06	B	04	08	137	4-8392-1072-1
138	(Jap) New Nursing Education Course20 Nursing for Neurotic and Patients of Muscle	Aug.06	B	04	08	138	4-8392-1073-X
139	(Jap) New Nursing Education Course21 Nursing for Patients of Kidney	Aug.06	B	04	08	139	4-8392-1074-8
140	(Jap) New Nursing Education Course22 Nursing for Patients of infectious Disease	Aug.06	B	04	08	140	4-8392-1075-6
141	(Jap) New Nursing Education Course23 Nursing for Patients of Urinary Disease	Aug.06	B	04	08	141	4-8392-1077-2
142	(Jap) New Nursing Education Course24 Nursing for Patients of Female genitals disease	Aug.06	B	04	08	142	4-8392-1078-0
143	(Jap) New Nursing Education Course25 Nursing for Patients of Bone/Joint/Muscle	Aug.06	B	04	08	143	4-8392-1079-9
144	(Jap) New Nursing Education Course26 Nursing for Patients of Skin Disease	Aug.06	B	04	08	144	4-8392-1080-2
145	(Jap) New Nursing Education Course27 Nursing for Patients of Eye Disease	Aug.06	B	04	08	145	4-8392-1081-0
146	(Jap) New Nursing Education Course28 Nursing for Patients of Ear/Nose/Throat Disease	Aug.06	B	04	08	146	4-8392-1082-9
147	(Jap) New Nursing Education Course29 Nursing for Patients of Tooth/ Oral Disease	Aug.06	B	04	08	147	4-8392-1083-7
148	(Jap) New Nursing Education Course30 Gerontological Nursing	Aug.06	B	04	08	148	4-8392-1084-5
149	(Jap) New Nursing Education Course31 Pediatric Nursing1	Aug.06	B	04	08	149	4-8392-1085-3
150	(Jap) New Nursing Education Course32 Pediatric Nursing2	Aug.06	B	04	08	150	4-8392-1086-1
151	(Jap) New Nursing Education Course33 Maternal Nursing1	Aug.06	B	04	08	151	4-8392-1087-X
152	(Jap) New Nursing Education Course34 Maternal Nursing2	Aug.06	B	04	08	152	4-8392-1088-8
153	(Jap) New Nursing Education Course35 Mental Nursing1	Aug.06	B	04	08	153	4-8392-1089-6
154	(Jap) New Nursing Education Course 36 Mental Nursing2	Aug.06	B	04	08	154	4-8392-1090-X
155	(Jap) Journal of Health and Welfare Statistics	Aug.06	B	04	08	155	T1103854082204
156	(Jap) Journal of Health and Welfare Statistics	Aug.06	B	04	08	156	T1103854082204
157	(Jap) Journal of Health and Welfare Statistics	Aug.06	B	04	08	157	T1103854082204
158	(Jap) Manual of Maternal and Child Health	Aug.06	B	04	08	158	4-525-18445-0
159	(Jap) Manual of Public Health	Aug.06	B	04	08	159	4-525-18722-0
160	(Jap) Community Health (Revised version)	Aug.06	B	04	08	160	4-8058-2198-1
161	(Jap) Infant Health Check Up Manual (3rd version)	Aug.06	B	04	08	161	4-260-11916-8
162	(Jap) Nutrition Handbook for Maternal and Child Health	Aug.06	B	04	08	162	4-263-70388-X
163	(Jap) Outline of Public Health Nursing3, Maternity Health (3rd version)	Aug.06	B	04	08	163	4-8180-0646-7
164	(Jap)Statistical Data on Nursing Service in Japan 2003	Aug.06	B	04	08	164	4-8180-1029-4
165	(Jap)Statistical Data on Nursing Service in Japan 2003	Aug.06	B	04	08	165	4-8180-1029-4
166	(Jap)Statistical Data on Nursing Service in Japan 2003	Aug.06	B	04	08	166	4-8180-1029-4
167	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 2	Aug.06	B	04	08	167	4-260-34232-0
168	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 3	Aug.06	B	04	08	168	4-260-34233-9
169	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 4	Aug.06	B	04	08	169	4-260-34235-5
170	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 6	Aug.06	B	04	08	170	4-260-34237-1
171	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 7	Aug.06	B	04	08	171	4-260-34238-X
172	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 8	Aug.06	B	04	08	172	4-260-34239-8
173	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 9	Aug.06	B	04	08	173	4-260-34240-1
174	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 10	Aug.06	B	04	08	174	4-260-34241-1
175	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 11	Aug.06	B	04	08	175	4-260-34242-8
176	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 12	Aug.06	B	04	08	176	4-260-34243-6
177	(Jap)Practical Guide for New Curriculum of Nursing Education 13	Aug.06	B	04	08	177	4-260-34244-4
178	(Jap) Adult Nursing No.1, Nursing Technical Video Series, VHS (NTSC) 25 min.	Mar.25	V	05	03	178	4-8180-0730-7
179	(Jap) Adult Nursing No.7, Nursing Technical Video Series, VHS (NTSC) 25 min.	Mar.25	V	04	03	179	4-8180-0736-6
180	(Jap) Adult Nursing No.8, Nursing Technical Video Series, VHS (NTSC) 25 min.	Mar.25	V	05	03	180	4-8180-0737-4
181	Nursing in Surgery, practice	Apr. 13	B	05	04	181	5-222-02237-4

182	Obstetric	Apr. 13	B	05	04	182	5-222-05356-3
183	Pediatric	Apr. 13	B	05	04	183	5-222-02516-0
184	Patient research preparation	Apr. 13	B	05	04	184	5-222-02613-2
185	Nurses practice	Apr. 13	B	05	04	185	5-222-02913-1
186	Nurses practice (gynecology)	Apr. 13	B	05	04	186	5-222-02914-x
187	Nursing in obstetrics (practice)	Apr. 13	B	05	04	187	5-222-02235-8
188	Nursing in obstetrics and gynecology	Apr. 13	B	05	04	188	5-222-01786-9
189	Fundamental Nursing (extrim medicine)	Apr. 13	B	05	04	189	5-8085-0088-5
190	Pediary fundamentation	Apr. 13	B	05	04	190	5-222-03160-8
191	Geriatrics foundation	Apr. 13	B	05	04	191	5-8199-0102-9
192	Health care and health	Apr. 13	B	05	04	192	5-225-04552-9
193	Gerontology	Apr. 13	B	05	04	193	5-222-04111-5
194	Fundamental nursing	Apr. 13	B	05	04	194	5-222-03551-4
195	Psychoneurology	Apr. 13	B	05	04	195	985-443-272-6
196	Family nurse	Apr. 13	B	05	04	196	5-222-03695-x
197	Child infections	Apr. 13	B	05	04	197	5-222-02589-6
198	Pediary nursing	Apr. 13	B	05	04	198	5-222-02236-6
199	Fundamental nursing (practice)	Apr. 13	B	05	04	199	2-222-02325-7
200	Mental psychology of people's activities	May 24	B	05	05	200	588977061-6
201	Dotage	May 24	B	05	05	201	5-7711-0161-3
202	Nursing care	May 24	B	05	05	202	985-6516-90-0
203	Injections	May 24	B	05	05	203	5-222-02344-3
204	Nursing in Skin and veneral diseases	May 24	B	05	05	204	5-222-02829-1
205	Health Care Lecture courses	May 24	B	05	05	205	5-225-04122-1
206	Nursing care in Infection Diseases	May 24	B	05	05	206	5-7695-1070-6
207	Gerontology and Adult psychotherapy	May 24	B	05	05	207	5-7695-1504-X
208	Nurse encyclopedia	May 24	B	05	05	208	5-9231-0304-4
209	Nursing in therapy	May 24	B	05	05	209	5-222-03333-3
210	(Jap) Stedman's Medical Dictionary	Jun 17	B	05	06	210	4-7583-0008-9
211	Psychosomatics. Practical psychologist hand-book	Jul. 21	B	05	07	211	5-699-06449-4
212	Pediatrics. School-book	Jul. 21	B	05	07	212	985-06-0909-5
213	Geroprotectors in adult pathology prophylactics	Jul. 21	B	05	07	213	5-94946-098-7
214	Safe laparoscopy technics	Jul. 21	B	05	07	214	985-06-0552-9
215	Psychosomatics diseases	Jul. 21	B	05	07	215	5-699-04316-0
216	Atlas of health in Europe : Translation from eng.	Jul. 21	B	05	07	216	5-7777-0288-0
217	Eye diseases. School-book	Jul. 21	B	05	07	217	5-222-05457-8
218	Arterial hypertension in tables and schemes. Diagnostics and treatment	Jul. 21	B	05	07	218	5-93979-045-3
219	Arterial hypertension: Clinical profiling and therapy selection	Jul. 21	B	05	07	219	5-93979-104-2
220	Atherosclerosis: Modern view on treatment and prophylactics	Jul. 21	B	05	07	220	5-9573-0496-4
221	Atlas of clinical anatomy of head and neck. School-book	Jul. 21	B	05	07	221	5-222-02028-2
222	Patient's house care	Jul. 21	B	05	07	222	5-222-04837-3
223	Diseases and poisonings and nursing. Before doctor help	Jul. 21	B	05	07	223	985-060559-6
224	Nursing in obstetrics and gynecology	Jul. 21	B	05	07	224	5-222-03290-6
225	Without drugs: Prevention program and overcoming of drug and alcohol dependence	Jul. 21	B	05	07	225	5-222-05137-4
226	Fundamental psychiatric. School-book	Jul. 21	B	05	07	226	5-222-03864-5
227	Arterial hypertension: Clinic, diagnostics, treatment: Hand-book	Jul. 21	B	05	07	227	5-7709-0298-1
228	Arterial hypertension	Jul. 21	B	05	07	228	5-900899-01-2
229	Apparatus and methods of clinical monitoring. School-book	Jul. 21	B	05	07	229	5-06-004800-4
230	Atlas of military psychiatry	Jul. 21	B	05	07	230	5-94277-026-3
231	Pediatric care. School-book	Jul. 21	B	05	07	231	5-225-04449-2
232	Lectures course. Health Care. Medical care organization	Jul. 21	B	05	07	232	5-225-04121-3
233	Fundamental care: First aid. School-book	Jul. 21	B	05	07	233	5-8199-0116-9
234	Private psychopathology. School-book	Jul. 21	B	05	07	234	5-7695-1541-4
235	Pregnancy for unknowing: Translation from eng.	Jul. 21	B	05	07	235	5-8459-0530-3
236	Psychotherapy. Step-by-step. Practical school-book	Jul. 21	B	05	07	236	985-470-262-6
237	Epidemiology and infections diseases. Medical colleges school-book	Jul. 21	B	05	07	237	5-9231-0309-5
238	Atlas of unusual papillary design	Jul. 21	B	05	07	238	5-8401-0093-5
239	Nursing care with mental elements	Jul. 21	B	05	07	239	5-222-01224-7
240	Very dangerous infections	Jul. 21	B	05	07	240	5-225-02736-9
241	Heart and vessels diseases: Essential	Jul. 21	B	05	07	241	5-241-00426-2
242	Practical lessons instructions. Surgery. School-book	Jul. 21	B	05	07	242	5-209-01624-2

243	Psychotherapy. Hand-book	Jul. 21	B	05	07	243	5-94723-879-9
244	Psychotherapy. Psychological models/ School-book	Jul. 21	B	05	07	244	5-314-00003-2
245	Nursing in neuropathology and psychiatry with the drugs course	Jul. 21	B	05	07	245	5-222-02484-9
246	Nursing care	Jul. 21	B	05	07	246	5-329-01347-X
247	Mental diseases	Jul. 21	B	05	07	247	5-222-03748-7
248	Safe diet for lazy and weak-willed	Jul. 21	B	05	07	248	5-699-09138-6
249	Obstetrics. Pregnancy physiology	Jul. 21	B	05	07	249	5-98157-023-7
250	Obstetrics. School-book	Jul. 21	B	05	07	250	5-222-05178-1
251	(Jap)Community nursing. Essentials	Jul. 25	B	05	07	251	4-263-23448-0
252	(Jap) Home Nursing	Jul. 25	B	05	07	252	4-263-23436-7
253	(Jap) General conceptions of Community nursing.	Jul. 25	B	05	07	253	4-8392-1275-9
254	(Jap) Introduction to Community nursing	Jul. 25	B	05	07	254	4-902085-23-2
255	(Jap) General conceptions of Community nursing. Standard textbook 1	Jul. 25	B	05	07	255	4-260-36181-3
256	(Jap) Technics in Community nursing. Standard textbook 2	Jul. 25	B	05	07	256	4-260-36184-8
257	(Jap) Activity in Community nursing on related objects. Standard textbook 3	Jul. 25	B	05	07	257	4-260-36187-2
258	(Jap) Perinatal Nursing Skill: A Full-color Photo Guide	Aug. 01	B	05	08	258	4-263-23183-X
259	(Jap) Maternal Nursing: A Full-color Photo Guide	Aug. 01	B	05	08	259	4-263-23270-4
260	Health Care Statistic Handbook	Aug. 08	B	05	08	260	
261	(Jap) Life disorders and practical nursing	Aug. 25	B	05	08	261	4-8404-0831-9
262	(Jap) Emotional development and basics of nursing	Aug. 25	B	05	08	262	4-8404-0830-0
263	(Jap) Phychiatric nursing situation in Japan (CD)	Aug. 25	C	05	08	263	
264	Office work in the Uzbek language	Sep. 21	B	05	09	264	
265	Office work	Sep. 21	B	05	09	265	5-89890-061-6
266	Business letter (hand book)	Sep. 21	B	05	09	266	5-94125-067-3
267	(Jap) Standard examination questions for national (state)	Sep. 27	B	05	09	267	4-260-33281-3
268	(Jap) Nursing theory	Sep. 27	B	05	09	268	4-89014-864-7
269	(Jap) Russian textbook for beginners	Sep. 27	B	05	09	269	4-8061-1544-4
270	(Jap) Fundamental Nursing Technique I	Dec. 27	B	05	12	270	
271	(Jap) Fundamental Nursing Technique II	Dec. 27	B	05	12	271	
272	(Jap)Practical Nursing Technique	Dec. 14	B	05	12	272	
273	(Jap) Clinical Nursing Technique in pictures	Dec. 14	B	05	12	273	
274	(Jap) Fundamental Nursing Technique in pictures	Dec. 14	B	05	12	274	
275	(Jap)160 Q&A on Clinical Nursing for nurses	Dec. 14	B	05	12	275	4-7965-2078-3
276	(Jap)Guidline for Clinical Nursing Practice	Dec. 14	B	05	12	276	4-05-152239-3
277	(Jap)Practical Nursing Technique Text for Home Care Nursing		B	05	12	277	
278	(Jap)Directory of Nursing Service		B	05	12	278	
279	(Jap)Practical Nursing Basics		B	05	12	279	
280	Emergency care in obstetric practice	Jan. 6	B	06	01	280	
281	Estimate health condition of children's (from 2 month to 5 year)	Jan. 6	B	06	01	281	
282	Advices on brest feeding	Jan. 6	B	06	01	282	
283	Do you want to have a healthy child	Jan. 6	B	06	01	283	
284	Nursing care of health and sick Childs and advices for mothers	Jan. 6	B	06	01	284	
285	Introduction	Jan. 6	B	06	01	285	
286	Treatment of child	Jan. 6	B	06	01	286	
287	Advise to mother	Jan. 6	B	06	01	287	
288	Treatment definition	Jan. 6	B	06	01	288	
289	Integrated method of care of children disease	Jan. 6	B	06	01	289	
290	Next observation	Jan. 6	B	06	01	290	
291	Care of child in period of from 1 week to 2 month	Jan. 6	B	06	01	291	
292	Advices on brest feeding	Jan. 6	B	06	01	292	
293	Teaching methods for reproductive health specialists	Jan. 6	B	06	01	293	
294	Main help (before delivery, prenatal, after delivery)	Jan. 6	B	06	01	294	
295	Infection prophylaxis	Jan. 6	B	06	01	295	
296	Short guide in infection prophylaxis	Jan. 6	B	06	01	296	
297	Instruments for practice in infection prophylaxis in medical facilities	Jan. 6	B	06	01	297	
298	Infection prophylaxis standards	Jan. 6	B	06	01	298	
299	Emergency help in obstetric practice	Jan. 6	B	06	01	299	
300	Integrated method of care of children disease (Text book)	Jan. 6	B	06	01	300	
301	Difficulty pregnancy and baby delivery help	Jan. 6	B	06	01	301	
302	Advices on forming of healthy family	Jan. 6	B	06	01	302	
303	Pediatrics nursing (fundamental) and brest feeding (Vol 1 Seminar)	Jan. 6	B	06	01	303	

304	Pediatrics nursing (fundamental) and breast feeding (Vol 2 Attachment)	Jan. 6	B	06	01	304	
305	Main help (before delivery, prenatal, after delivery) text book	Jan. 6	B	06	01	305	
306	Report on 2005, Hita-Kusu Prefecture Health Welfare Center	Nov. 2	B	05	11	306	
307	SARS: Diagnoses and prevention	Jan. 20	B	06	01	307	5-222-03498-4
308	Nurse guidance step by step	Mar.10	B	06	03	308	5-17-030255-X
309	Pediatrics	Mar.10	B	06	03	309	985-428-870-6
310	Obstetrics	Mar.10	B	06	03	310	5-329-01348-8
311	(Jap) NANDA Nursing Diagnoses	Mar.21	B	06	03	311	4-260-00102-7
312	Nursing Process basis on Ms. Henderson	Mar.21	B	06	03	312	4-89014-727-6
313	Nursing Observation and Assessment Guid	Mar.21	B	06	03	313	4-7965-2091-0
314	Assessment tool of Nursing Diagnoses	Mar.21	B	06	03	314	4-260-33350-X
315	Health Assessment	Mar.21	B	06	03	315	4-902085-17-8
316	Manual for pediatric care	Mar.21	B	06	03	316	4-260-24423-X
317	Pediatric Nursing	Mar.21	B	06	03	317	4-8180-1025-1
318	Pediatrics	Mar.21	B	06	03	318	4-89269-027-9
319	Practice and knowledge of Pediatric Surgical Nursing	Mar.21	B	06	03	319	4-8404-1062-3
320	Nursing of Pediatrics for Nurses	Mar.21	B	06	03	320	4-498-07560-9
321	VHS Tape : Physical Assessment of Pediatrics V o l . 3, 6 months infant 33min.	Mar.21	V	06	03	321	
322	VHS Tape : Pediatrics N u r s i n g V o l . 2. Measuring of vital sign	Mar.21	V	06	03	322	
323	Women's Health, Gender Specific Nursing	Mar.21	B	06	03	323	4-88003-576-9
324	Maternity Exercise, Theory and Practice	Mar.21	B	06	03	324	
325	The book of Baby Massage	Mar.21	B	06	03	325	4-88282-271-7
326	Instruction, Education, Consultation on Maternal health I (L i f e Cycle)	Mar.21	B	06	03	326	4-89781-028-0
327	Instruction, Education, Consultation on Maternal health I I (Maternity Cycle)	Mar.21	B	06	03	327	4-89781-029-9
328	Kangaroo Care	Mar.21	B	06	03	328	
329	Pediatrics Nursing of Breast Feeding	Mar.21	B	06	03	329	
330	Booklet : Daily life of mother and baby after discharge from hospital	Mar.21	B	06	03	330	
331	VHS Video tape: Maternal Nursing in Japan	Mar.21	V	06	03	331	
332	Practices of Nursing Process	Mar.21	B	06	03	332	4-89014-291-6
333	(Jap) Public Health Nursing Course Vol. 3 Supporting Techniques in Community Nursing	Mar.21	B	06	03	333	4-8392-1277-5
334	(Jap) Public Health Nursing Course Vol. 4 Activities in Community Nursing 1	Mar.21	B	06	03	334	4-8392-1278-3
335	(Jap) Public Health Nursing Course Vol. 5 Activities in Community Nursing 2	Mar.21	B	06	03	335	4-8392-1279-1
336	(Jap) VHS Video tape: Basic of Home Care Nursing No.2	Mar.21	V	06	03	336	
337	TB short guide for first aid medical workers	May 1	B	06	05	337	
338	Necessary information about TB	May 1	B	06	05	338	
339	Right TB treatment	May 1	B	06	05	339	
340	TB and medical drugs	May 1	B	06	05	340	
341	Everybody should know about TB	May 1	B	06	05	341	
342	Obstetrician-gynecologist. Hand book (full version)	May 23	B	06	05	342	5-699-13688-6
343	Gynecology. Newest handbook	May 23	B	06	05	343	5-699-04809-X
344	Internal disease. Hand book (full version)	May 23	B	06	05	344	5-699-11795-4
345	Big Medical Encyclopedia	May 23	B	06	05	345	5-699-08680-3
346	Anatomy atlas of body	Jul.5	B	06	07	346	5-7793-0982-5
347	(Jap) Nursing Process and Nursing Diagnosis for practice 2nd Edition	Jul.22	B	06	07	347	4-902085-54-2
348	(Jap)Practical Henderson's Nursing with Nursing Process 2nd Edition	Jul.22	B	06	07	348	4-902085-51-8
349	Gymnastics for expectant mothers	Aug.8	V	06	08	349	
350	Practical skills and skills of the nurse of a pediatric structure	Aug.8	B	06	08	350	5-222-02913-1
351	Practical skills and skills of the nurse of an infectious structure	Aug.8	B	06	08	351	5-222-02932-8
352	Nursing (practical manipulations)	Aug.8	B	06	08	352	5-241-00635-4
353	The family medical directory	Aug.8	B	06	08	353	
354	Primary tumours of a mammary gland	Aug.8	B	06	08	354	5-900518-07-8
355	Family nurse	Aug.8	B	06	08	355	5-241-00611-7
356	Health of people of advanced age	Aug.8	B	06	08	356	5-305-00153-6
357	Internal illnesses	Aug.8	B	06	08	357	5-222-05119-6
358	Preparation to safe motherhood (a management for doctors)	Aug.8	B	06	08	358	5-93979-119-0
359	Management to practical employment on epidemic infectious diseases	Aug.8	B	06	08	359	5-9704-0038-6
360	Children's illnesses the directory of the pediatricist	Aug.8	B	06	08	360	5-699-08185-2
361	Infectious diseases with a rate of the infection and epidemiology	Aug.8	B	06	08	361	5-7695-1984-3
362	The family nurse pediatrics	Aug.8	B	06	08	362	5-222-03965-x
363	Nursing. At infectious with a rate of infection and epidemiology	Aug.8	B	06	08	363	5-222-05328-8
364	The pre-medical help at diseases and poisonings and care of patients	Aug.8	B	06	08	364	985-06-0559-6

365	Pediatrics a practical work	Aug.8	B	06	08	365	985-06-0729-7
366	The directory on therapy (with bases of rehabilitation)	Aug.8	B	06	08	366	5-222-04352-5
367	Bases of resuscitation for nurses	Aug.8	B	06	08	367	5-222-05577-9
368	(Jap)Learning psychiatric nursing on the practice	Aug.21	B	06	08	368	4-8404-1474-2
369	(Jap)Dictionary Russian-Japanese	Sep. 4	B	06	09	369	4-7674-9033-2
370	(Jap)Dictionary Japanese-Russian	Sep. 4	B	06	09	370	4-7674-9035-9
371	Basis of Medical Communication	Sep.5	B	06	09	371	5-89890-085-3
372	The diagnostic directory of the gynecologist	Sep. 11	B	06	09	372	5-17-036551-9
373	Gynecology: diagnostics and treatment, the newest directory	Oct.30	B	06	10	373	5-699-12027-0
374	Children's illnesses the newest directory	Oct.30	B	06	10	374	5-699-12763-1
375	The directory of the practical psychologist	Oct.31	B	06	10	375	5-699-16666-1
376	Medical products	Oct.31	B	06	10	376	5-7864-0203-7
377	(Jap)International Classification for Nursing Practice Version 1.0	Feb.8	B	07	02	377	4-8180-1219-X
378	(Jap)Photographic Nursing Techniques (1986ver.)	Feb.15	B	07	02	378	
379	(Jap)Nursing Management A System Approach by Gillies	Feb.15	B	07	02	379	4-89269-278-6
380	(Jap)Standard Nursing Course, General Theory of Nursing 2	Feb.15	B	07	02	380	4-307-70051-1
381	(Jap)Symptomatic Therapy with Nursing Process 1995	Feb.15	B	07	02	381	
382	(Jap)Symptomatic Therapy with Nursing Process 1988	Feb.15	B	07	02	382	
383	(Jap)Procedure in Nursing Management with systematic theory	Feb.15	B	07	02	383	4-260-34114-6
384	(Jap)Today's medicine 2000	Feb.15	B	07	02	384	4-524-22147-6
385	(Jap)Management of Nursing Practice	Feb.15	B	07	02	385	4-260-33175-2
386	(Jap)Management of Chief Nurses	Feb.15	B	07	02	386	4-260-33085-3
387	(Jap)Methodical Nursing Course Annex2. Fundamental Nursing2	Feb.15	B	07	02	387	4-260-35421-3
388	(Jap)Methodical Nursing Course Technical3. Fundamental Nursing3	Feb.15	B	07	02	388	4-260-35032-3
389	(Jap)Methodical Nursing Course Technical5. Adult Nursing2	Feb.15	B	07	02	389	4-260-35053-6
390	(Jap)Technique of Fundamental Nursing 3rd Edition	Feb.15	B	07	02	390	
391	(Jap)Active Follow-Up Nursing	Feb.15	B	07	02	391	3047-50300-1103
392	(Jap)Nursing Diagnosis 21 discussions	Feb.15	B	07	02	392	4-8180-0590-8
393	(Jap) Analysis of Circulatory Function	Feb.15	B	07	02	393	
394	Nursing in psychiatry with a course of narcology	Apr. 06	B	07	04	394	5-699-16337-9
395	(Jap) 28 Case studies of Learning and Teaching with Paper-Patients	May.07	B	07	05	395	4-260-33336-4
396	(Jap) Nursing Graphica Series 15, Internal Environmental Cotrol Disorder, Sexial and	May.07	B	07	05	396	4-8404-1107-7
397	(Jap) Medical Care for New borne baby and its practical nursing techniqne 70	May.07	B	07	05	397	4-8404-1898-0
398	(Jap) Ilstrated Fundamental Nursing	May.07	B	07	05	398	4-87211-699-2
399	(Jap) Food Table for Patients of Diabetics	May.07	B	07	05	399	4-8306-1341-6
400	(Jap) Nursing Educational Evaluation	May.07	B	07	05	400	4-8306-4459-1
401	(Jap) Class Room of Diabetics	May.07	B	07	05	401	4-7878-1416-8
402	(Jap) Immediate Cardiac Life Support Guide Book	May.07	B	07	05	402	4-7581-0625-2
403	(Jap) Hand book of Infectious Disease Control	May.07	B	07	05	403	4-7965-2707-9
404	(Jap) Gerontological Nursing	Jul.07	B	07	07	404	4-595-13827-X
405	(Jap) Gerontological Nursing I, General theory	Jul.07	B	07	07	405	4-902085-88-4
406	(Jap) Gerontological Nursing II, Practices	Jul.07	B	07	07	406	4-902085-89-5
407	(Jap) Nursing Practices for Aged Person, Higher Special Nursing for Aged Person	Jul.07	B	07	07	407	4-8058-2653-3
408	(Jap) Nursing Practices for Aged Person, Nursing for Aged Person in Community and at	Jul.07	B	07	07	408	4-8058-2650-9
409	(Jap) Nursing Practices for Aged Person, Dementia Care and Terminal Care	Jul.07	B	07	07	409	4-8058-2652-5
410	(Jap) Nursing Practices for Aged Person, Nursing for Aged Person with Disease and	Jul.07	B	07	07	410	4-8058-2651-7
411	Hand book for Clinical Nursing Practice Third Revision	Mar.08	B	08	04	411	4-7653-1109-0
412	Problem Collection for Examination of Practical Nurse in 2008	Mar.08	B	08	04	412	978-4-8392-
413	Hand book for Clinical Nursing Practice Third Revision	Nov. 07	B	07	11	413	4-260-33038-1
414	Basic of Nursing ethics	Nov. 07	B	07	11	414	4-87054-258-7
415	Ethics in Nursing Practice A Guide to Ethical Decision Making	Nov. 07	B	07	11	415	4-8180-0622-x
416	Nursing Process and Nursing Diagnosis	Nov. 07	B	07	11	416	4-902085-54-2
417	Society and culture	Aug. 08	V	08	08	417	
418	Authority	Aug. 08	V	08	08	418	
419	International co-operation 2005	Aug. 08	V	08	08	419	
420	Economics	Aug. 08	V	08	08	420	
421	Development way	Aug. 08	V	08	08	421	
422	Hand book of practical doctor (vol 1)	Oct. 08	B	08	10	422	5-225-02640-9
423	Hand book of practical doctor (vol 2)	Oct. 08	B	08	10	423	5-225-02641-9

ANNEX 5: Records of Inputs

Publication

No.	Month/Year	Category	Qty.
1	August 04	Hand out for First Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Russian version)	300
2	August 04	Hand out for First Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Uzbek version)	500
3	February 05	Presentation of Nursing Education Training in Japan 2004 (Russian version)	300
4	March 05	Proceedings for First Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Russian version)	300
5	March 05	Hand out for Second Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Russian version)	150
6	March 05	Hand out for Second Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Uzbek version)	100
7	March 05	Hand out for Second Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Japanese version)	20
8	April 05	Project Document (Russian version)	70
9	June 05	Proceedings for First Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Russian version)	20
10	July 05	Medical Equipment book of Grant Aid Program (Russian , color photos)	100
11	October 05	Proceedings for Second Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Rus/Uzb version)	300
12	December 05	Proceedings for First Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Russian version)	50
13	December 05	Presentation of Nursing Education in Japan 2004 (Russian version)	50
14	December 05	Medical Equipment book of Grant Aid Program (Russian , color photos)	30
15	March 06	Hand out for Third Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Russian version)	200
16	March 06	Hand out for Third Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Uzbek version)	200
17	March 06	Hand out for Third Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Japanese version)	30
18	March 06	Presentation of Nursing Education Training in Japan 2005 (Russian version)	300
19	March 06	Hand out for Third Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Clinical Practice) (Russian version)	150
20	March 06	Hand out for Third Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Clinical Practice) (Uzbek version)	150
21	March 06	Hand out for Third Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Clinical Practice) (Japanese version)	30
29	May 06	Proceedings for Third Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Rus/Uzb version)	300
30	May 06	Proceedings for Third Seminar of Nursing Education in Uzbekistan Clinical Practice (Rus/Uzb version)	300
31	September 06	Proceedings for First Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Russian version)	25
32	September 06	Presentation of Nursing Education Training in Japan 2005 (Russian version)	25
33	January 07	Hand out for First Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Japanese version)	20
34	January 07	Teaching programm & guidance (Fundamental Nursing) 1, 2 Vol (Rus version)	40
35	January 07	Proceedings for First Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Russian version)	80
36	February 07	Teaching programm & guidance (Fundamental Nursing) 1, 2 Vol (Rus version)	100

37	March 07	Presentation of Nursing Education Training in Japan 2005 (Russian version)	100
38	March 07	Presentation of Nursing Education Training in Japan 2006 (Russian version)	300
39	March 07	Hand out for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Gerontological Nursing (Japanese version)	20
40	March 07	Hand out for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Gerontological Nursing (Russian version)	200
41	March 07	Hand out for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Gerontological Nursing (Uzbek version)	200
42	March 07	Hand out for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Adult Nursing (Japanese version)	20
43	March 07	Hand out for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Adult Nursing (Russian version)	200
44	June 07	Proceedings for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Gerontological Nursing (Japanese version)	20
45	June 07	Proceedings for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Adult Nursing (Japanese version)	20
46	June 07	Proceedings for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Gerontological Nursing (Rus/Uzb version)	300
47	June 07	Proceedings for Forth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Adult Nursing (Rus/Uzb version)	300
48	June 07	Results of Need Assessment on Usage Equipment for 59 Medical Colleges and Institutes (Japan's Grand Aid Program in 2003) (Russian version)	3
49	June 07	Results of Need Assessment on Usage Equipment for 59 Medical Colleges and Institutes (Japan's Grand Aid Program in 2003) (Jap/Eng version)	5
50	June 07	Teaching material-(Fundamental Nursing) 3,4 (Rus version)	8
51	August 2007	Hand out for Fifth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Maternal Nursing (Japanese version)	20
52	August 2007	Hand out for Fifth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Maternal Nursing (rus version)	160
53	August 2007	Hand out for Fifth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Pediatric Nursing (Japanese version)	20
54	August 2007	Hand out for Fifth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Pediatric Nursing (Russian version)	140
55	September 2007	Hand out for 6th Community Nursing Seminar (Russian version)	150
56	September 2007	Hand out for 6th Community Nursing Seminar (Japanese version)	15
57	September 2007	Hand out for 6th Psychiatric Nursing Seminar (Russian version)	150
58	September 2007	Hand out for 6th Psychiatric Nursing Seminar (Japanese version)	15
59	January 2008	Proceedings for Fifth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Maternal Nursing (Rus version)	100
60	January 2008	Proceedings for Fifth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Pediatrics Nursing (Rus version)	100
61	January 2008	Proceedings for Sixth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Community Nursing (Rus version)	100
62	January 2008	Proceedings for Sixth Seminar of Nursing Education in Uzbekistan (Psychiatric Nursing (Rus version)	100
63	February 2008	Presentation of Nursing Education Training in Japan 2007 (Russian version)	100
64	February 2008	Presentation of Nursing Education Training in Japan 2007 (Japanese version)	20
65	September 08	Teaching programm & guidance (Psychiatric Nursing) Rus version	40
66	September 08	Teaching programm & guidance (Gerontological Nursing) Rus version	40
67	October 08	Teaching programm & guidance (Community Nursing) Rus version, 1-3 Vol	40
68	October 08	Teaching programm & guidance (Pediatric Nursing) Rus version, 1-2 Vol	40
69	October 08	Teaching programm & guidance (Maternal Nursing) Rus version	40